SONY®

4-094-125-**12** (1)

トリニトロン®
カラーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

FD Trinitron

KV-28DX650/KV-32DX650

目次

この取扱説明書でのBS放送の表記について

BS
従来からのBSアナログ放送（NHK衛星第一／第二、NHKハイビジョン、WOWOW）です。
例：BS放送、BSチャンネル、BSアンテナ、BSチューナー、BSチューナー内蔵ビデオなど

BS・110度CSデジタル
BSは2000年12月、110度CSは2002年3月に開始されたデジタル放送です。
例：BS・110度CSデジタル放送、BS・110度CSデジタルチャンネル、BS・110度CSデジタルチューナーなど

ハイビジョン放送
従来のBS9チャンネル（MUSE方式）の放送です。
BSデジタル放送で行われるデジタルハイビジョン放送（HD放送）ではありません。

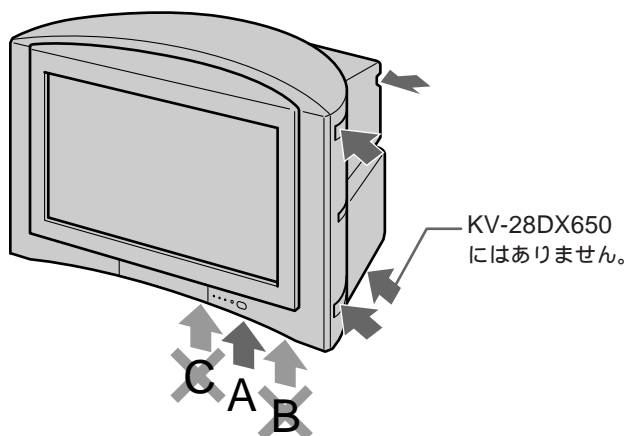
テレビの接続と準備

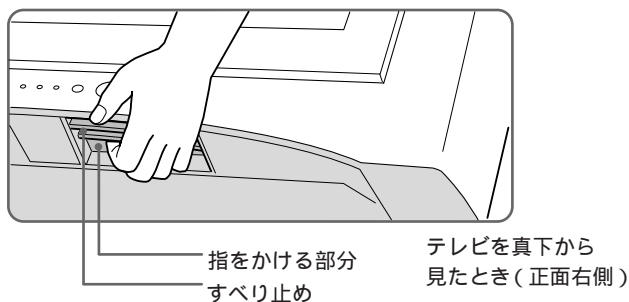
他機との接続

その他

ご使用になる前に

テレビを運ぶとき

テレビを持ち運ぶときは、必ず下の図の矢印部分（⇧）を持ってください。
それ以外の部分を持つと、設置時にテレビとスタンドの間に手や指などをはさんで、けがの原因となることがあります。
持つところは、下の図のように片側5か所ずつ（KV-28DX650は4か所ずつ）あります。
必ず2人以上で運んでください。
特に正面側が重いので、倒れないように充分注意してください。

テレビ前面部分を持つときは

必ず上の図のAの部分を持ってください。
指先ですべり止めの位置を確認し、手のひらをすべり止めにあてて、しっかり持ってください。

A以外の部分（Bや C）は、持たないでください。次のようなことがあり危険です。

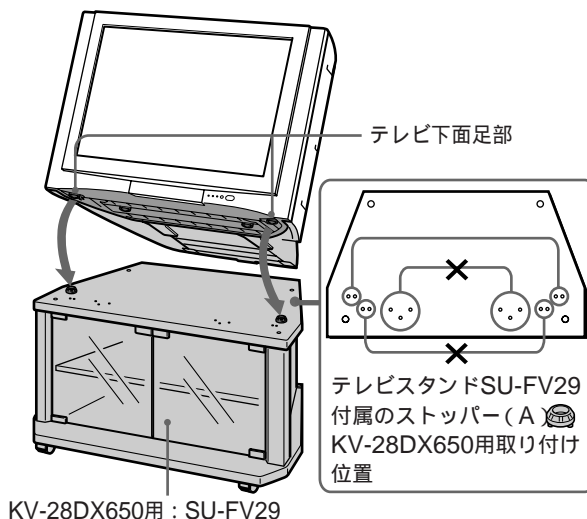
B 設置時にテレビと床やスタンドとの間で手や指などをはさんで、けがの原因となることがあります。
C 扉がはずれることがあります。

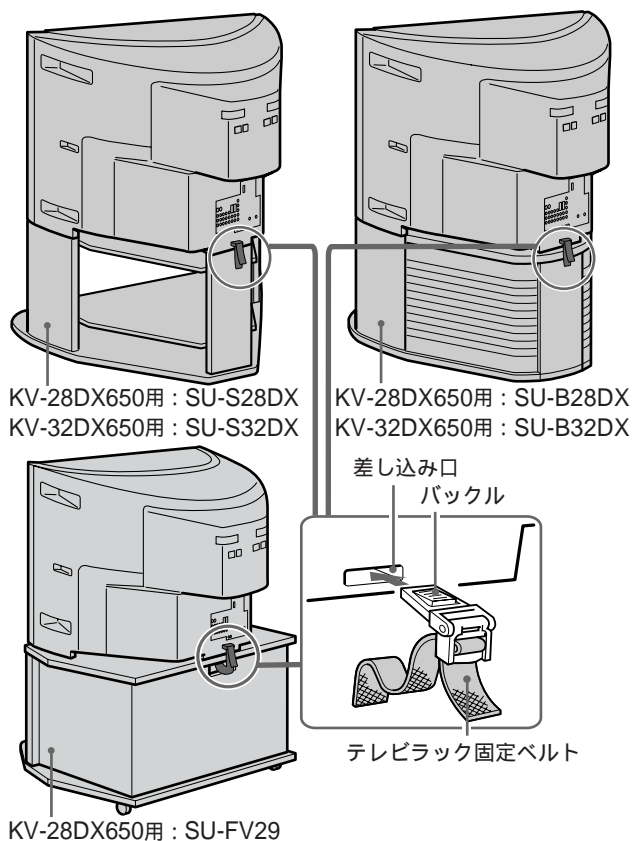
テレビの転倒を防ぐために

お子様が、テレビスタンドなどに載せたテレビに登ったり、テレビを押したりすると、テレビスタンドなどから、テレビが落ちる恐れがあります。以下の方法に従って、テレビの転倒を防いでください。

専用のテレビスタンドを使うときは

専用テレビスタンド（別売り）の取扱説明書もあわせてご覧ください。

① テレビスタンドのストッパーに、テレビ下面の足部を合わせて載せる。

ご注意
KV-28DX650用以外の取り付け位置や、ストッパー（A）以外のストッパーでは、テレビが固定されません。必ず正しい取り付け位置とストッパーを使用してください。

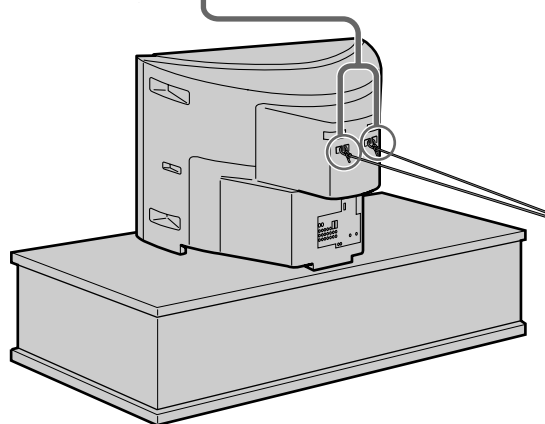
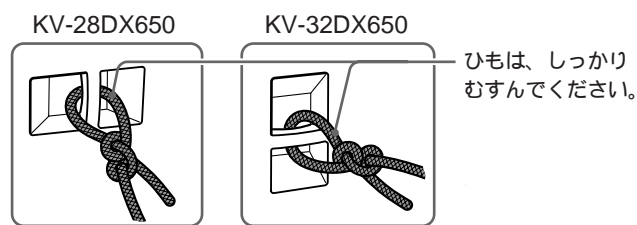
② テレビスタンドに付属しているテレビラック固定ベルトのバックルを、テレビ後面の差し込み口にカチッと音がするまで差し込む。

市販のテレビスタンドやラックを使うときは

別売りのテレビラック固定ベルトBLT-R10で固定してください。
テレビラック固定ベルトのバックルを、テレビ後面の差し込み口にカチッと音がするまで差し込んでください。
市販のスタンドやラックに設置する場合は、テレビの底面よりも広くて水平なスタンドやラックをお使いください。また、耐重量や載せられるサイズも必ずご確認ください。
詳しくは、本機やテレビスタンド、ラックをお買い上げいただいたお店に、ご相談ください。

ご注意
段差やデコボコ、うねりがある台に置かないでください。
キャビネットの変形やきしみの原因になり、テレビが破損することがあります。

市販のひもやクサリなどで固定するときは

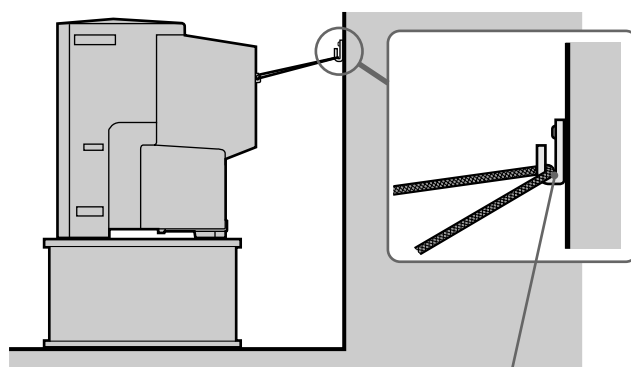
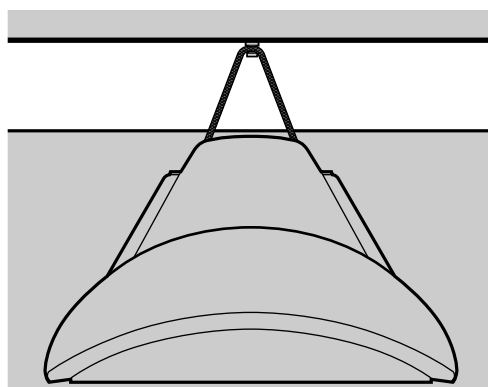
丈夫なひもやクサリなどを、テレビ後面の2つの穴に通して、壁や柱などに固定してください。
詳しくは、本機やテレビスタンド、ラックをお買い上げいただいたお店に、ご相談ください。

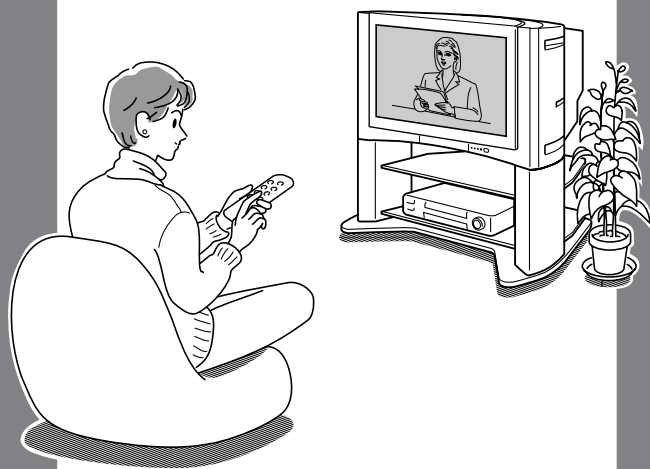
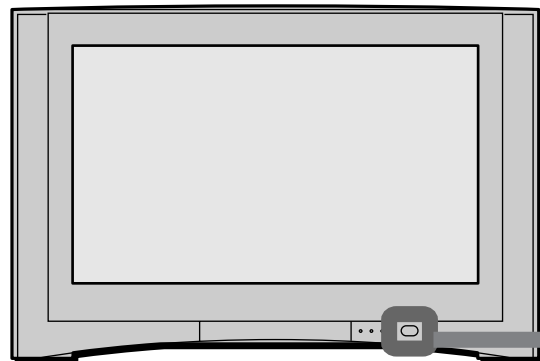
① 丈夫なひもやクサリなどを、テレビ後面の穴に通して、しっかり付ける。

② 壁や柱などの安定した場所に、①で取り付けたひもやクサリなどを、しっかり固定する。

横から見たところ

上から見たところ

テレビは壁から10cm以上離して設置してください

壁から10cm以上離して置いてください。風通しをよくするためです。壁などに近づけ過ぎて、空気の対流が悪くなると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。また、通風孔がふさがれると、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

見る

ここでは、通常のテレビやBS放送をはじめ、ビデオやDVDプレーヤー、テレビゲームなどテレビにつないだ機器の映像を見るときの操作を説明しています。映像に合った明るさに設定したり、節電しながら見たり、ワイド画面で見たりするなど、多彩な機能の操作も説明しています。

テレビ / BS放送を見る

消音ボタン
一時的に音を消すときに押します。
もう1度押すか、音量＋ボタンを押すと音が出ます。

画面表示ボタン
チャンネル表示を出すときに押します。
もう1度押すと表示は消えます。

チャンネル数字ボタンには、暗い場所でも操作しやすいように、ほのかに青白く光る蓄光材が入っています。そのため、太陽光や明るい照明の下などに置くと、10分程で光が蓄えられ、暗くなると数時間光り続けます。暗い場所に放置したときは、光りません。

ちょっと一言

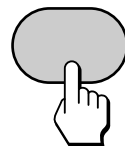
- スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときは、リモコンのチャンネル数字ボタンやチャンネル+/−ボタンを押すと自動的にテレビの電源も入ります。
- 省電力のため、放送終了後、または放送のないチャンネルにしたままの状態で約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて自動的にスタンバイモードになります。放送局の信号によっては「オートシャットオフ」機能が働かないことがあります。

1 テレビの電源を入れる。

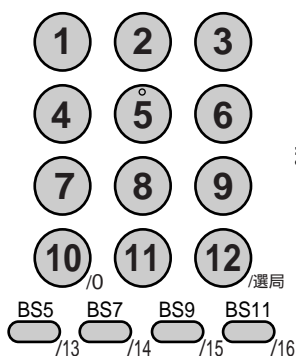
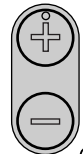
地磁気*1などの影響を取り除く自動消磁機能により「ブーン」という音がして、きれいに安定した画像が約10秒前後で映ります。

*1 地球が一つの大きな磁石となって発生する磁場で、方位磁石が南北を示すのも地磁気によるものです。色むらの原因になることがあります。

スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときは
リモコンの電源スイッチを押す。

スタンバイ/オフタイマーランプが消えているときは
テレビ本体の電源スイッチを押す。

2 チャンネル数字ボタンでチャンネルを選ぶ。

チャンネル+/−ボタンでもチャンネルを選べます。

または

BS放送は以下のチャンネルになります。

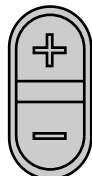
見たい放送	押すボタン
WOWOW（BS5）*2	BS5/13
NHK衛星第一（BS7）	BS7/14
ハイビジョン放送（BS9）*3	BS9/15
NHK衛星第二（BS11）	BS11/16

*2 BSデコーダー（WOWOW）の電源を入れてください。なお、WOWOWは、別途WOWOWと受信契約し、専用のBSデコーダー（WOWOW）が必要です。

*3 BS9ボタンを押してハイビジョン放送を見るには、MUSE-NTSCコンバーターが必要です（☞70ページ）。通常のテレビ放送（NTSC）と同じ画質で、見ることができます。

3 音量+/−ボタンで音量を調節する。

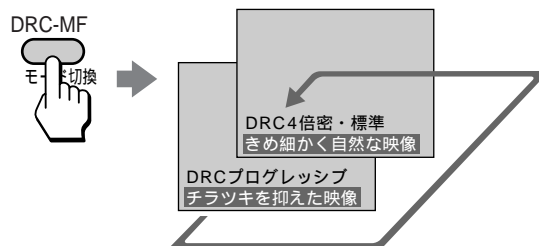
ちょっと一言

音量表示の横にある数値も調節の目安になります。

映像に合ったリアル高画質で見る［DRC-MFモード切換ボタン］

このテレビ搭載の高画質回路「DRC-MF」（デジタル・リアリティー・クリエーション：マルチファンクション）で、大画面で気になる画像の粗さをなくし、きめ細かくて質感のあるリアルな画像を楽しめます。
通常ご覧になるときは、お買い上げ時の設定であるDRC4倍密（標準）モードのまま、お楽しみください。よりきめ細かく自然な映像をお楽しみいただけます。静止画の文字などのチラツキが気になるときは、DRCプログレッシブモードに切り換えてください。

DRC4倍密（標準）モード
通常のNTSC映像を4倍の情報量で映し出し、きめ細かく自然な映像にします。

DRCプログレッシブモード
順次走査（プログレッシブ）を行い、チラツキを抑えた映像にします。

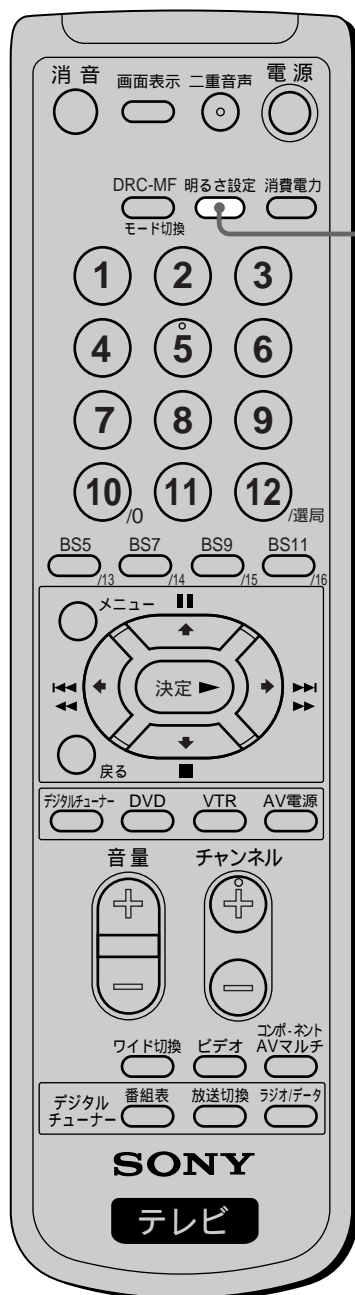
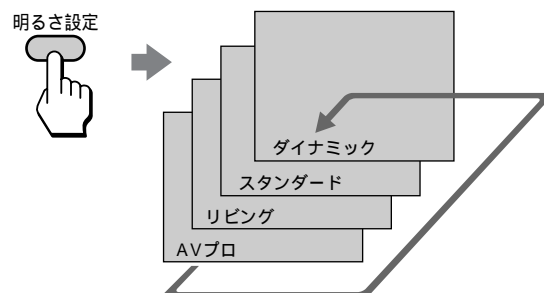
DRC-MFモード切換ボタンをくり返し押す。

この画像のときは	この画面表示を選ぶ
テレビやBS放送、ビデオなどの一般的な映像を見るとき	DRC4倍密・標準 きめ細かく自然な映像
静止画の文字やグラフィックス、細かい横線などが多い映像で、部分的な映像の揺れやチラツキが気になるとき	DRCプログレッシブ チラツキを抑えた映像

ちょっと一言
メニュー画面でも操作できます。「（画質/音質）」メニューで「DRC-MF」を選び、「DRC4倍密・標準」か「DRCプログレッシブ」を選んでください。

ご注意
- 以下のときは、DRC-MFモード切換ボタンは働きません。
  －AVマルチ入力でCGゲームモードが「入」のとき
  －AVマルチ入力端子、コンポーネント1、2（D4映像）入力端子につないだ機器から525i（480i）*以外の信号を受信しているとき
- リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

* 詳しくは、「映像信号フォーマット」（☞83ページ）をご覧ください。

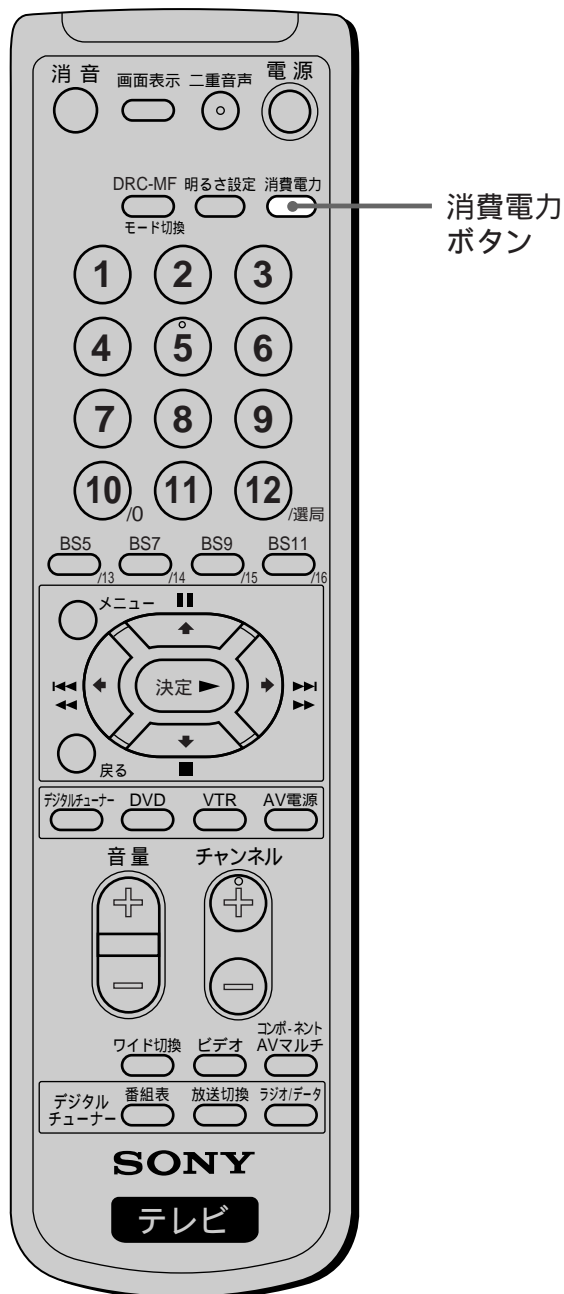
部屋の明るさに合った映像を選ぶ［明るさ設定ボタン］

明るさ設定ボタンを押すだけで、部屋の明るさに合った映像を選べます。また、「リビング」や「AVプロ」を選ぶと、より細かく画質を調整できます（☞28ページ）。
ご家庭で通常ご覧になるときは、「リビング」を選ぶことをおすすめします。

明るさ設定ボタンをくり返し押す。
1回押すと、現在の明るさ設定が表示されます。その後、押すたびに次のように切り換わります。

ダイナミック
映像の輪郭とコントラストを最大限に上げたメリハリの非常に強い映像になります。

スタンダード
明るめの部屋に合わせたコントラスト感のある映像になります。

リビング
明るさや色あい、色の濃さなど基本的な調整ができます（☞28ページ）。「標準」では、標準的な部屋の明るさに合わせた適度なコントラストのある映像になります。

AVプロ
色温度や黒補正など、よりきめ細かな調整ができます（☞28ページ）。「標準」では、コントラストと輪郭強調を抑えて、オリジナルにできるかぎり忠実な、DRC（☞8ページ）の性能をより引き出した映像になります。

節電しながら見る
［消費電力ボタン］

消費電力
ボタン

消費電力ボタンを押す。

消費電力：減

節電をやめるには

もう1度、消費電力ボタンを押す。
「消費電力：標準」と表示されます。

さらに節電するには

節電レベルの大小を選べます。
「消費電力：減」のときのみ、以下の手順で「消費電力減レベル：大」を選ぶと、さらに節電できます。
「消費電力：標準」で行っても節電効果はありません。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「(設定)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。

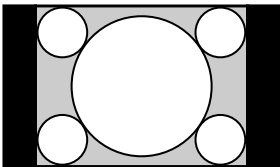
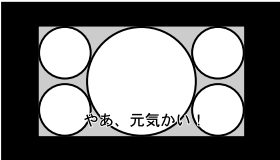
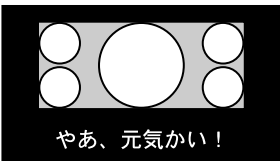
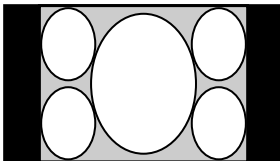
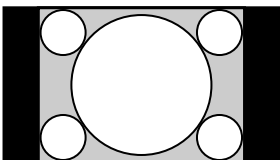
4 ↑/↓で「消費電力減レベル」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「小」（お買い上げ時の設定）または「大」を選び、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

ちょっと一言

- 「消費電力：減」のときに電源を切ると、次に電源を入れたときも「消費電力：減」のままになります。
- メニュー画面でも操作できます。「(各種切換)」メニューで「消費電力」を選び、「標準」または「減」にしてください。
- 明るさ設定ボタンで「リビング」または「AVプロ」を選んでいるときは、「消費電力：減」でも、画質を調整できます（☞28ページ）。ただし、「ピクチャー」や「明るさ」を上げると節電にならない場合があるため、おすすめしません。

ワイド画面を楽しむ

自動でワイド画面にする [オートワイド]

通常のテレビ放送も、映画などの横長サイズの映像も、下のイラストのように、テレビが最適な画面モードを選び、横縦比16:9のワイド画面いっぱいに自動的に拡大します。これをオートワイド機能と言います。下の例では、お買い上げ時の設定*を示しています。

* お買い上げ時は、オートワイド「2」で、「4:3映像」が「ワイドズーム」に設定されています。ただし、AVマルチ入力（☞20ページ）のときは、オートワイド「1」に設定されています。

オリジナルの映像（映像の種類）	画面モード	オートワイドの映像

● 通常のテレビやBS放送（画面横縦比4:3）

違和感少なく画面いっぱいに拡大します。

● ビスタビジョンなど映像中に字幕が入った横長の映画（横縦比1.85:1）
● 横縦比情報の入ったDVDソフトの映像（ID-1方式）

画面の左右に合わせていっぱいに拡大します。（映像の種類によって、上下に黒い帯が残ることがあります。）

● シネマビジョンなど映像の外に字幕のある横長の映画（横縦比2.35:1）

画面の左右に合わせていっぱいに拡大しながら、字幕部分だけを圧縮して画面に入れます。

● 横縦比情報の入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像（ID-1方式やS1方式）

天地はそのままで、左右を画面いっぱいに引き伸ばします。

● オートワイド「2」で、「4:3映像」を「ノーマル」（お買い上げ時は「ワイドズーム」）に設定したとき（☞23〜26ページ）

拡大せずに、横縦比4:3のままの映像になります。

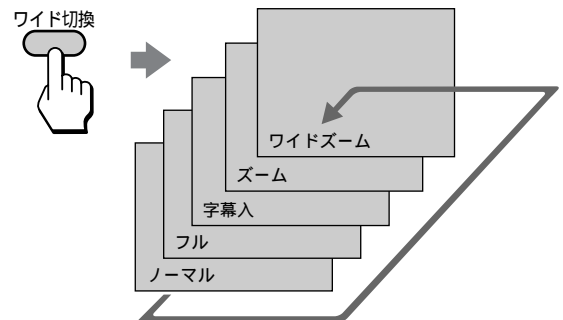
次のページにつづく

ワイド画面を楽しむ（つづき）

手動でワイド画面に切り換える［ワイド切換ボタン］

オートワイド機能とは別に好きな画面モードを手動でも選べます。また、電波の受信状態が悪いときや暗い映像のときは、オートワイドが正しく働かないことがあります。このときも、手動で画面モードを切り換えてください。

ワイド切換ボタンをくり返し押す。

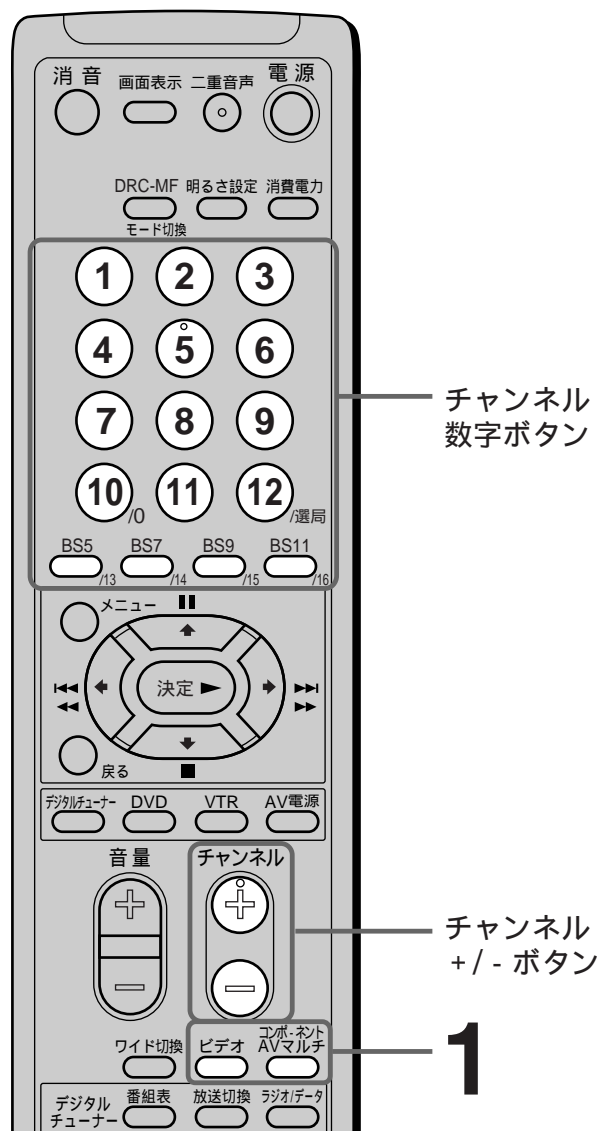
1回押すと、映像のサイズや種類に応じて、テレビが最適な画面モードをすばやく選んで表示します*1。その後、押すたびに、次のように画面モードが切り換わります。画面モードの詳しい説明については、☞11ページをご覧ください。

*1 「画面モード」メニューの「オートワイド設定」が「2」、「4:3映像」を「ノーマル」に設定しているとき（☞25ページ）は、ワイド画面にならないで、画面横縦比4:3の映像のまま（「ノーマル」のまま）になります。

ちょっと一言

手動でワイド画面を楽しむときは、あらかじめ、オートワイドを切っておいてください（☞25ページ）。

テレビにつないだ機器の画像を楽しむ

テレビにつないだ機器の画像を見る

入力を切り換えて、テレビにつないだビデオ機器やDVDプレーヤー、地上・BS・110度CSデジタルチューナー、デジタルCSチューナー、テレビゲームなどの画像を見ることができます。接続のしかたについては、☞54～73ページをご覧ください。

ちょっと一言

テレビ本体の入力切換ボタンをくり返し押しても、入力を切り換えられます。

テレビ → ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 → (ビデオ4) *2
↑ ↓
AVマルチ Y/CB/CR ← AVマルチ RGB ← コンポーネント2 (D端子) ← コンポーネント1 (D端子)

1 入力切換用のボタンを押して、見たい画像を選ぶ。

各ボタンを押すたびに、それぞれの端子につないだ機器の画像に切り換わります。

押すたびに	以下につないだ機器の画像になります。	画面表示も変わります。
ビデオ	● ビデオ1入力端子	ビデオ1*3 ←
	● ビデオ2入力端子	↓ ビデオ2*3
	● ビデオ3入力端子	↓ ビデオ3*3
	● BSデコーダー/ビデオ4入力端子*2	↓ ビデオ4 (→ビデオ1へ戻る)
コンポーネント AVマルチ	● コンポーネント1入力端子	コンポーネント1 (D端子) ←
	● コンポーネント2入力端子	↓ コンポーネント2 (D端子)
	● AVマルチ入力端子 詳しくは、「AVマルチ入力端子につないだとき」(☞20ページ)をご覧ください。	↓ AVマルチ RGB ↓ AVマルチ Y/CB/CR (→コンポーネント1へ戻る)

*2 お買い上げ時は、ビデオ4入力は選べない設定になっています。BSデコーダー/ビデオ4入力端子にビデオ機器などをつなぎ、「デコーダー/ビデオ」の設定を「ビデオ4」に変えると選べます（☞58ページ）。

*3 S1映像端子につないでいるときは、「Sビデオ1」～「Sビデオ3」と表示されます。

2 接続している機器を操作する。

詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。

テレビ画面に戻すときは

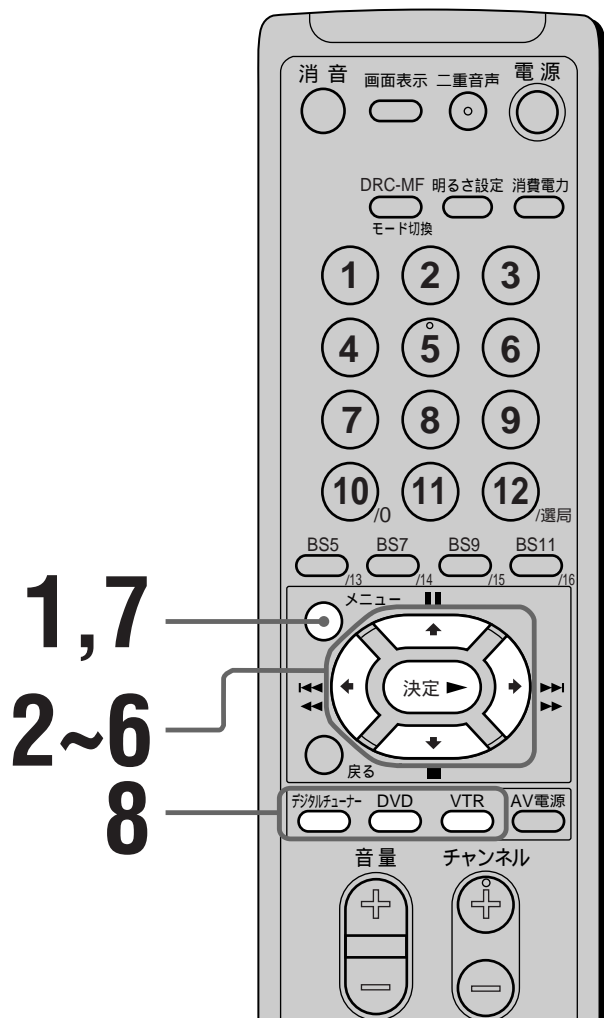
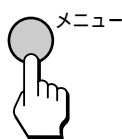
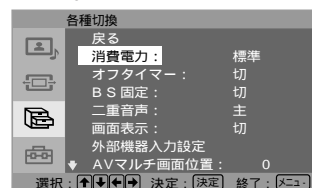
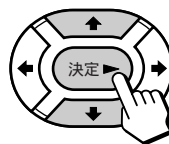
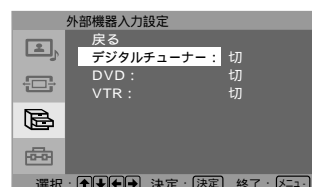
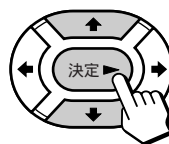
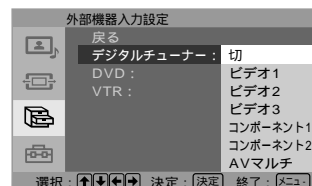
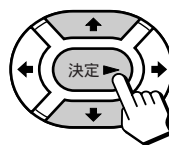
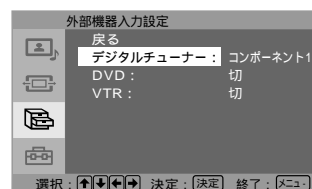
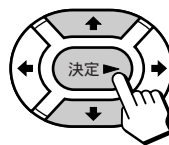
チャンネル数字ボタンまたはチャンネル+/−ボタンを押す。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10/0 11 12/選局 BS5/13 BS7/14 BS9/15 BS11/16

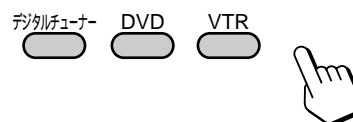
または

次のページにつづく

一発で見たい機器の画像に切り換える

ボタンを1回押すだけで、見たい機器の画像に切り換えることができます。デジタルチューナー、DVD、VTRボタンで、どの入力に切り換えるかを設定してください。

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「(各種切換)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「外部機器入力設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で設定したいボタン名を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓でつないだ入力端子を選び、決定ボタンを押す。

6 他の機器を設定するときは、手順4と5をくり返す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

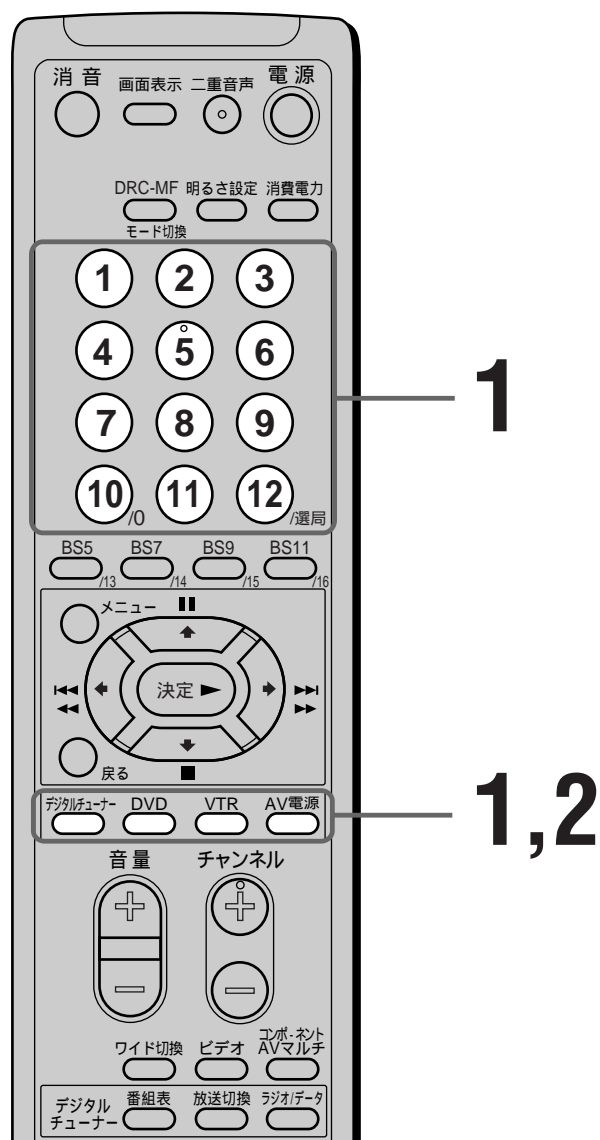
8 手順4で設定したボタンを押す。
見たい機器の画像に切り換わります。

手順5でAVマルチを選んで画像がでないときは、いったんコンポーネントAVマルチボタンで切り換えてください。次からは一発で画像が切り換わります。

ご注意
リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

デジタルチューナーやDVDプレーヤー、ビデオのリモコンコードを登録する

テレビのリモコンで、デジタルチューナーやDVDプレーヤー、ビデオなどの電源の入/切や基本的な操作ができるように、つないだ機器を登録します。
また、ビデオのかわりにハードディスクビデオレコーダーやチャンネルサーバーをVTRボタンに登録できます。

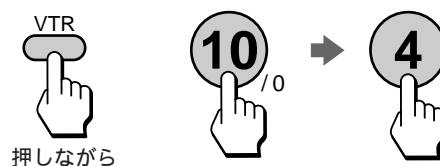
ご注意

複合機器（ビデオとDVDプレーヤの一体型機器）やコンポなどには対応していません。複合機器やコンポのリモコンをご使用ください。

ちょっと一言

コントロールS入力端子のあるソニー製のビデオやDVDプレーヤーでコントロールS端子もつないでいるときは（☞56ページ）、リモコンをテレビに向けて、ビデオやDVDプレーヤーを操作できます。

1 操作したい機器を登録する。

操作したい機器のボタンを押しながら、チャンネル数字ボタンでリモコンコード（☞16ページ）を入力します。

例：ソニー製のビデオ（リモコンコード04）の場合

リモコンコード表にないリモコンコードを入力すると、デジタルチューナー、DVDまたはVTRボタンが2秒間点滅します。手順1をもう1度行って正しいリモコンコードを入力し直してください。

2 動作テストをする。

手順1で設定した機器の電源が入るかを確認します。設定した機器のボタンを押して、ボタンが点灯している間にAV電源ボタンを押してください。

ちょっと一言

DVDプレーヤーとAVアンプなどが一体となった機器のときは、AV電源ボタンが働かないことがあります。そのときは、「テレビのリモコンでデジタルチューナーやDVDプレーヤー、ビデオの操作をする」（☞17ページ）の手順3を参考に、再生が行われるかを確認してください。

設定する機器のリモコンコードが複数あるときは、手順1と2をくり返して、つないだ機器が操作できるまで違うリモコンコードを設定し直してください。

次のページにつづく

テレビにつないだ機器の画像を楽しむ（つづき）

ソニーのリモコンコード表

登録する機器	登録するボタン		
	デジタルチューナー	DVD	VTR
デジタルチューナー	85 86		
DVDプレーヤー		50 90 91	
ビデオ			01 02 03 04 05 06
HDD（ハードディスクビデオレコーダー）			07 08 09
チャンネルサーバー			80 81 82

ご注意
- 登録できるデジタルチューナーやハードディスクビデオレコーダー、チャンネルサーバーはソニー製のみです。
- デジタルCS*[1]チューナーの設定はできません。

*[1] スカイパーフェクTV！のことです。110度CSデジタル放送ではありません。

その他のメーカーのリモコンコード表

メーカー	DVDプレーヤーのリモコンコード番号	ビデオのリモコンコード番号
松下	51	10 11 12 13 14
東芝	52	15 16 17 18
日立	53	19 20 21
三菱	54	22 23 24 25
日本ビクター	55	26 27 28 29 30 31
サンヨー		32 33 34 35
アイワ*[2]	56	36 37 38 39
シャープ	57	40 41 42
フナイ		43
NEC		44 45 46 47
パイオニア	58*[3] 59*[3]	
フィリップス	60	48
RCA	61	
デノン	62 63	
ヤマハ	64	
SAMSUNG	65	
オンキョー	66	

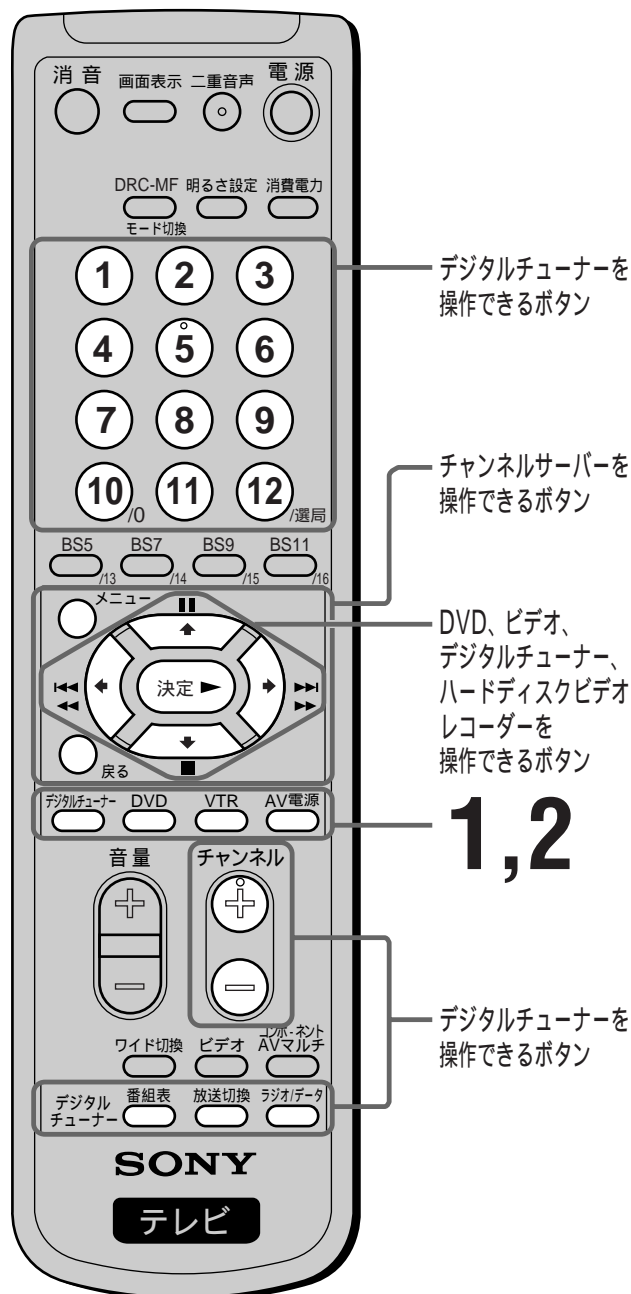
*[2] アイワのリモコンコードを設定しても動作しないときは、ソニーのリモコンコードを設定してください。
*[3]の付いたDVDプレーヤーを登録するときは、手順2でDVDプレーヤーの電源が入っても、再生などの操作ができないことがあります。そのときは、もう一方のリモコンコードを設定し直してください。

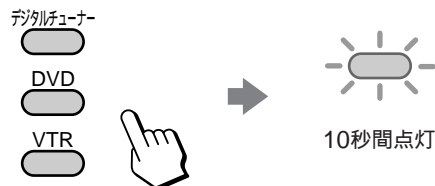
ご注意
- リモコンの電池を取り出したり、電池を使いきると、設定した内容は消えて、お買い上げ時の設定に戻ります。もう1度設定し直してください。
- メーカーによっては複数のリモコン信号を採用しているため、操作できないことがあります。そのときは、DVDプレーヤーやビデオのリモコンで操作してください。

テレビのリモコンでデジタルチューナーやDVDプレーヤー、ビデオの操作をする

デジタルチューナーやDVDプレーヤー、ビデオ、ハードディスクビデオレコーダー、チャンネルサーバーなど、つないだ機器のリモコンコードを登録すると（☞15ページ）、テレビのリモコンで、つないだ機器の基本的な操作ができます。

ご注意

登録できるデジタルチューナーやハードディスクビデオレコーダー、チャンネルサーバーはソニー製のみです。

1 デジタルチューナー、DVDまたはVTRボタンを押す。

押したボタンが10秒間点灯します。点灯はつないだ機器を操作するたびに、さらに10秒延長します。ボタンが点灯している間のみ、つないだ機器を操作できます。

ご注意

点灯しているボタンをもう1度押すと、ボタンは消灯し、つないだ機器の操作ボタンとして働きません。

2 AV電源ボタンを押す。

つないだ機器の電源が入ります。もう1度押すと電源が切れます。

3 リモコンを、つないだ機器に向けて操作する。

押したボタンが点灯中にテレビのリモコンを、つないだ機器のリモコン受光部に向けて、操作ボタンを押してください。各ボタンの機能については☞18～19ページをご覧ください。

ちょっと一言

操作する機器のコントロールS入力端子もつないでいるときは（☞56ページ）、リモコンをテレビに向ければ、つないだ機器の操作ができます。

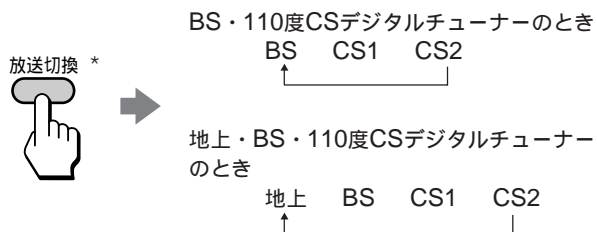
次のページにつづく

テレビにつないだ機器の画像を楽しむ（つづき）

デジタルチューナーを操作するときは

テレビのリモコンでソニー製デジタルチューナーの放送切り換え、チャンネル選局、番組表の表示、サービス切り換えができます。

放送を切り換える

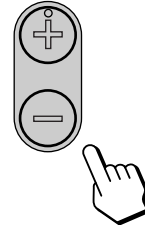
放送切換ボタンを押して、放送を切り換えます。

*DST-BX100には対応していません。

チャンネル数字ボタンで選局する

デジタルチューナーの①〜⑫/選局ボタンに登録されているチャンネルを選局できます。

ご注意

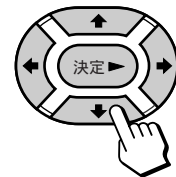
- 3桁のチャンネル番号入力による選局はできません。
- 110度CSデジタル放送には対応していないデジタルチューナーもあります。
- デジタルチューナーボタン消灯時は、テレビのチャンネルボタンに戻ります。

チャンネル＋/－ボタンで選局する

押し続けると、チャンネル番号のみ早く切り換わり、離すとそのチャンネルが映ります。

ご注意

デジタルチューナーボタン消灯時は、テレビのチャンネル＋/－ボタンに戻ります。

番組表を表示する

番組表ボタンを押して番組表を表示し、（決定）で番組表のカーソルを動かします。

サービスを切り換える

ラジオ/データボタンを押して、サービスを切り換えます。

DVDプレーヤーを操作するときは

テレビのリモコンでDVDプレーヤーの基本的な操作（電源入/切、再生、停止、早送り、早戻し、次チャプター頭出し、前チャプター頭出し）ができます。

ご注意

- DVDプレーヤーのメニューなどは↑/↓/←/→を押しても操作できません。
- テレビのリモコンのボタンに対応する機能がDVDプレーヤーにない場合は、そのボタンは働きません。

ビデオまたはハードディスクビデオレコーダーを操作するときは

テレビのリモコンで、ビデオやハードディスクビデオレコーダーの基本的な操作（電源入/切、再生、停止、早送り、早戻し）ができます。

ご注意

- ビデオまたはハードディスクビデオレコーダーのメニューなどは↑/↓/←/→を押しても操作できません。
- テレビのリモコンのボタンに対応する機能がビデオやハードディスクビデオレコーダーにない場合は、そのボタンは働きません。

チャンネルサーバーを操作するときは

テレビのリモコンでチャンネルサーバーのメニュー画面のカーソルを動かして操作できます。再生や停止、早送りなどの操作ボタンとしては使用できません。

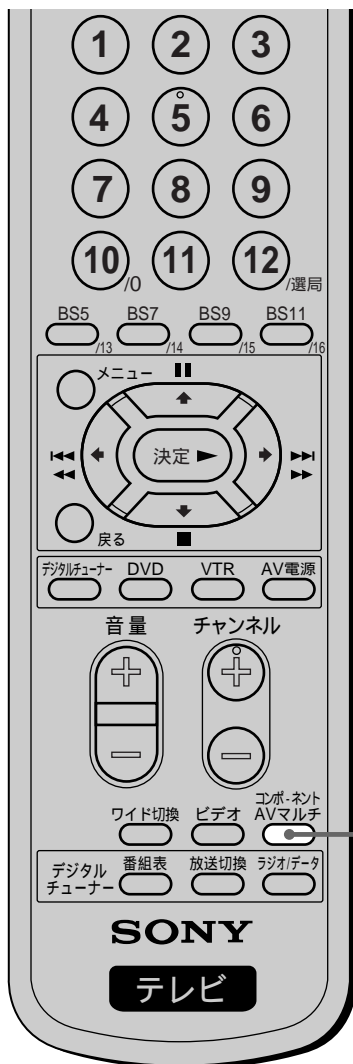
上図のようにチャンネルサーバーのリモコンの操作ボタンと、テレビのリモコンの操作ボタンがそれぞれ同じ働きをします。

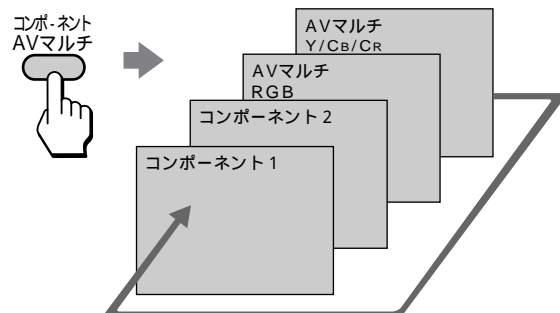
“プレイステーション 2”などを楽しむ

“プレイステーション 2”、
“プレイステーション”(PS one) および
“プレイステーション”の取扱説明書もあわせてお読みください。

AVマルチ入力端子につないだとき(☞68ページ)

1本のケーブルで簡単に映像信号と音声信号を接続できます。

ご注意
ソフトウェアによっては、AVマルチ入力端子のRGB接続またはY/CB/CR接続に適していないものもあります。

コンポーネントAVマルチボタンをくり返し押す。

押すたびに、入力が次のように切り換わります。

“プレイステーション 2”を使うには
コンポーネントAVマルチボタンをくり返し押して、“プレイステーション 2”の映像が出る入力（「AVマルチRGB」または「AVマルチY/CB/CR」）にする。

ご注意
下の表のように、“プレイステーション 2”側の設定にテレビ側のAVマルチ入力を合わせてください。
設定が異なっていると、映像が乱れたり、正しく表示されないことがあります。

“プレイステーション 2”側のシステム設定画面で「コンポーネント映像出力」が	テレビ側のAVマルチ入力を
「RGB」のときは、	「AVマルチRGB」にする。
「Y Cb/Pb Cr/Pr」のときは、	「AVマルチY/CB/CR」にする。

“プレイステーション”(PS one) および“プレイステーション”を使うには
コンポーネントAVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチRGB」を選ぶ。

ご注意
ソフトウェアによっては、AVマルチ入力端子のRGB接続またはY/CB/CR接続に適していないものもあります。

“プレイステーション 2”、“プレイステーション”(PS one) および“プレイステーション”の画面の左右位置を調整するには

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「(各種切換)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「AVマルチ画面位置」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で画面の左右位置を調整する。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

CGゲームモードの設定をするには

CGゲームモードを「入」にすると、CG(コンピューター・グラフィックス)の多いゲームに適した映像を楽しめます。また、CGゲームモードを「切」にすると、DVDの映画などの自然画に適した映像を楽しめます。ソフトに合わせて選んでください。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「(各種切換)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「CGゲームモード」を選び、決定ボタンを押す。

4 現在のAVマルチ入力(「RGB」または「Y/CB/CR」)が選ばれていることを確認し、決定ボタンを押す。
現在のAVマルチ入力のみ選べます。

5 ↑/↓で「入」か「切」を選び、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

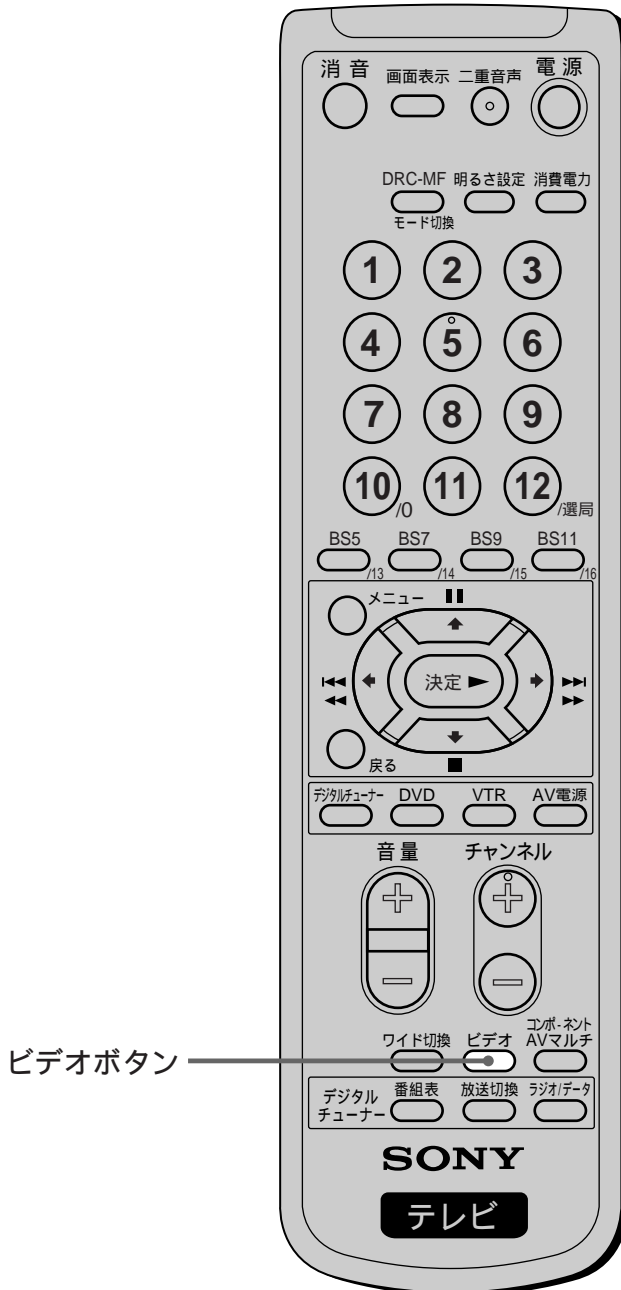
ご注意

- AVマルチ入力以外の入力を選んでいるときは、CGゲームモードの切り換えはできません。
- “プレイステーション”(PS one) および“プレイステーション”用のゲームソフトによっては、CGゲームモードを切り換えられないことがあります。
- リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

ちょっと一言

- AVマルチ入力端子につないだ機器の映像や、テレビの設定によっては、DRC-MFモード切換ボタン(☞8ページ)が働かないことがあります。
- 「AVマルチ画面位置」は、「AVマルチ」の映像でのみ、調整できます。
- 将来の“プレイステーション 2”用の高解像度ゲームソフトなどには、このテレビは対応していません。
詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- 電子的なライフルやガン(銃)などで標的にして楽しむシューティングゲームなどは、テレビの画面を使用できないことがあります。詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

“ プレイステーション 2 ”などを楽しむ（つづき）

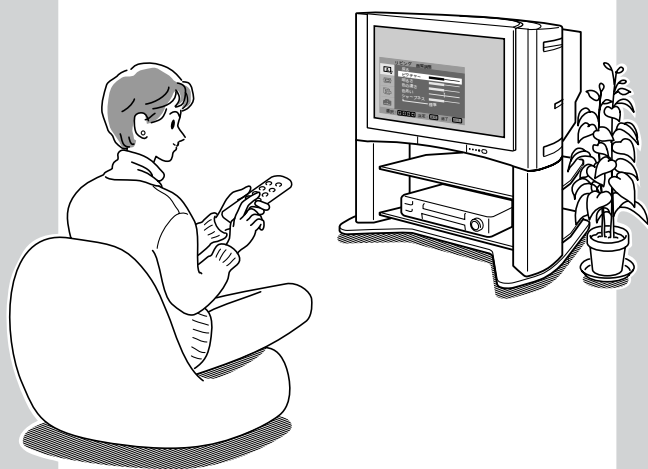
ビデオ入力端子につないだとき（☞69ページ）

ビデオボタンをくり返し押す。

“ プレイステーション 2 ”、
“ プレイステーション ”（PS one）および
“ プレイステーション ”などの映像が出る入力（「ビデオ1」～「ビデオ4」）にする。
詳しくは、☞13ページをご覧ください。

ご注意

「CGゲームモード」の設定はできません。

調整する/設定する

ここでは、画質や音質、および画面の位置やサイズなどを調整する応用的な操作を説明しています。
BS放送をビデオに録画したり、予約録画したりするときの操作も説明しています。
また、テレビに内蔵されているタイマーを使って、自動的に電源を切ったりする操作も説明しています。

オートワイドの設定を変える

オートワイドの設定について

オートワイドの設定には、「1」と「2」があります。

オートワイド「1」
一部の放送局の通常放送（4:3映像）には、映像を判別するための識別制御信号*が、映像信号に重なって送られています。また、ビデオカメラなど一部のビデオ機器でも同様の識別制御信号が出力されています。
このような識別制御信号を判断して、**忠実に再現する**のが、オートワイド「1」です。ただし、識別制御信号がないときに、手動で選んだ画面モードによっては、画面の周囲が黒くなったり、映像の一部が欠けたりすることがあります。

オートワイド「2」
次ページのように、識別制御信号の有無に関係なく、最適な画面モードに切り換えるのが、オートワイド「2」です。

お買い上げ時は、オートワイド「2」で、「4:3映像」が「ワイドズーム」に設定されています。ただし、AVマルチ入力（☞20ページ）のときは、オートワイド「1」に設定されています。

* 識別制御信号とは、オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含んだ映像には、次のものがあります。
－横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像（ID-1方式やS1方式）
－横縦比を4:3にする信号が入ったテレビ放送
－D4入力端子からの横縦比情報の入った映像

オートワイドの設定を変える（つづき）

映像の種類による「1」と「2」の画面モードの違い

映像の種類	画面モード	
	オートワイド「1」	オートワイド「2」
通常のテレビやBS放送	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「ワイドズーム」または「ノーマル」*1
横縦比を4:3（「ノーマル」）にする信号が入ったテレビ放送*2	「ノーマル」	「ワイドズーム」または「ノーマル」*1
映像中に字幕が入った横長の映画	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「ズーム」
映像の外に字幕のある横長の映画	ワイド切換ボタンで選んだ画面モード	「字幕入」
横縦比を16:9（「ズーム」または「フル」）にする信号が入ったビデオカメラやDVDプレーヤーなどの映像（ID-1方式やS1方式）*2	「ズーム」または「フル」	
横縦比を4:3（「ノーマル」）にする信号が入ったビデオカメラやDVDプレーヤーなどの映像（ID-1方式やS1方式）*2	「ノーマル」	「ワイドズーム」または「ノーマル」*2

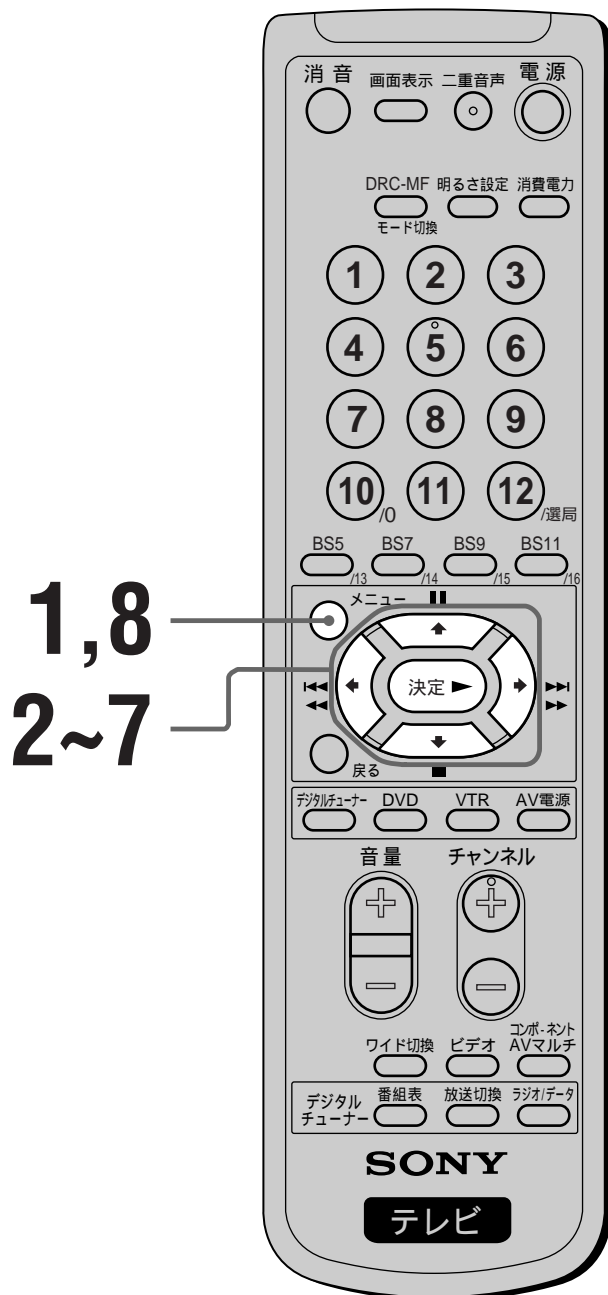
*1 メニューで設定します（☞25ページ）。お買い上げ時は「ワイドズーム」になっています。
*2 識別制御信号（☞23ページ）が入った映像です。

ちょっと一言
- ワイド切換ボタンで切り換えたあと（☞12ページ）などは、表のようにならないことがあります。
- オートワイドが働いているときにワイド切換ボタンを1回押すと（☞12ページ）、上記のオートワイド「1」、「2」にしたがって、オートワイドが働き続けます。
  その後、くり返し押すと、識別制御信号の有無により、次のようになります。
  - 識別制御信号のある映像を受信すると、信号に応じた画面モードに切り換わります。
  - 識別制御信号のない映像のときは、オートワイドを「2」に設定していても、オートワイドが働かなくなります。ただし、チャンネルや入力を変えたり電源を入/切したりすると、再び働きます。
- このテレビは、映画フィルムをより忠実でなめらかな動きの映像に再現します。これは、映画フィルムの信号の規則性を自動的に識別し、最適な信号処理を行うためです。

オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わるときは
- 識別制御信号のある映像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになる（☞11ページ）ためです。
- オートワイド「2」のときは、CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適なワイド画面をテレビが判断している（☞11ページ）ためです。

ワイド画面についてのご注意
- このテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
- このテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。
- オリジナル映像のサイズや種類によっては、画面の上下が欠けたり、字幕が入りきらないことがあります。このときは、上下位置や縦サイズを調整してください（☞26ページ）。ただし、画面モードが「フル」と「ノーマル」のときは調整できません。

オートワイドを設定する/切る

オートワイドについての詳しい説明は、☞11ページをご覧ください。

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「(画面モード)」を選び、決定ボタンを押す。

3 「オートワイド設定」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

選ばれていないときは、↑/↓で選び、決定ボタンを押す。

4 「オートワイド」が選ばれていることを確認して、決定ボタンを押す。

選ばれていないときは、↑/↓で選び、決定ボタンを押す。

オートワイドの設定を変える（つづき）

5 **オートワイドを切るときは**
↑/↓で「切」を選び、決定ボタンを押す（手順8へ進んでください）。

オートワイドを「1」に設定するときは
↑/↓で「1」を選び、決定ボタンを押す（手順8へ進んでください）。

オートワイドを「2」に設定するときは
↑/↓で「2」を選び、決定ボタンを押す。

6 **オートワイド「2」のときは、↑/↓で「4：3映像」を選び、決定ボタンを押す。**

7 **↑/↓で「ノーマル」または「ワイドズーム」を選び、決定ボタンを押す。**

8 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意
リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

画面の上下位置/縦サイズを調整する

ワイド画像で次のようなときは、画面位置の上下や縦サイズを、画面モード（☞11ページ）ごとに調整できます。
ー「ワイドズーム」や「ズーム」で画面を見やすい位置にしたいとき
ー「字幕入」で字幕が画面に入りきらないとき

「フル」と「ノーマル」の画面モードでは調整できません。

1 調整したい画面を映した状態で、メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「(画面モード)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で調整したい項目を選ぶ。

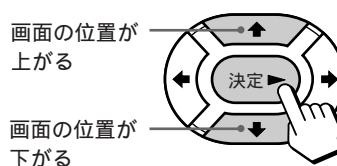
画面の上下位置を調整するときは

↑/↓で「画面位置　上下」を選び、決定ボタンを押す。

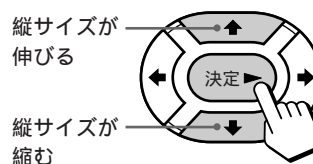
サイズを調整するときは

↑/↓で「縦サイズ」を選び、決定ボタンを押す。

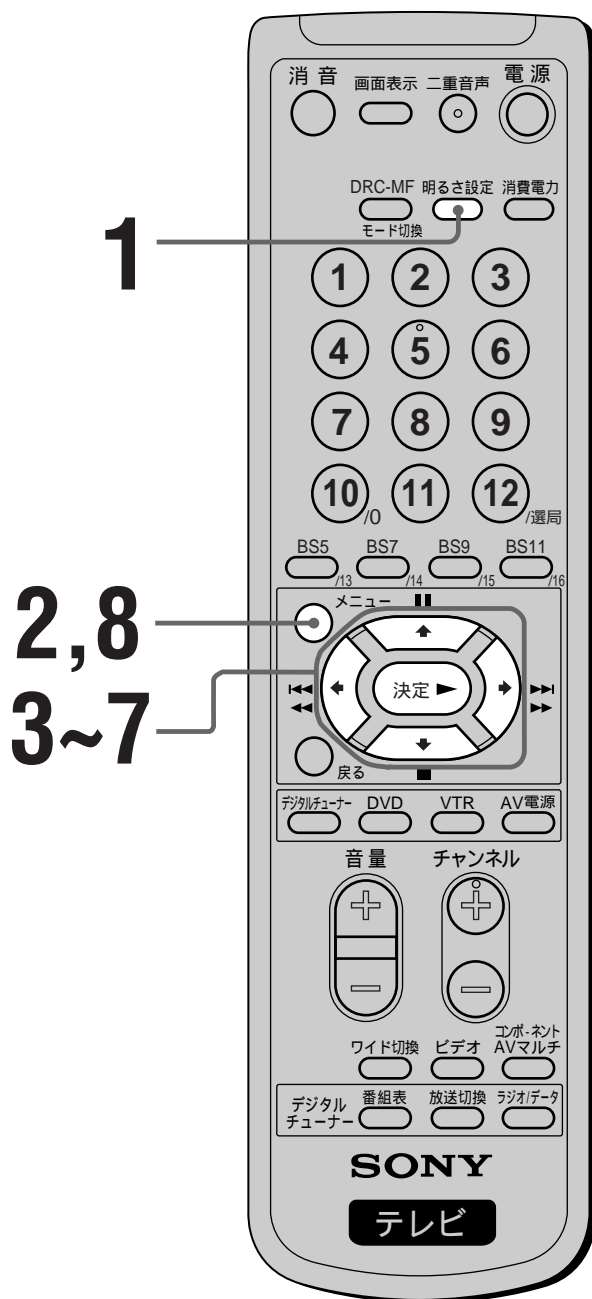
4 ↑/↓で調整して、決定ボタンを押す。

画面の上下位置を調整するときは

縦サイズを調整するときは

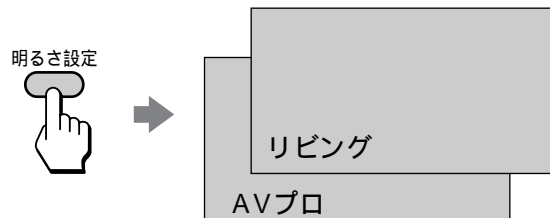
5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

より細かく画質を調整する

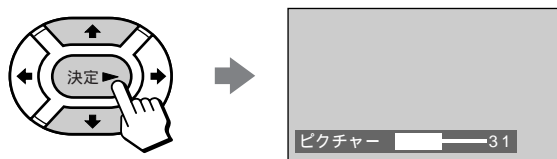
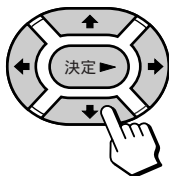
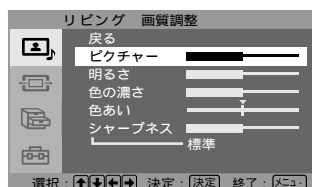
明るさ設定ボタンで「リビング」や「AVプロ」を選ぶと、画質をより細かく調整できます。画質は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごとに設定できます（ただし、通常のテレビ放送、BS放送は共通の設定になります）。

1 明るさ設定ボタンをくり返し押して、「リビング」または「AVプロ」を選ぶ。

ご注意

「ダイナミック」と「スタンダード」（☞9ページ）では、画質調整できません。

2 メニューボタンを押す。

3 ⬆/⬇で「(画質/音質)」を選び、決定ボタンを押す。

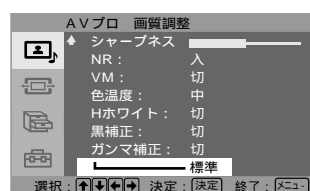
4 ⬆/⬇で「画質調整」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓←/→で調整し、決定ボタンを押す。

「リビング」と「AVプロ」両方で調整できる項目

項目	↓/←を押すと	↑/→を押すと
ピクチャー	明暗の差が小さくなる	明暗の差が大きくなる
明るさ	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	薄くなる	濃くなる
色あい	赤みがかる	緑がかる
シャープネス	映像の輪郭が柔らかくなる	映像の輪郭がくっきりする

ちょっと一言

調整バーの横に表示される数値も調整の目安になります。

「AVプロ」でのみ調整できる項目

↓を押し続けて「シャープネス」の下まで移動すると、以下の項目が調整できます。

項目	説明	選べる設定
NR*（ノイズリダクション）	**通常は「入」にしておいてください。** 「入」：映像のざらつきや色ノイズを軽減する（ゴーストなど電波障害は軽減されない）。 「切」：元の映像信号（処理していないオリジナル信号）の状態を確認するときなどに選ぶ。ただし、映像のざらつきや色ノイズが強調されたり、色にじみが出ることがある。	入/切
VM（ベロシティモジュレーション） （速度変調）	映像の輪郭を強調する。	強/中/弱/切
色温度	「高」から「低」にしていくと赤みがかった暖かみのある色調になる。	高/中/低
Hホワイト（ハイパー）	白の鮮明さを強調する。	入/切
黒補正	黒を強調してコントラストを強くする。	強/中/弱/切
ガンマ補正	映像の明暗部分のバランスを調整する。	強/中/弱/切

*「NR（ノイズリダクション）」は、コンポーネント1、2（D4映像）入力端子、AVマルチ入力端子につないだ機器の映像のときは、調整できません。

7 他の項目を調整するときは、手順5と6をくり返す。

8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

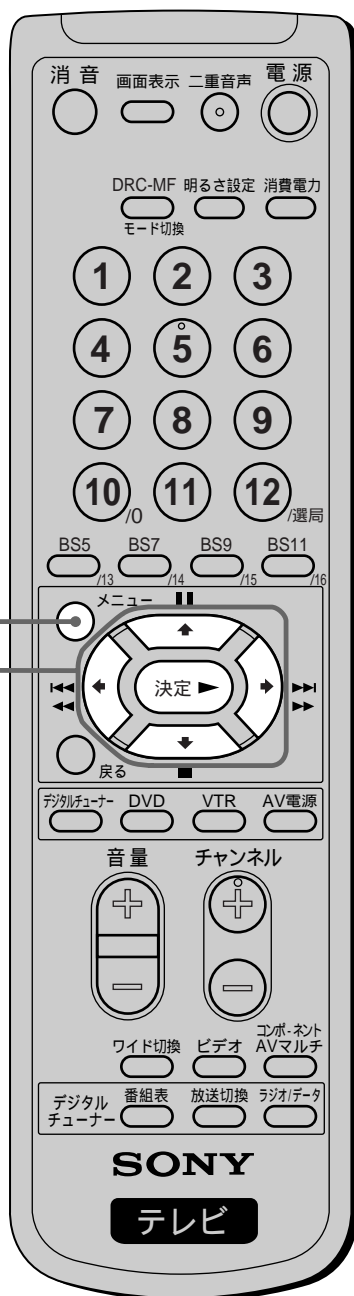
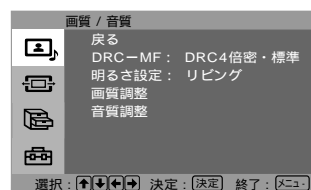
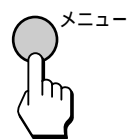
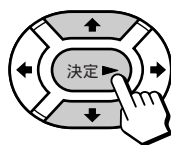
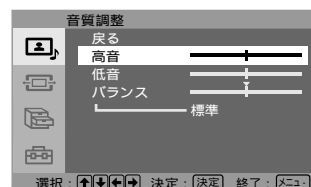
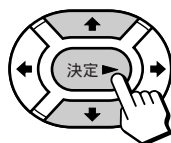
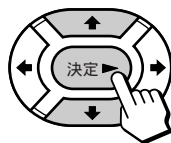
お買い上げ時の状態に戻すには

手順5で、「標準」を選び、決定ボタンを押す。

ご注意

リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

音質を調整する

音質は、入力切換用のボタンで選べる各入力ごとに設定できます（ただし、通常のテレビ放送とBS放送は共通の設定になります）。

1 設定したい画面を映した状態でメニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「(画質/音質)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「音質調整」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓←/→で調整し、決定ボタンを押す。

項目	↓/←を押すと	↑/→を押すと
高音	弱くなる	強くなる
低音	弱くなる	強くなる
バランス	左側の音が強くなる	右側の音が強くなる

ちょっと一言
調整バーの横に表示される数値も調整の目安になります。

6 他の項目を調整するときは、手順4と5をくり返す。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

お買い上げ時の状態に戻すには

手順4で、「標準」を選び、決定ボタンを押す。

ご注意
リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

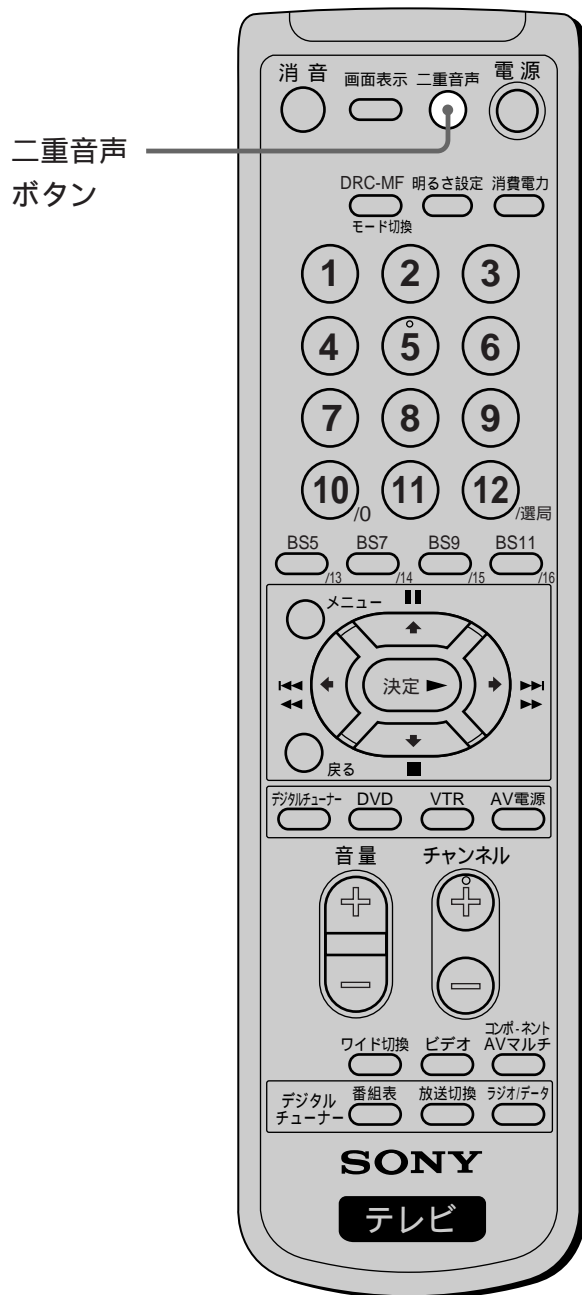
それぞれの音を聞き取りやすくするには（BBE機能）

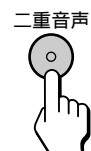
音の明瞭感を高めて、メリハリのある聞きやすい音にするのが「BBE」機能です。
お買い上げ時は、「入」に設定されています。
「切」にして効果を少し弱めることもできますが、音量感が弱まるため、通常は「入」のままで使うことをおすすめします。

1. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「（各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で「BBE」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「入」または「切」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意
リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

音声を切り換える
[二重音声ボタン]

二か国語放送など二重音声放送のときに、聞きたい音声を選べます。

二重音声ボタンをくり返し押す。

押すたびに下表のように切り換わります。

画面表示	左側の音声	右側の音声
主	主音声	主音声
副	副音声	副音声
主/副	主音声	副音声

例：「主/副」を選んだとき

通常のテレビ（VHF/UHF）のステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして、チャンネルごとに雑音を軽減できます。

1. **雑音の多いチャンネルを映した状態で、メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「⊡(設定)」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **↑/↓で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **「オートステレオ」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **↑/↓で「切」にして、決定ボタンを押す。**
6. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意

リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

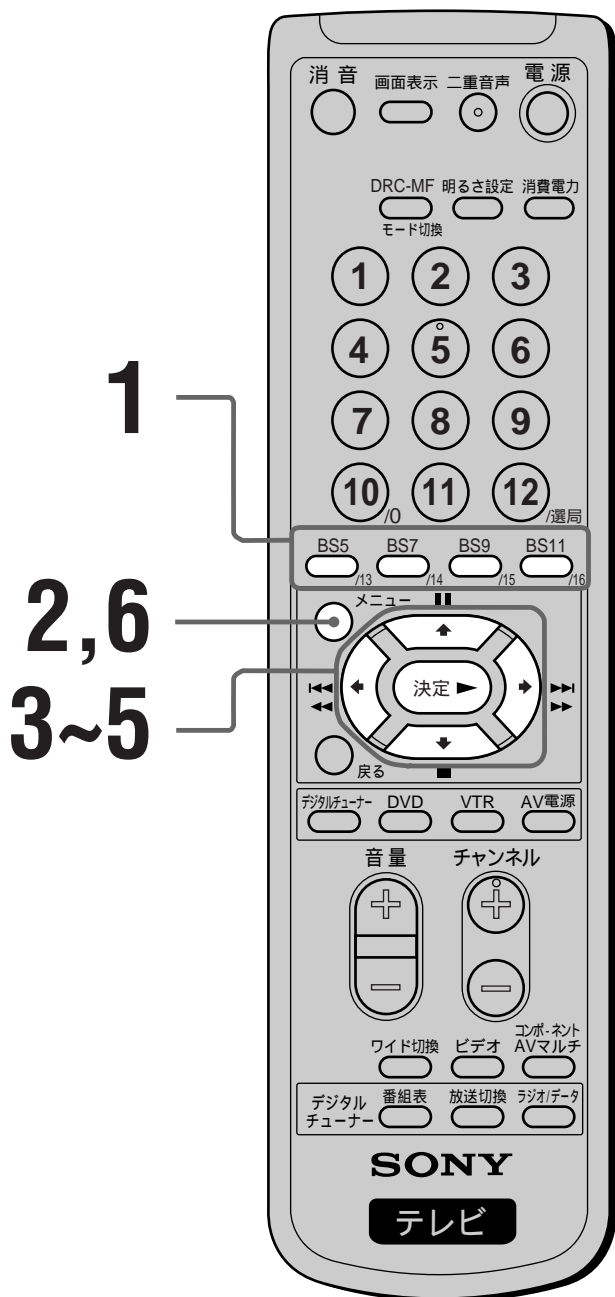
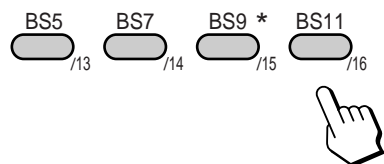
ちょっと一言

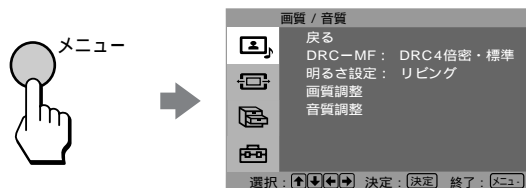
BS放送では放送内容により、以下の音質表示が画面右上に出ます。

- 「A」：Aモード（FM放送とほぼ同じ音質）を受信。
- 「B」：Bモード（Aモードより高音質でCDとほぼ同じ音質）を受信。
- 「独立」： BS5チャンネルの独立音声放送を受信。
- 「ステレオ」： ステレオ放送を受信。（通常のテレビ放送でも表示。）

なお、AモードとBモードは、番組内容に応じて放送局側が使い分けて送信するものを、テレビが自動的に判別して受信するため、二重音声ボタンなどで切り換えることはできません。

BS放送を録画/予約録画する
[BS固定]

このテレビ内蔵のBSチューナーで、BS放送をテレビにつないでいるビデオに録画できます。また、録画するBSチャンネルを固定して、48時間以内の予約録画もできます。
あらかじめ、「ビデオなどをつなぐ」（☞57ページ）をしておいてください。

1 録画したいBSチャンネルを選ぶ。

* **ハイビジョン放送（BS9チャンネル）を録画するときは**
MUSE-NTSCコンバーターをつなぐ必要があります（☞70ページ）。詳しくは、必ずMUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書をご覧ください。

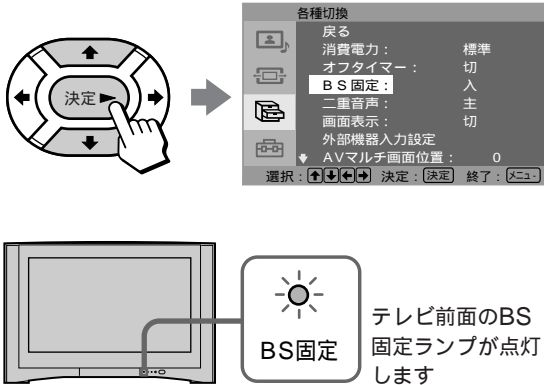
2 メニューボタンを押す。

3 ↑/↓で「(各種切換)」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「BS固定」を選び、決定ボタンを押す。

次のページにつづく

BS放送を録画/予約録画する［BS固定］（つづき）

5 **↑/↓で「入」を選び、決定ボタンを押す。**

テレビ前面のBS固定ランプが点灯します

6 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

7 **S映像入力端子付きビデオのときは、ビデオ側で映像入力端子の信号を優先する設定にする。**

テレビのBS/ビデオ出力端子は映像出力端子のため、ビデオ側でS映像入力端子の信号を優先する設定にしてあると、映像信号がビデオに入力されないため、録画されません。
詳しくは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

8 **ビデオを「外部入力（ライン入力）」に切り換えて、録画を始める。**

詳しくは、ビデオの取扱説明書をご覧ください。

見ながら録画するときは
BS固定したBSチャンネルで、そのままお楽しみください。他のBSチャンネルには、切り換わりません。

裏番組として録画するときは
BSを録画しながら、通常のテレビ（VHF/UHF）やビデオを見ることができます。見たいチャンネルやビデオ入力などを選んでください。
他のBSチャンネルには、切り換わりません。

予約録画するときは
ビデオで「外部入力（ライン入力）」を録画予約し、リモコンでテレビの電源を切る。
テレビの電源はスタンバイ状態になりますが、BSチューナー部の電源は48時間電源が入ったままになります（BS固定ランプが点灯）。

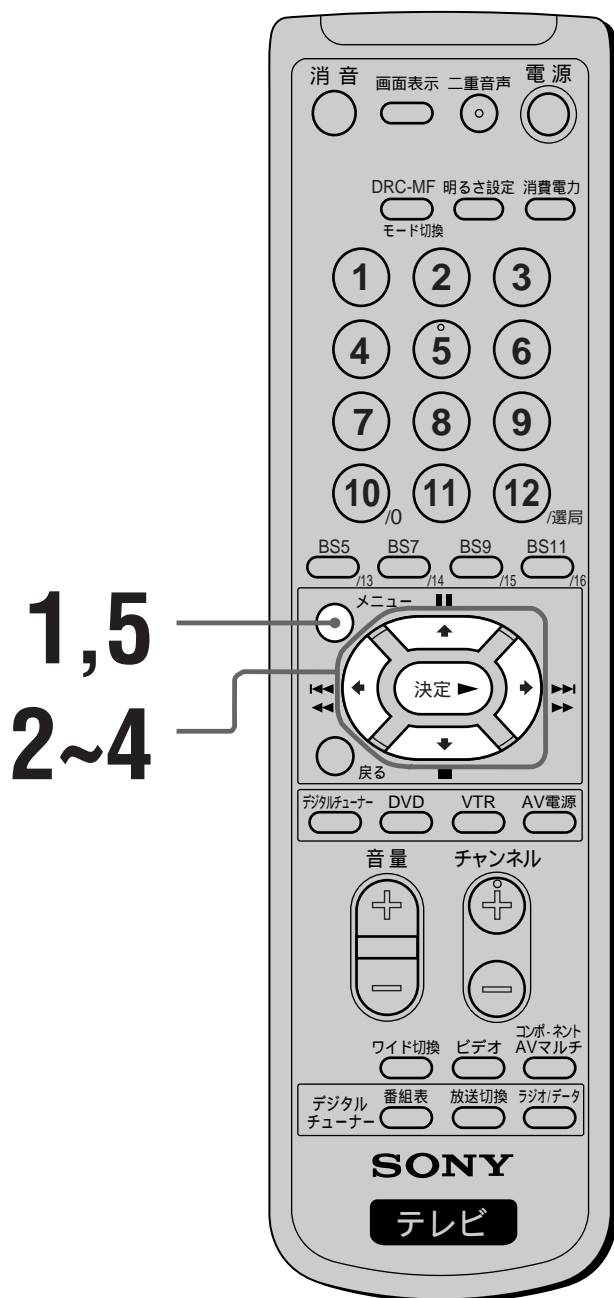
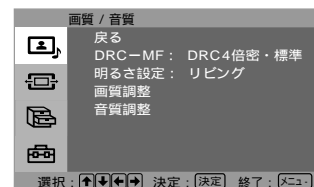
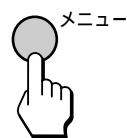
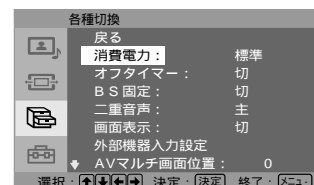
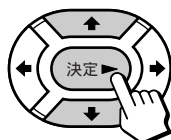
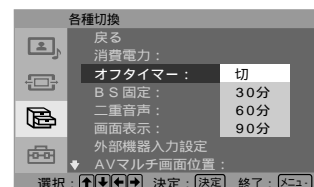
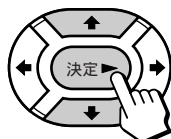
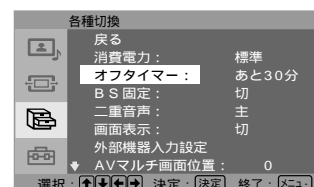
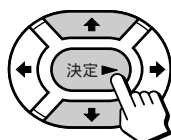
ご注意
- テレビ本体の電源スイッチで電源を切ったり、電源コードを抜いたりすると、録画できなくなります。
- WOWOWなどスクランブル放送を録画するときは、BSデコーダー（WOWOW）の電源を入れたままにしてください。
- リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

ちょっと一言
独立音声放送を録音するときは、「（各種切換）」メニューで、「TV/独立音声」を「独立」にしてください。また、BSデコーダー（WOWOW）でも独立音声を選んでください。

録画が終わったら/BS固定をやめるには

☞33ページの手順1から4までを行い、手順5で「切」を選ぶ。BS固定ランプが消えてBS固定が解除され、他のBSチャンネルを選べます。

自動で電源を切る
［オフタイマー］

見ている番組の終わる時間などに合わせて、自動的にテレビの電源を切るように設定できます。設定できる時間は30分、60分、90分後です。

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「(各種切換)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「オフタイマー」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で設定したい時間を選び、決定ボタンを押す。

5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

オフタイマーを途中でやめるには

手順4で、「オフタイマー：切」を選びます。

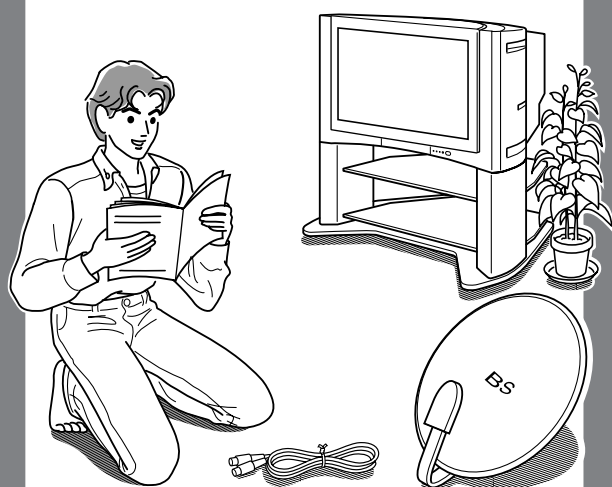
ご注意

リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

ちょっと一言

電源を入れ直したときは、「オフタイマー：切」に戻ります。

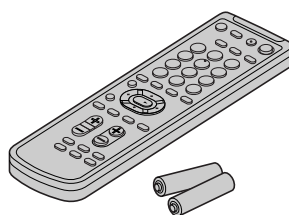
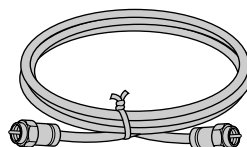
テレビの接続と準備

ここでは、テレビアンテナとBSアンテナのつなぎかた、およびチャンネル設定や、BS放送を見るための設定を説明しています。
手順1〜5（☞39〜51ページ）まで済ませれば、テレビを見ることができます。
他の機器をつないでお使いになるときは、「他機との接続」（☞54〜73ページ）をご覧ください。

テレビを設置するときは、必ず、「地磁気による画像の傾きや上下位置を補正する」（☞42ページ）を行ってください。

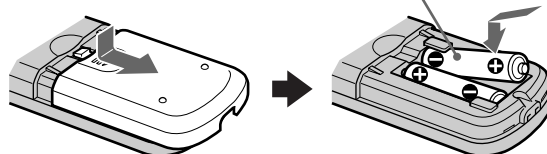
地磁気などの影響により、画像が傾いたり、上下位置がずれたり、色むらなどが発生したりする場合があります。

付属品を確かめる

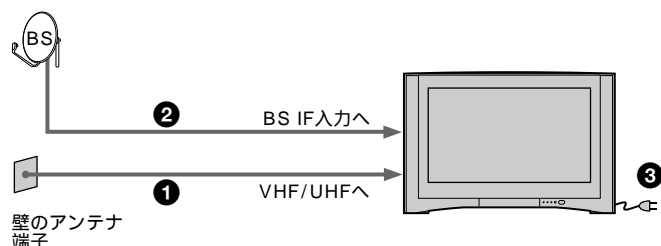
箱を開けたら、付属品がそろっているかをお確かめください。

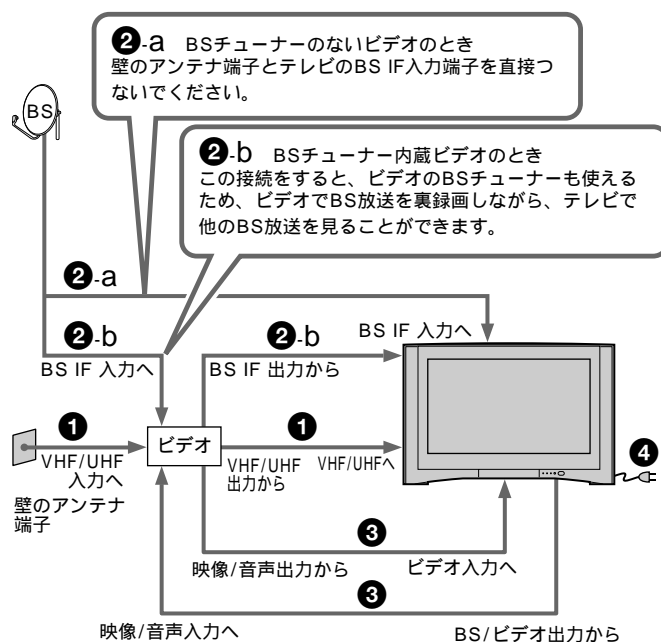
リモコン（1個）と単3形乾電池（2個）

同軸ケーブル（1本）

取扱説明書
安全のために
安全点検のおすすめ
ソニーご相談窓口のご案内
保証書
（各1部）

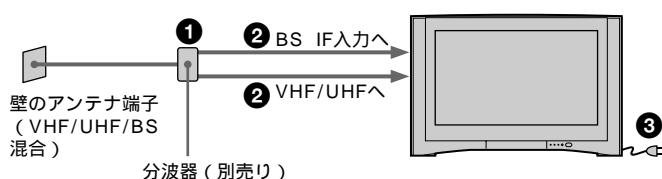
リモコンに電池を入れるには

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。無理に入れたり逆に入れたりすると、ショートの原因になり、発熱することがあります。

接続と準備の早わかり

接続と準備のしかたは、放送の種類や接続する機器によって異なります。
ここでは代表的な組み合わせをあげていますので、参考にしてください。詳しくは（　）内のページ、および接続するビデオなどの取扱説明書をあわせてご覧ください。
チャンネルサーバーは、BSチューナーのないビデオと同じようにつないでください。
BSアンテナの接続およびBSアンテナの設定は、BS放送を受信しないときは不要です。

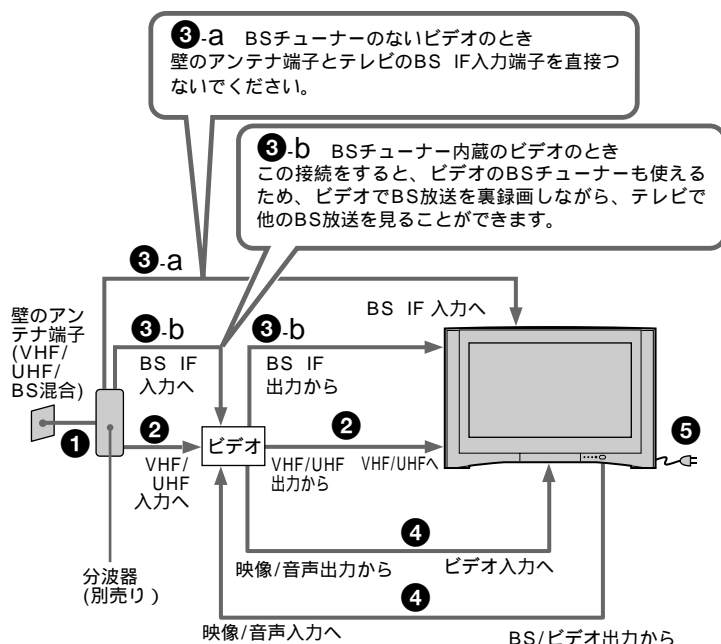
テレビ

❶ テレビアンテナをつなぐ（☞39ページ）
❷ BSアンテナをつなぐ（☞41～42ページ）
❸ 電源コードをつなぐ
❹ テレビチャンネルを設定する（☞44ページ）
❺ BSアンテナの設定をする（☞48ページ）

テレビ＋ビデオ

❶ テレビアンテナを、ビデオを経由してテレビにつなぐ（☞57～60ページ、およびビデオの取扱説明書）
❷ BSアンテナをつなぐ
　❷-a　BSチューナーのないビデオのとき：BSアンテナをテレビにつなぐ（☞41～42ページ）
　❷-b　BSチューナー内蔵ビデオのとき：BSアンテナをビデオを経由してテレビにつなぐ（☞41～42ページ、およびビデオの取扱説明書）
❸ ビデオをつなぐ（☞57～60ページ）
❹ 電源コードをつなぐ
❺ テレビチャンネルを設定する（☞44ページ）
❻ BSアンテナの設定をする（☞48ページ）

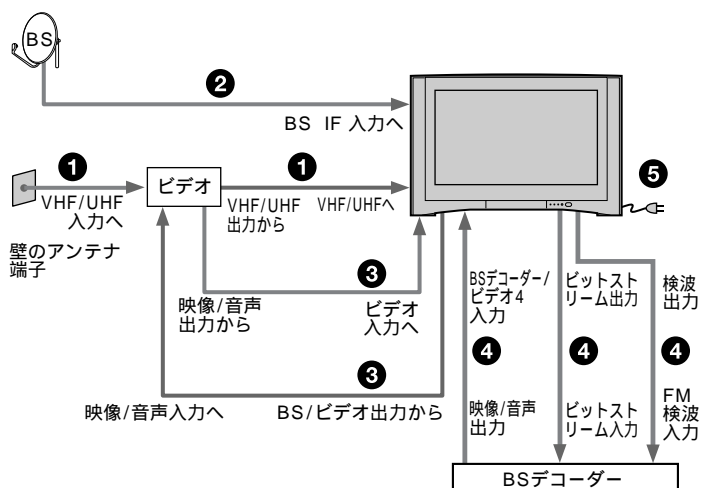
マンションなどの共同受信システム*1

*1 壁のアンテナ端子ひとつでVHF/UHFとBSの両方を受信できる、マンションなどの共同住宅に多いシステムです。

❶ 分波器を使って、VHF/UHFとBSを分波する（☞40ページ）
❷ 分波したVHF/UHFとBSの信号をテレビにつなぐ（☞40ページ）
❸ 電源コードをつなぐ
❹ テレビチャンネルを設定する（☞44ページ）
❺「BSアンテナ電源」の設定を「切」にする（☞48ページ）

次のページにつづく

マンションなどの共同受信システム*1＋ビデオ

*1 壁のアンテナ端子ひとつでVHF/UHFとBSの両方を受信できる、マンションなどの共同住宅に多いシステムです。

❶ 分波器を使って、VHF/UHFとBSを分波する（☞40ページ）
❷ テレビアンテナを、ビデオを経由してテレビにつなぐ（☞57～60ページ、およびビデオの取扱説明書）
❸ BSアンテナをつなぐ
　❸-a　BSチューナーのないビデオのとき：BSアンテナをテレビにつなぐ（☞41～42ページ）
　❸-b　BSチューナー内蔵ビデオのとき：BSアンテナをビデオを経由してテレビにつなぐ（☞41～42ページ、およびビデオの取扱説明書）
❹ ビデオをつなぐ（☞57～60ページ）
❺ 電源コードをつなぐ
❻ テレビチャンネルを設定する（☞44ページ）
❼「BSアンテナ電源」の設定を「切」にする（☞48ページ）

テレビ＋WOWOW＋ビデオ*2

*2 BSチューナー内蔵ビデオのときの接続は、上の図とは異なります。「BSデコーダー（WOWOW）をつなぐ：BSチューナー内蔵ビデオのとき」（☞66ページ）の接続を行ってください。

❶ テレビアンテナをビデオを経由してテレビにつなぐ（☞57～60ページ）
❷ BSアンテナをつなぐ（☞41～42ページ）
❸ ビデオをつなぐ（☞57～60ページ）
❹ BSデコーダー（WOWOW）をつなぐ（☞65～67ページ）
❺ 電源コードをつなぐ
❻ テレビチャンネルを設定する（☞44ページ）
❼ BSアンテナの設定をする（☞48ページ）

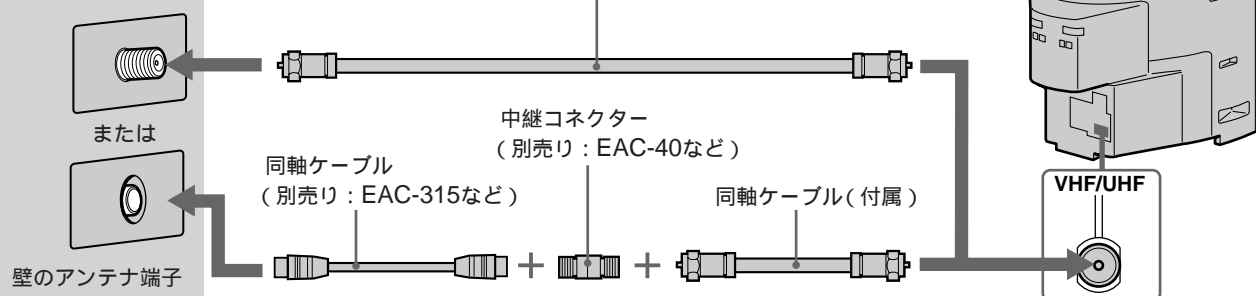
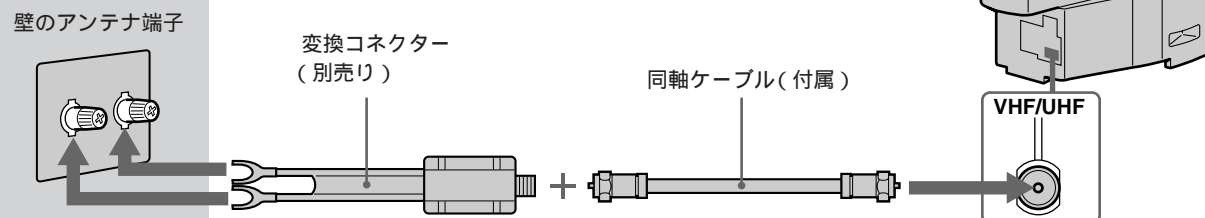
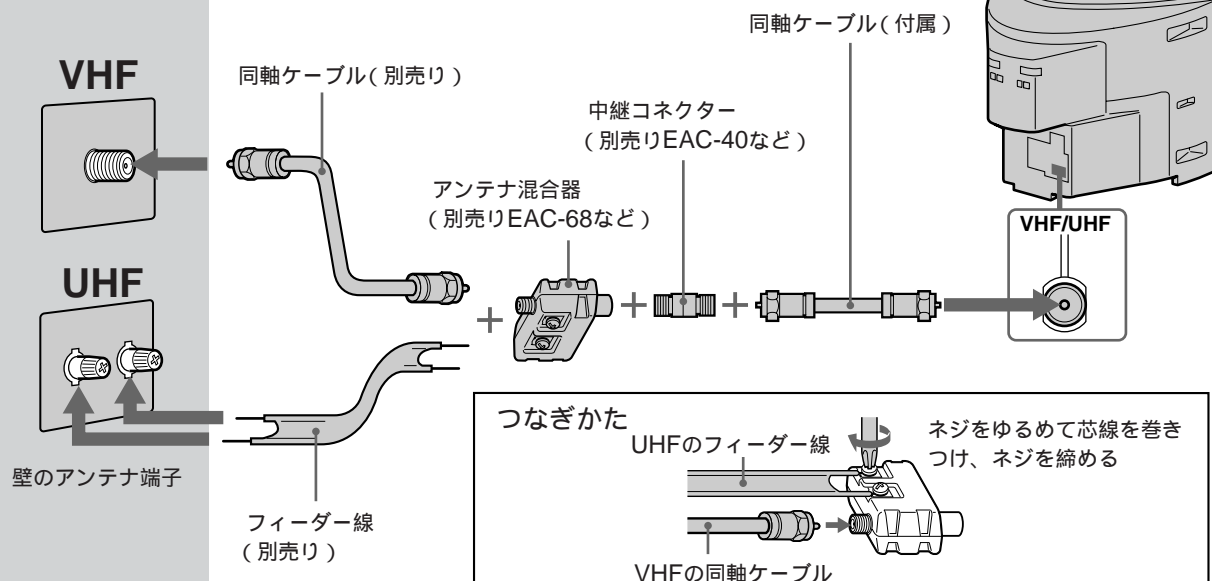
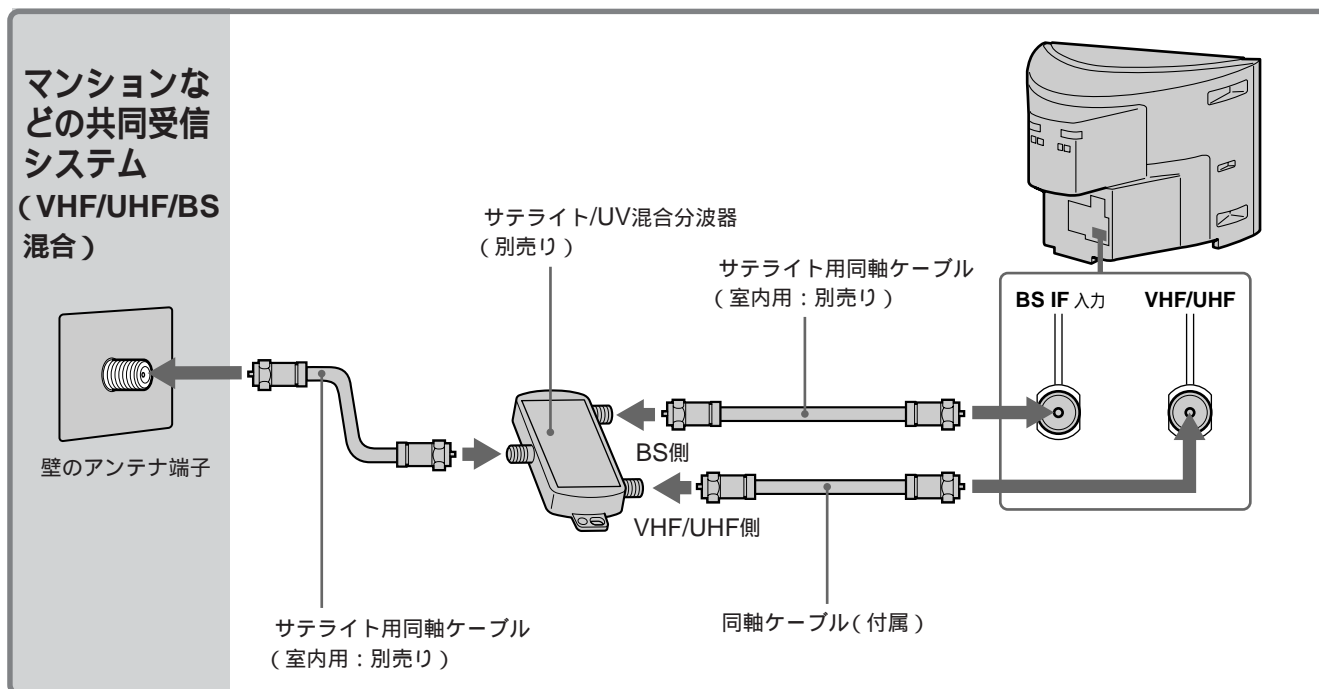
ケーブルテレビ

ケーブルシステムによって接続や準備のしかたが異なります。ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

手順1：テレビアンテナをつなぐ

テレビアンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や、使うケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、つないでください。
いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

テレビの接続と準備

次のページにつづく

手順1：
テレビアンテナをつなぐ（つづき）

きれいな画像をお楽しみいただくために

このテレビには、多くのデジタル回路による新テクノロジーが搭載されています。このため、安定した画像をお楽しみいただくためにはアンテナの接続状態がとても重要です。下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、妨害電波を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- 壁側からのアンテナ線がフィーダー線または同軸ケーブルのどちらであっても、テレビ後面側のVHF/UHF端子への接続には、付属の同軸ケーブルを使ってください。
- アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。

デジタルCS放送*を含めた共同受信システムのときは

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に、共同受信システム方式を確認して、その指示に従って、接続および受信方法の設定（☞63ページ）を行ってください。

ご注意

- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。万が一、フィーダー線をご使用になる場合は、テレビからできるだけ離してください。
- BS IF**入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブル（室内用：別売り）をつないでください。**BS IF入力端子からはBSアンテナ用の電源（DC 15V）が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
- サテライト分配器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプ（別売りEAC-BC2またはEAC-BC4など）を必ずお使いください。特定の端子からのみBSアンテナ電源を供給するサテライト分配器を使うと、 BSチューナー内蔵ビデオでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じます。

ちょっと一言

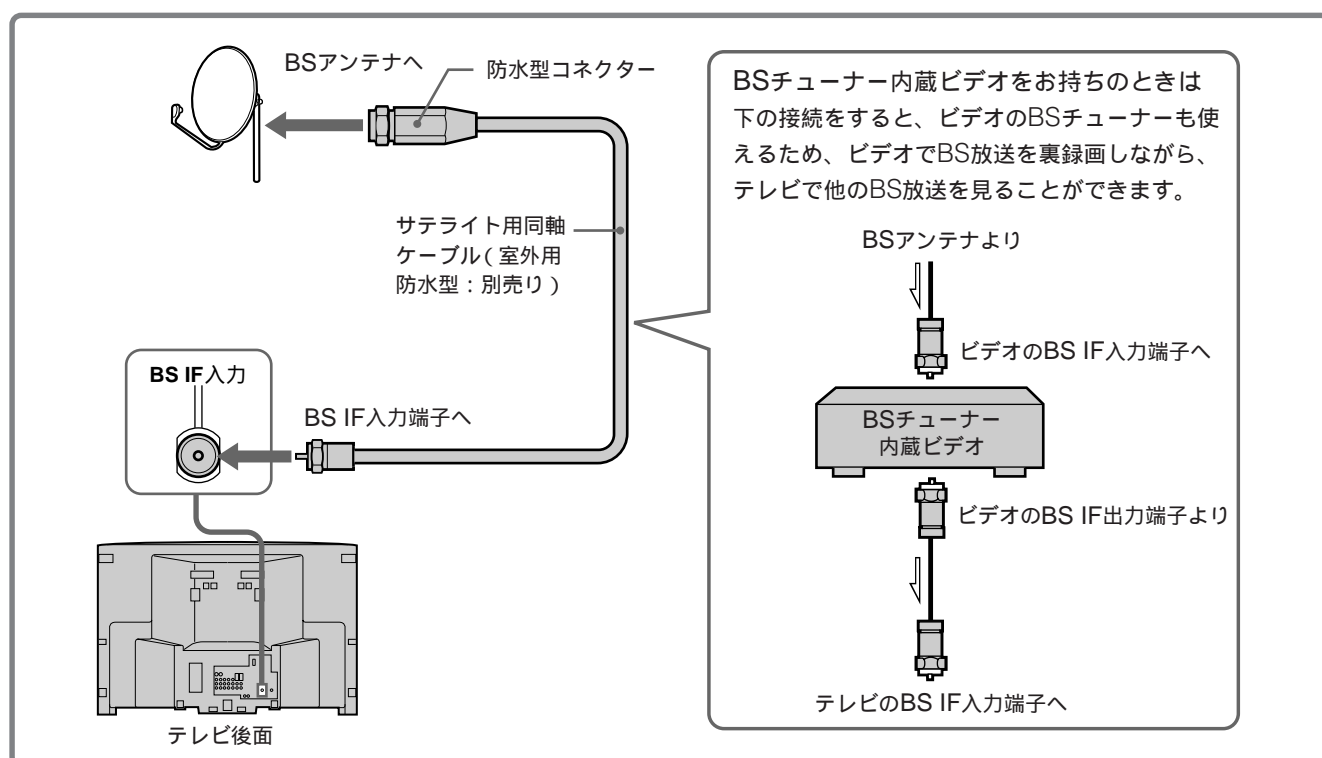
マンションなどの共同受信システムで、BS放送のアンテナレベルが低いときは、サテライトブースターをつなぐなど、信号の流れを見直す必要があります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に確認してください。

* スカイパーフェクTV！のことです。110度CSデジタル放送ではありません。

手順2：BSアンテナをつなぐ

BSアンテナをテレビに直接つなぎます。BSアンテナの設置には技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼することをおすすめします。マンションなどの共同受信システムなどVHF/UHF/BS混合のときは、☞40ページをご覧ください。

テレビの電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。

WOWOWをご利用になるときは、「BSデコーダー（WOWOW）をつなぐ」（☞65ページ）もあわせてご覧ください。

BS放送が正しく受信できないときや、「BSアンテナ電源を確認してください」という表示が出たら

「(設定)」メニューで「BS設定」を選び、「BSアンテナ電源」を「切」にします。

1 いったんテレビの電源を切る。

2 以下のことを確認する。

- サテライト用同軸ケーブルの芯線が、BS IF端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。

芯線がBS-IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れないように、気をつけてください。

- サテライト用同軸ケーブルをアンテナコネクターでつないでいるときは、アンテナコネクターの芯線が、BS IF端子やコネクターのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。
  それでも表示が消えないときは、アンテナコネクターのふたを開けて、内部を確認してください。

3 再び電源を入れたあと、「(設定)」メニューで「BS設定」を選び、「BSアンテナ電源」を設定する（☞48ページ）。

- BSアンテナをテレビにつないでいるときは、「オート」または「連動」にする。
- マンションなどの共同受信システムのときは、「切」にする。

次のページにつづく

手順2：BSアンテナをつなぐ（つづき）

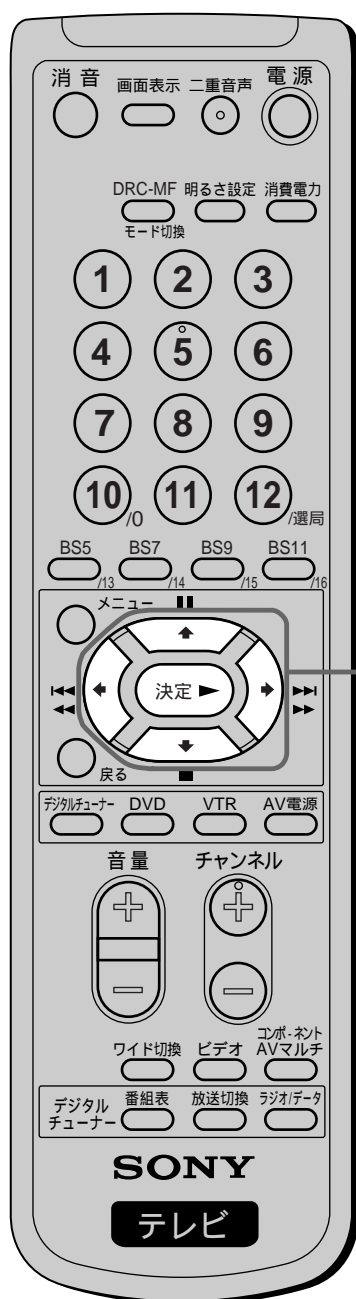
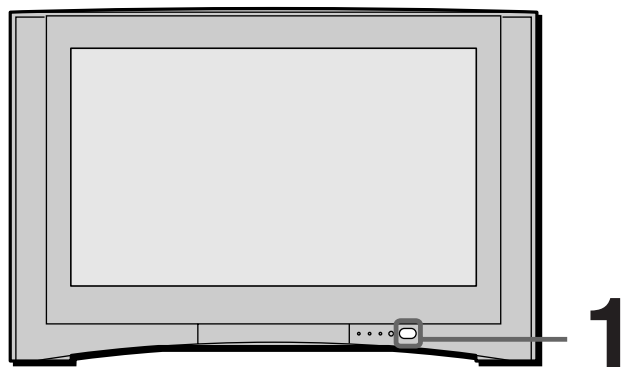
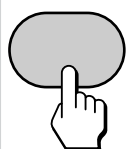
ご注意

- **BS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブルをつないでください。**BS IF入力端子からはBSアンテナ用の電源（DC 15V）が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。
  推奨ケーブル
  – 室外用防水型：SAK-C10/C20/C30など
- 次のようなときはBSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
  – お住まいの地域またはBSを送信する放送衛星会社の地域が雷雨、強風などの悪天候のとき
  – BSアンテナに雪が付着しているとき
  – 強風などでアンテナの向きが変わったとき（BSアンテナの向きを調整してください。☞50ページ）
- サテライト分配器を使って複数のBS機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプ（別売りEAC-BC2またはEAC-BC4など）を必ずお使いください。
  特定の端子からのみBSアンテナ電源を供給するサテライト分配器を使うと、 BSチューナー内蔵ビデオでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じます。
- BSアンテナをつなぐときは、工具を使わずに手でしっかりと締めてください。工具を使うと、端子を傷めることがあります。

手順3：地磁気による画像の傾きや上下位置を補正する

初めてテレビの電源を入れると、「傾き補正」のメニューが表示され、地磁気など磁界によって発生する画像の傾きや画面上下位置のずれを補正できます。これらの症状は、テレビの故障ではありません。
お買い上げ時は、テレビアンテナやBSアンテナをつないでから、必ず画像の傾きや上下位置を補正してください。
お引っ越し後や、テレビの設置場所を変えたときも、必ずメニュー画面で補正し直してください。

補正される前に確認してください。

- 外部のスピーカー（防磁型も含む）は、テレビから30cm以上離して置いてください。スピーカーの磁気により、うまく補正されなかったり、スピーカーから雑音が出たりするためです。
- 強い磁界（高圧電線や電車、鉄筋コンクリート、鉄製機材の近辺など）では、うまく補正されないことがあります。このときは、磁界の影響を受けない場所に設置されるか、ソニーサービス窓口やお買い上げ店などにご相談ください。

1 テレビ本体の電源スイッチを押す。

画面が正常に映っているときは

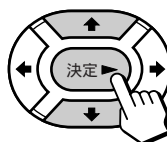
補正する必要はありません。メニューボタンを押して手順4以降を行ってください。

2 ↑/↓で調整し、決定ボタンを押す。

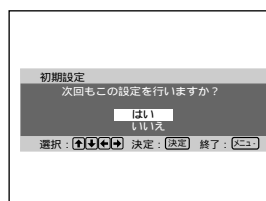
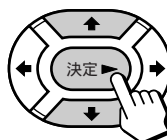
画面の傾きを補正します

画面上下のバーができる限り水平になるようにします。補正中の画面モードは、補正に適した「フル」になります。

ご注意

調整をするときは、一度に大きく回転させないでください。

3 ↑/↓で調整し、決定ボタンを押す。

画面の上下位置を補正します

画面の上下のバーが、画面の上下の端からできるだけ均等になるようにします。決定すると、今後電源コードを抜き差しするたびに、「傾き補正」画面を表示させるかどうかを確認するメッセージが出ます。

次のページにつづく

4 ↑/↓で「はい」または「いいえ」を選び、決定ボタンを押す。

「いいえ」を選ぶと、今後電源コードを入れたときに「傾き補正」画面は表示されません。

テレビの設置場所を変えたときは

画像の傾きや画面上下位置のずれを補正してください。

1. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
2. **↑/↓で「(設定)」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **「画像傾き補正」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「傾き補正　回転」または「傾き補正　上下」を選び、決定ボタンを押す。**
   画像が傾いているときは「傾き補正　回転」を、画面の上下位置がずれているときは「傾き補正　上下」を選びます。補正中の画面モードは、補正に適した「フル」になります。
5. **↑/↓で調整し、決定ボタンを押す。**
6. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

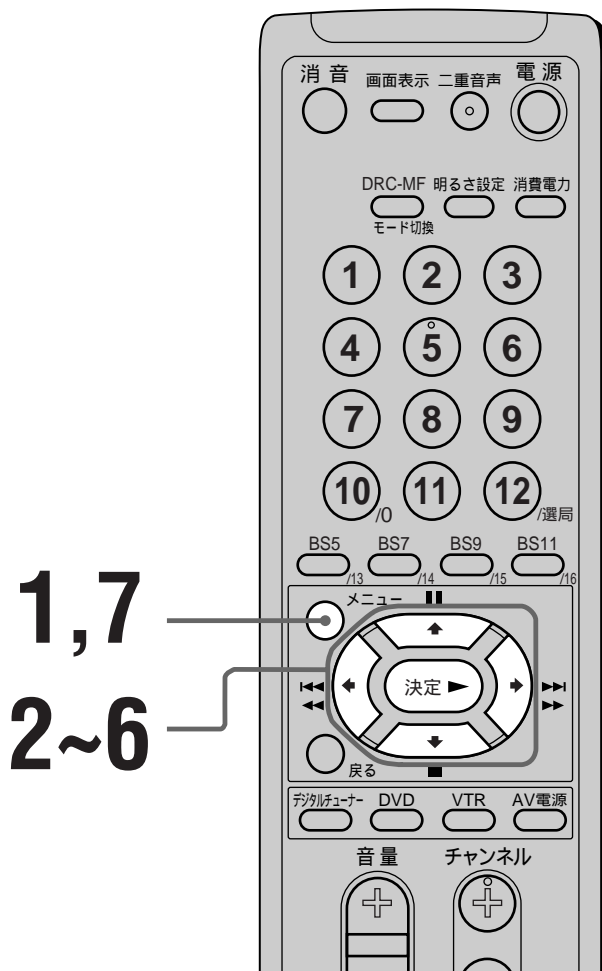
ご注意

- うまく補正しきれないときは、いったんテレビの電源を切り、設置の場所を変えるか、テレビの向きを変えてから、もう1度、傾き補正の手順を行ってください。
  電源を切らずに移動したり、向きを変えたりすると、補正がうまくされなかったり、色むらを起こす原因になります。
  色むらが出たときは、移動したり、向きを変えたあとに、いったん電源を切って30分以上待ってから電源を入れてください。または、電源を入れたままで30分以上待ってから、いったん電源を切って、もう1度、電源を入れ直してください。
- リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

手順4：チャンネルを設定する

VHF/UHF放送は、自動でも手動でも受信設定できます。はじめに自動設定することをおすすめします。

自動設定する

受信できるVHF/UHF放送を、リモコンの数字ボタンに自動的に設定します。放送のある時間帯に行ってください。
BS放送はお買い上げ時にすでに設定されています。
自動設定したチャンネルを変更したり、放送のないチャンネルをとばすときは、☞46〜48ページをご覧ください。

1 メニューボタンを押す。

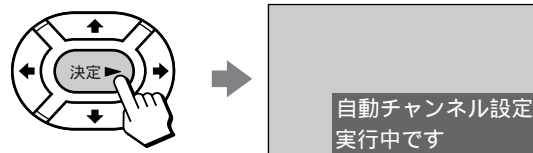
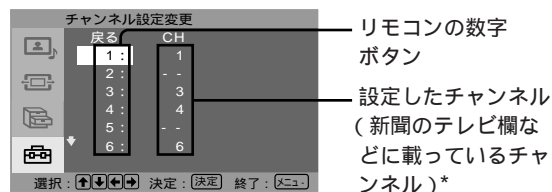
2 ♠/♣で「(設定)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ♠/♣で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 「自動チャンネル設定」が選ばれていていることを確認して、決定ボタンを押す。

選ばれていないときは、♠/♣で選び、決定ボタンを押す。

5 「自動チャンネル設定」が「入」になっていることを確認して、決定ボタンを押す。

「切」になっているときは、♠/♣で「入」を選び、決定ボタンを押す。

「自動チャンネル設定実行中です」と表示され、自動的に設定が始まります。
設定が終わると、下のメニューに変わります。

* 地域によっては、これまでご覧になっていたチャンネル番号と異なる場合があります。

6 設定されたチャンネルを確認する。

手動で設定し直したいときは

☞46ページをご覧ください。

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

チャンネル設定を途中でやめるには

手順5で「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間に、リモコンのメニューボタンを押す。

ご注意

リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

手順4：
チャンネルを設定する（つづき）

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要です。なお、ケーブルテレビを受信できない地域もあります。このテレビでは、C13〜C35までのケーブルテレビチャンネルを受信できます。詳しくは、お近くのケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

1 **ダイレクト選局になっていることを確認する（☞52ページ）。**

2 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

3 **⬆/⬇で「(設定)」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **⬆/⬇で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **⬆/⬇で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。**

6 **⬆/⬇で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。**

7 **⬆/⬇で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**

8 **⬆/⬇でケーブルテレビを映したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。**

9 **⬆/⬇で「CH」の数字をケーブルテレビのチャンネルにし、決定ボタンを押す。**
ケーブルテレビのチャンネルには、表示の前に「C」がつきます。
例：C24

10 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意

- ケーブルテレビとUHF放送を同時に受信したり、チャンネル設定したりすることはできません。
- ケーブルテレビで「10キー選局」（☞52ページ）をするときは、自動設定で受信設定をしたあと、「10キー選局」に切り換えてください。
- リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

手動設定する

自動設定したチャンネルを変えたり、表示を書き換えたり、放送のないチャンネルをとばすことができます。
1〜12のチャンネル数字ボタンと、BS5、7、9、11のBSチャンネルボタンの合計16チャンネルのすべてを、手動で設定できます。

ご注意

BS5、7、9、11ボタンは、ボタン名と同じBSチャンネル用としてだけでなく、13、14、15、16チャンネルボタンとしても使えます。ただし、ボタン名と異なる他のチャンネルに設定し直すと、各ボタンを押しても、BS5、7、9、11チャンネルを直接選局できなくなります。

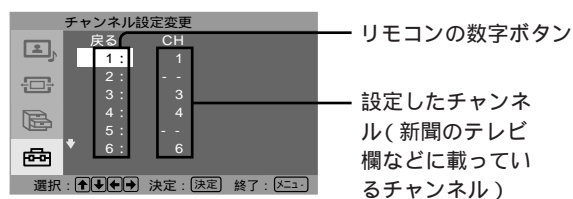
リモコンの数字ボタンに設定したチャンネルを変えるには

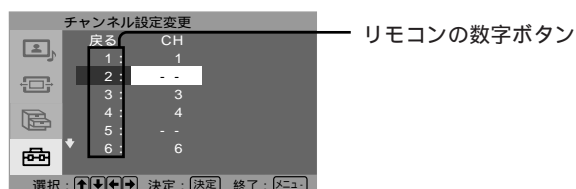
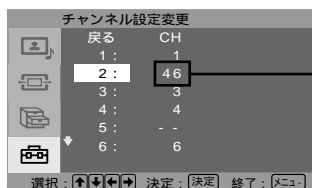
リモコンの数字ボタンに好きなチャンネルが映るように変えられます。

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **⬆/⬇で「(設定)」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **⬆/⬇で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **⬆/⬇で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **⬆/⬇で変更したいリモコンの数字ボタンを選び、決定ボタンを押す。**

リモコンの数字ボタン

6 **↑/↓で設定したチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。**

例：②を押して46チャンネルを見たいときは、ここを「46」にする

7 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意

リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

ちょっと一言

手動設定でケーブルテレビの受信の設定をするときは、「(設定)」メニューで「テレビ設定」を選び、「バンド」を「CATV」にしてください。詳しくは、☞46ページをご覧ください。

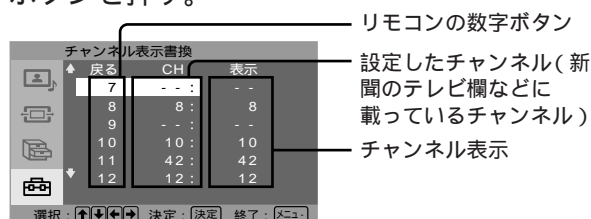
チャンネル表示を書き換えるには

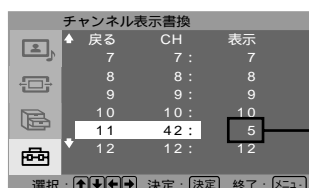
画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号などに書き換えることができます。

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **↑/↓で「(設定)」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。**

6 **↑/↓でチャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。**

7 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意

リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

ちょっと一言

- チャンネルと表示が1対1で対応するように、チャンネル表示を書き換えてください。複数のチャンネルを同一のチャンネル表示にすることもできますが、おすすめしません。
- BS放送のチャンネル表示は書き換えられません。

手順4：チャンネルを設定する（つづき）

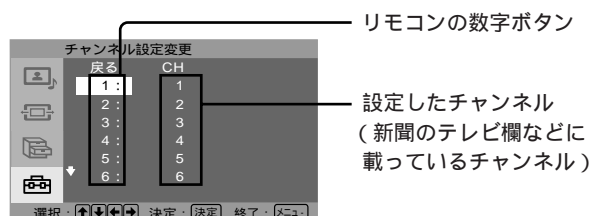
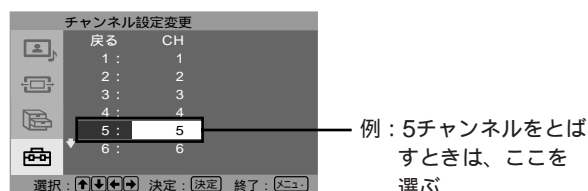
放送のないチャンネルをとばすには

チャンネル＋/－ボタンでチャンネルを選ぶときに、放送のないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定できます。

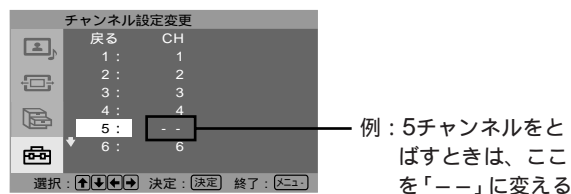
1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「(設定)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓でとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で「CH」を「– –」に変えて、決定ボタンを押す。

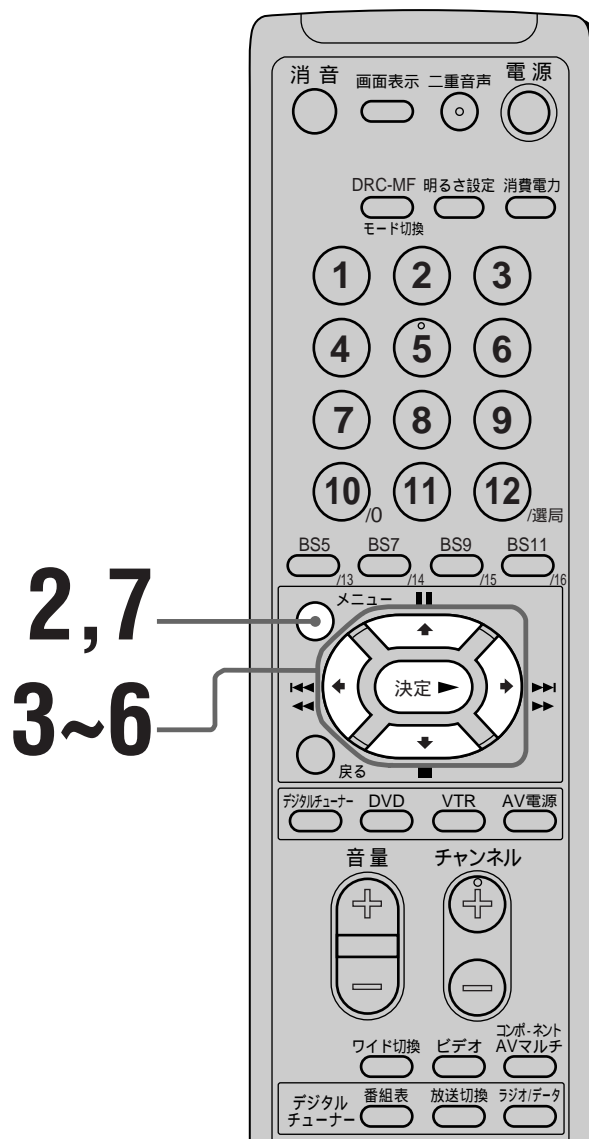
7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

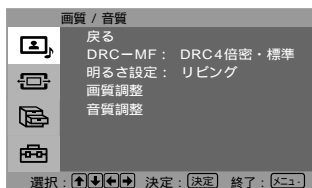
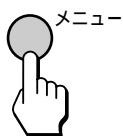
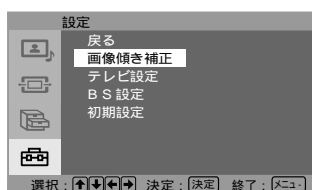
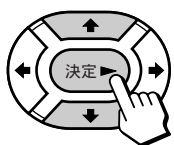
ご注意

リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

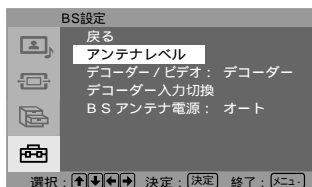
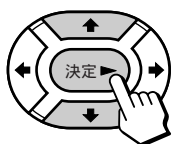
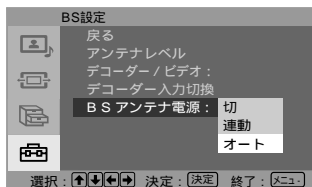
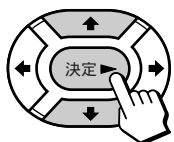
手順5：BSアンテナの設定をする

BS放送を見るときは、BSアンテナ電源の設定と、BSアンテナの向きを調整してください。

BSアンテナ電源を設定する

BSアンテナのつなぎかた（マンションなどの共同受信システムか、テレビなどに直接つないでいるかなど）に合わせて、BSアンテナへの電源供給を設定します。

1 電源を入れ、BS放送を映す。

2 メニューボタンを押す。

3 ↑/↓で「(設定)」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「BSアンテナ電源」を選び、決定ボタンを押す。

6 マンションなどの共同受信システムのときは

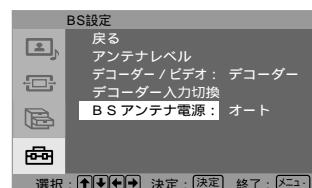
↑/↓で「切」を選び、決定ボタンを押す。

BSアンテナをつないでいるときは

↑/↓で「連動」または「オート」を選び、決定ボタンを押す。

BSが映ったり消えたりするときは、「連動」を選んでください。

設定	BSアンテナへの電源供給のしかた
切	電源を供給しない。
連動	テレビの電源が入っているときはつねに電源を供給する。テレビの電源が切れているときは供給しない。
●オート	テレビの電源が入っているときに、テレビがBSアンテナに電源を供給するかどうかを自動的に判断する。テレビの電源が切れているときは供給しない。

●：お買い上げ時の設定

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

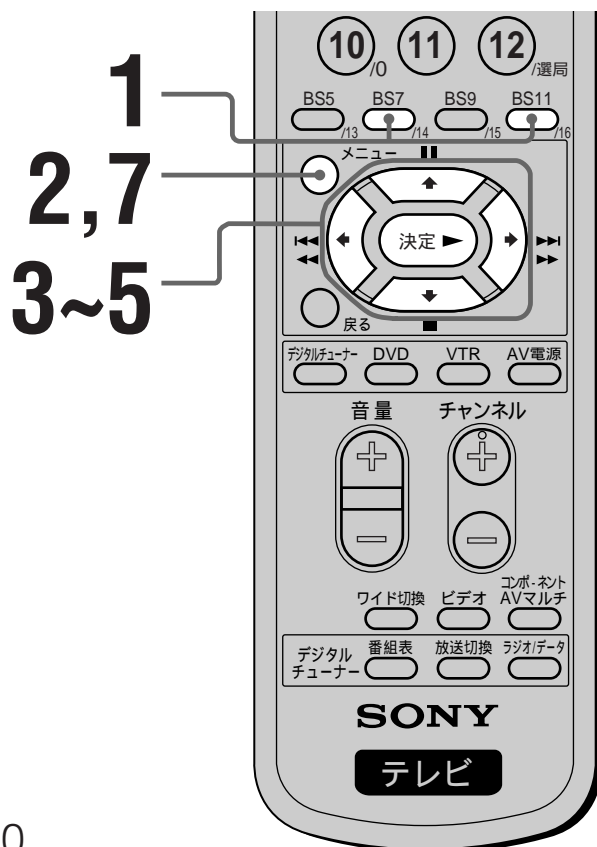
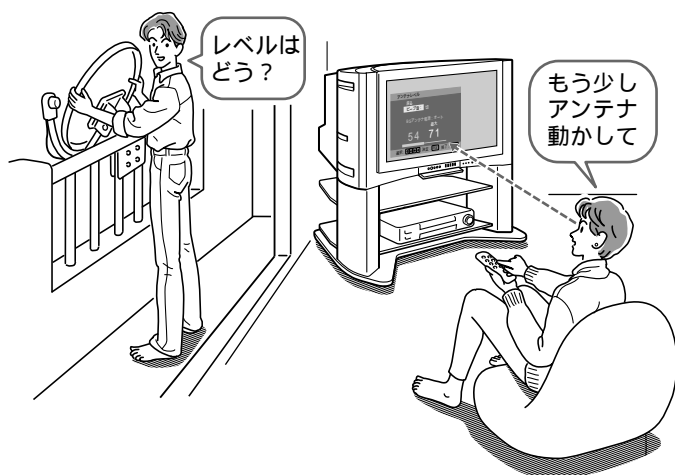
- 「オート」にしていても、BSアンテナの電源供給システムによっては、うまく働かないことがあります。このときは「連動」にしてください。
- 1本のBSアンテナに分配器などをつないでBS電波を分け、このテレビと他のテレビやビデオ機器の両方でBSを受信できるようにしているときは、このテレビを「オート」に、他の機器を「連動」にしてください。このようにしないと、テレビの電源を切ると他のテレビやビデオ機器からBSアンテナに電源が供給されないことがあります。他の機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

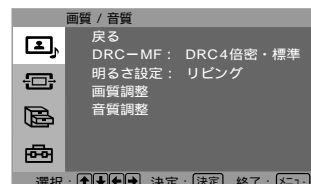
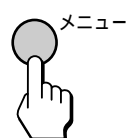
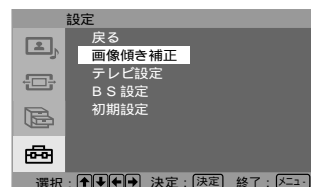
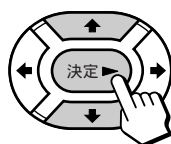
次のページにつづく

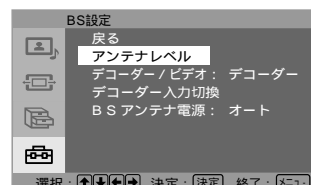
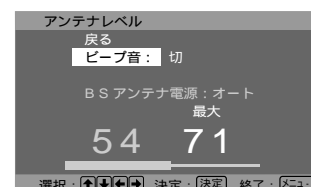
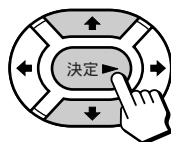
手順5：
BSアンテナの設定をする（つづき）

BSアンテナの向きを調整する

BSアンテナをテレビに直接つないだときは、アンテナの向きを2人で調整します。1人がテレビ画面の画像とレベル表示を見て、もう1人がレベル表示が最大になるように、BSアンテナを動かしながら調整します。
向きや角度については、BSアンテナの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意
「BSアンテナ電源」が「切」になっているときは、「BSアンテナ電源」を「オート」または「連動」にしてください（☞48ページ）。

1 電源を入れ、BS7またはBS11を押してBS放送を映す。

2 メニューボタンを押す。

3 ↑/↓で「(設定)」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。

6 BSアンテナを動かして調整する。

受信中のアンテナレベルが、できるかぎり最大の数値になるように、アンテナの向きを調整し固定します。

受信中のアンテナレベル（緑色の数字）

最大値（黄色の数字）

7 メニューボタンを押して、メニューを消す。

音を聞いて調整するには

画面で確認できないときに便利です。

1. **「BSアンテナの向きを調整する」の手順5のあと、↑/↓で「ビープ音」を選び、決定ボタンを押す。**
2. **↑/↓で「入」を選び、決定ボタンを押す。**
3. **手順6で連続した最も高い音階の音になるよう、BSアンテナを調整する。**

ご注意

リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

ちょっと一言

1つのBSチャンネルで調整すれば、他のBSチャンネルの調整は不要です。

デコーダー入力を設定する

お買い上げ時は、すべてのBSチャンネルが「オート」に設定され、BSデコーダー/ビデオ4入力端子につないだBSデコーダー（WOWOW）などのスクランブルを自動的に判別しているため、**設定し直す必要はありません。**あえて、設定を変更する場合は下記の手順で操作してください。

ちょっと一言

MUSE-NTSCコンバーターをBSデコーダー/ビデオ4入力端子につなぐときは、☞70ページの設定をしてください。

1. **テレビでBS放送を映す。**
2. **メニューボタンを押して、メニューを出す。**
3. **↑/↓で「(設定)」を選び、決定ボタンを押す。**
4. **↑/↓で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。**
5. **↑/↓で「デコーダー入力切換」を選び、決定ボタンを押す。**
6. **↑/↓でチャンネルを選び、決定ボタンを押す。**
7. **↑/↓で「テレビ」、「オート」または「デコーダー」を選び、決定ボタンを押す。**

設定	内容
テレビ	受信した映像・音声をそのまま映す
オート	BSデコーダー（WOWOW）などのスクランブルを自動判別
デコーダー	BSデコーダー/ビデオ4入力端子からの映像・音声を映す

8. **他のBSチャンネルを設定するときは、手順6と7をくり返す。**
9. **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意

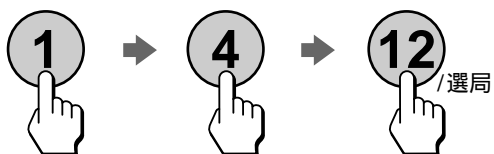
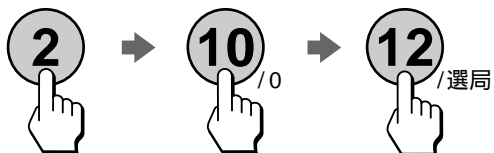
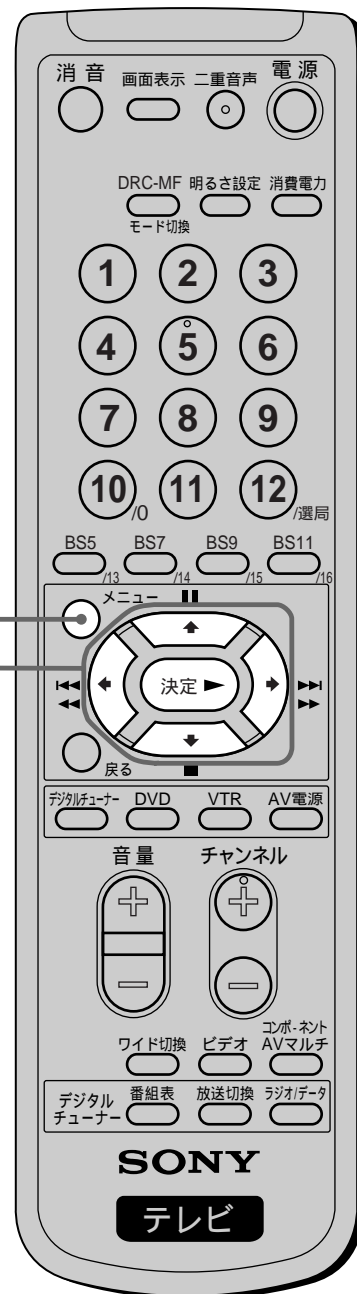
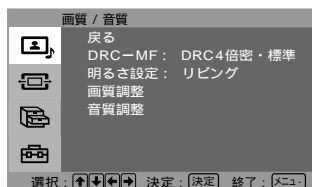
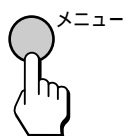
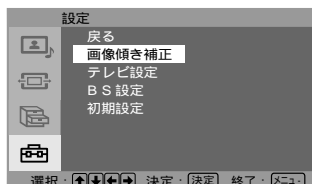
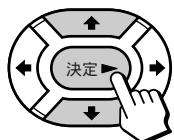
リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

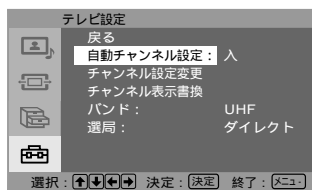
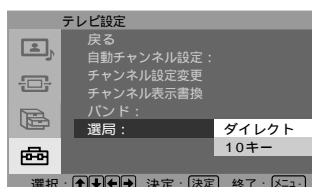
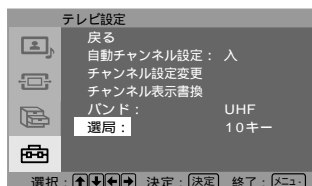
数字ボタンの組み合わせでチャンネルを選ぶ［10キー選局］

お買い上げ時は「ダイレクト選局」になっています。
「ダイレクト選局」は、リモコンの数字ボタンと同じチャンネルが映る選局方法で、受信できるチャンネル数は最大16局です。

そのため、ケーブルテレビなど見たいチャンネルの数が16局を越えるときは、「10キー選局」に変えてください。
「10キー選局」では、数字ボタンを十の位・一の位の順に押したあと、⑫/選局ボタンを押して、チャンネルを選びます。0は⑩/0ボタンを使います。

ちょっと一言
- BS放送は、「10キー選局」に変えても、リモコンのBS5〜11ボタンを押して、直接選べます。
- ⑫/選局ボタンを押さなくても、約3秒後に切り換わりますが、押すとすぐに切り換わります。

例） 14**チャンネル**

20**チャンネル**

1 メニューボタンを押す。

2 ↑/↓で「(設定)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「選局」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「10キー」を選び、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ダイレクト選局に戻すには

手順5で「ダイレクト」を選ぶ。

ご注意

- チャンネルを自動設定する（☞44ページ）ときは、ダイレクト選局に戻してから行ってください。
- ケーブルテレビのときは、手順3のあとに下記の操作をしてください。
  1 ↑/↓で「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
  2 ↑/↓で「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
  3 手順4以降を行う。
- リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

チャンネル＋/－ボタンで選ぶ放送を設定するには

お買い上げ時は1〜12チャンネルとBS5、BS7、BS9、BS11が順に選ばれるように設定されています。ケーブルテレビなどでこれ以外のチャンネルを選ぶときや、放送がないチャンネルをとばすときは、次のように設定します。

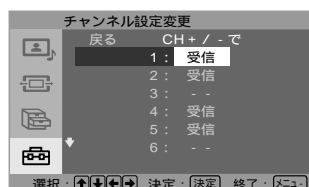
1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「(設定)」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で見たいチャンネル、またはとばしたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。

6 ↑/↓で見たいチャンネルのときは「受信」を、とばしたいチャンネルのときは「– –」を選び、決定ボタンを押す。

7 複数のチャンネルを設定するときは、手順5と6をくり返す。

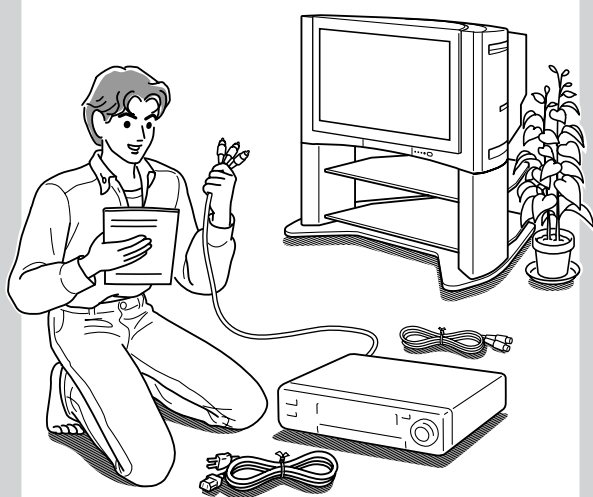
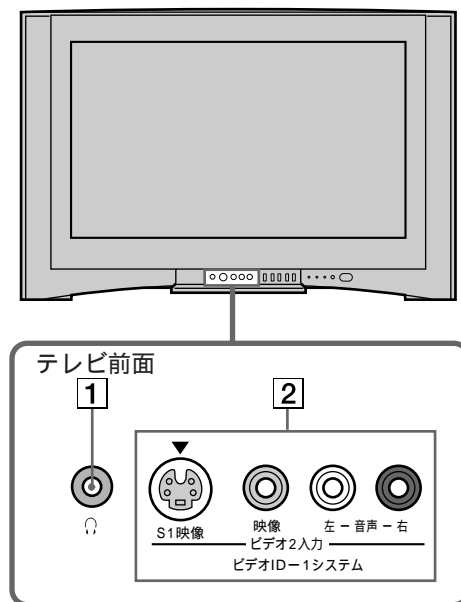
8 メニューボタンを押して、メニューを消す。

ご注意

リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

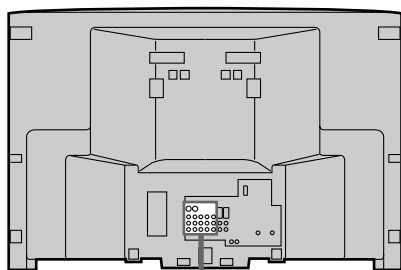
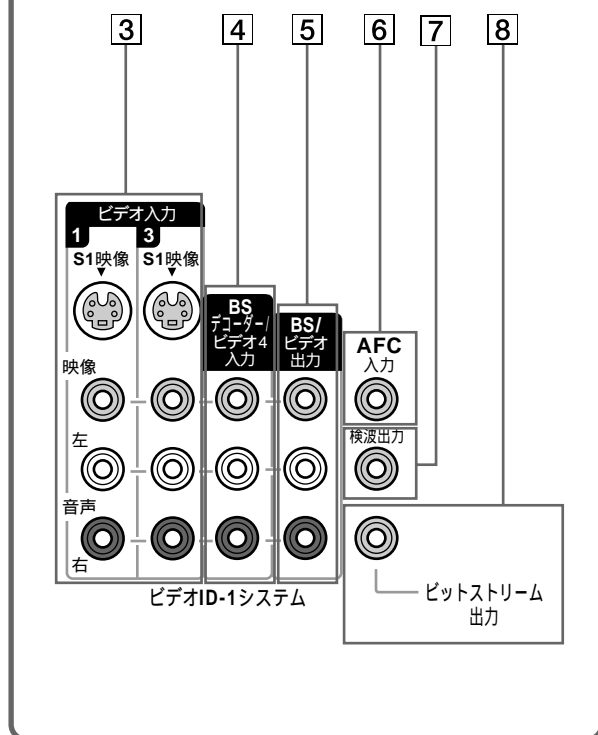
テレビの接続と準備

他機との接続

ここでは、接続端子のなまえとはたらき、およびビデオデッキなど他の機器のつなぎかたについて説明しています。
テレビを見るための接続と準備については、「テレビの接続と準備」（☞36〜53ページ）をご覧ください。

接続端子のなまえとはたらき

☞のページに詳しい説明があります。

1 **ヘッドホン端子**
ヘッドホンをつなぎます。

2 **ビデオ2入力端子（S1映像/映像/音声）（ビデオID-1システム）（☞69ページ）**
テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。

テレビ後面

☞のページに詳しい説明があります。

3 **ビデオ1、3入力端子（S1映像/映像/音声）（ビデオID-1システム）（☞57〜66、68、71ページ）**
ビデオデッキやチャンネルサーバー、レーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

4 **BSデコーダー/ビデオ4入力端子（映像/音声）（ビデオID-1システム）（☞65〜67、70〜71ページ）**
以下の設定により、端子の働きが異なります。設定のしかたについては、☞58ページをご覧ください。

「デコーダー」に設定したとき（☞67ページ）
BSデコーダー入力端子として働きます。
BSデコーダー（WOWOW）やMUSE-NTSCコンバーターの映像/音声出力端子につなぎます。

「ビデオ4」に設定したとき（☞58ページ）
ビデオ4入力端子として働きます。
ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

5 **BS/ビデオ出力端子（映像/音声）（ビデオID-1システム）（☞58〜59、65、73ページ）**
ビデオデッキなどのビデオ入力端子につなぎます。
VHF/UHF、BS、ビデオ1〜4入力*、AVマルチ入力の信号を出力します。
* ただし、ビデオ1入力の信号については、「[設定アイコン]（設定）」メニューで「初期設定」を選び、「ビデオ出力設定」で「ビデオ1あり」にする必要があります（☞58ページ）。
また、ビデオ4入力の信号のときは、BSデコーダー/ビデオ4入力端子をビデオ入力端子として働くように設定する必要があります（☞58ページ）。

ご注意
- BSデコーダー（WOWOW）をつないでいるときは、スクランブルを解除した信号を出力します。
- コンポーネント入力端子につないだ機器の映像信号は出力しません。

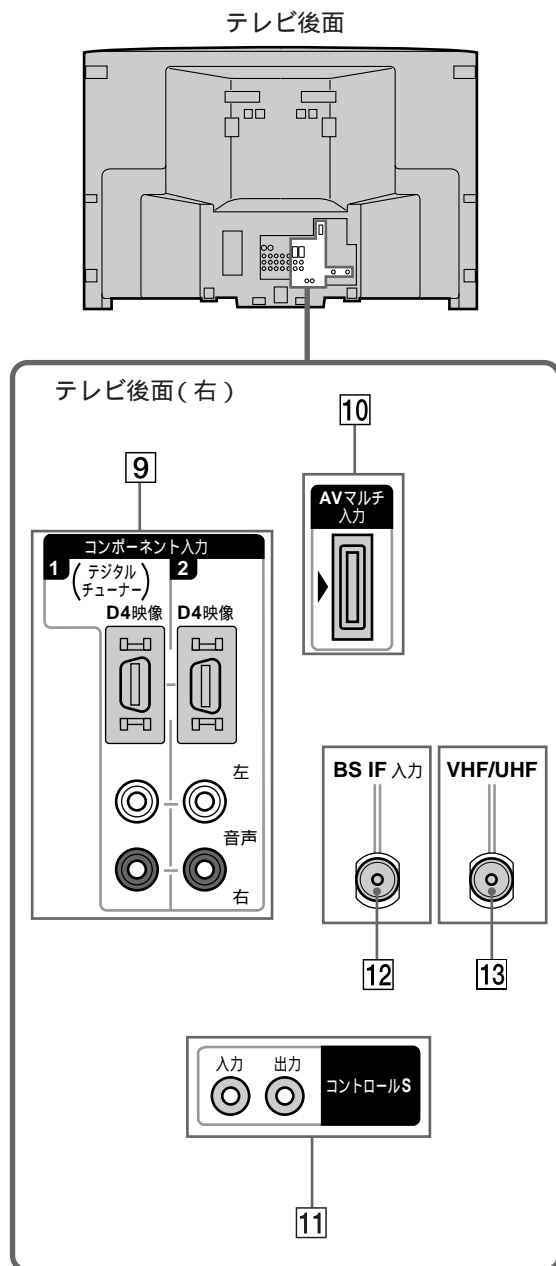
BS固定（☞33ページ）のときのご注意
以下の信号を出力します。
- **BS固定が「切」のとき：**
テレビに映っている映像と音声を出力します。
- **BS固定が「入」のとき：**
テレビに映っている映像と音声には関係なく、BS固定したBSチャンネルの映像と音声を出力します。
BS固定したBSチャンネルが二か国語放送など二重音声番組のときは、二重音声ボタン（☞32ページ）で出力する音声を選べます。なお、テレビのスピーカーから聞こえる音声は、二重音声ボタンで音声を切り換えると一緒に切り換わります。

6 **AFC入力端子（☞70〜72ページ）**
MUSE-NTSCコンバーターなどハイビジョン機器のAFC出力端子につなぎます。

7 **検波出力端子（☞70〜72ページ）**
BSデコーダー（WOWOW）などのFM検波入力端子につなぎます。

8 **ビットストリーム出力端子（☞65〜66ページ）**
BSデコーダー（WOWOW）などのビットストリーム入力端子につなぎます。

次のページにつづく

接続端子のなまえとはたらき（つづき）

☞のページに詳しい説明があります。

9 コンポーネント1、2入力端子（D4映像/音声）（☞61、62、63、67、72ページ）

D4映像入力端子[*1]

地上・BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、ビデオ機器、DVDプレーヤーなどのD映像出力端子につなぎます。

*1 D端子について詳しくは、「映像信号フォーマットについて」（☞83ページ）をご覧ください。

音声入力端子

地上・BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、ビデオ機器の音声出力端子につなぎます。

D4映像入力端子での入力信号切換について（HDモード）

通常は、お買い上げ時の設定「HDモード：オート」のままでお使いください。
D4映像入力端子に入力される以下の2種類の信号を自動的に判別して、テレビ画面に映すためです。

- **デジタルハイビジョン放送**（有効走査線数1080本）：D4映像入力端子に地上・BS・110度CSデジタルチューナーなどのデジタルハイビジョン放送機器がつながっているとき。このテレビでは、750pの画像方式を1125iの画像方式に変換します。
- **従来のハイビジョン放送**（有効走査線数1035本）：D4映像入力端子にMUSEデコーダーがつながっているとき。デジタルハイビジョンの識別制御信号がない映像信号は、有効走査線数1035本の画像で表示します。

なお、「(各種切換)」メニューで「HDモード」を選び、「HDモード：1080」や「HDモード：1035」に設定できます。このときは、設定していない方の信号は正しく映りません。

10 AVマルチ入力端子（☞69ページ）

別売りのAVマルチケーブル（VMC-AVM250）を使って、“プレイステーション 2”、“プレイステーション”(PS one）または“プレイステーション”のAVマルチ出力端子につなぎます。1本のケーブルで簡単に映像信号と音声信号を接続できます。

11 コントロールS端子

入力端子

他機のコントロールS出力端子につないで、他機からテレビを操作できます。

出力端子

他機のコントロールS入力端子につないで、テレビにリモコンを向けて他機を操作できます[*2]。

*2 テレビの電源が入っているとき、またはスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯しているときに限ります。テレビの電源が入っていない（スタンバイ/オフタイマーランプが点灯していない）ときは、このような操作はできません。

12 BS IF入力端子（☞40、41ページ）

BSアンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。BSアンテナ用の電源を供給するため、DC15Vの直流電圧が出ています。VHF/UHF用の同軸ケーブルは絶対につながないでください。

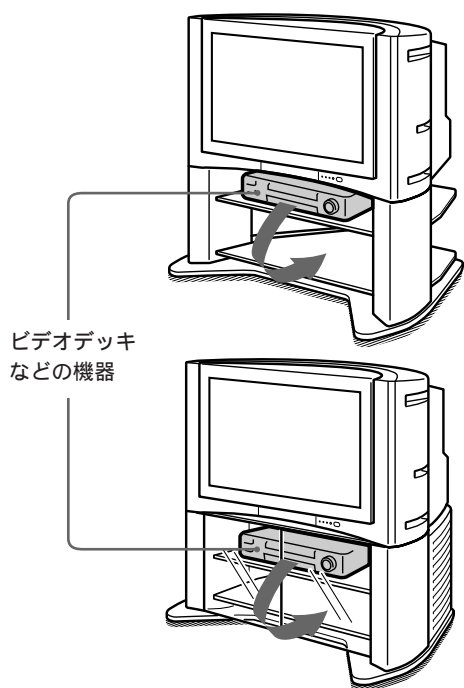
13 VHF/UHFアンテナ端子（☞39、40ページ）

VHF/UHF用の同軸ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

ビデオなどをつなぐ

ビデオデッキ、ビデオカメラまたはレーザーディスクプレーヤーなどをつなぎます。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

ビデオデッキなど一部の機器をテレビスタンドの上段などテレビに近い場所に設置すると、テレビがビデオデッキなどから干渉を受けやすくなるため、画像の乱れや画面上のノイズの原因になることがあります。
このときは、ビデオデッキなどをスタンドの下段に設置してください。

画像の乱れやノイズが気になるときは、ビデオデッキなどの機器をスタンドの下段に設置してください。

S1映像端子と映像端子のどちらにつなぐか迷ったときは

よりよい画質でご覧いただくために、下の表の端子につないでください。
つなぐ機器にS映像端子がない場合は、映像端子につなぎます。

つなぐ機器	つなぐ端子
レーザーディスクプレーヤー *3	映像
ビデオデッキ*4 ビデオカメラの再生	S1映像
地上・BS・110度CSデジタルチューナー*5	S1映像
デジタルCSチューナー*5	S1映像
DVDプレーヤー*6	S1映像
テレビゲーム	S1映像

*3 三次元Y/C分離回路搭載のレーザーディスクプレーヤーのときは、接続による画質の差はほとんど生じません。再生モードにはノーマルを選び、デジタルで再生しないでください。詳しくは、レーザーディスクプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

*4 TBC（タイムベースコレクター）内蔵ビデオデッキでNTSC標準信号化できる場合も含みます。

*5 D映像出力端子付きの地上・BS・110度CSデジタルチューナーまたはデジタルCSチューナーのときは、テレビのコンポーネント1または2（D4映像）入力端子につないでください（☞61～62、63ページ）。
D4映像入力端子に入力される映像信号について詳しくは、「映像信号フォーマットについて」（☞83ページ）をご覧ください。

*6 コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは、テレビのコンポーネント入力端子につないでください（☞67ページ）。

次のページにつづく

ビデオなどをつなぐ（つづき）

テレビのビデオ1〜3入力のS1映像入力端子と映像入力端子の両方につないだときは

ビデオなどの映像信号をどちらの端子から入力するかを、ビデオ入力ごとにメニュー画面で設定できます。お買い上げ時は、S1映像入力端子から入力された画像が映ります。

1 **ビデオボタンをくり返し押して、切り換えたいビデオ入力を選ぶ。**

2 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

3 **↑/↓で「(各種切換)」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「S映像」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **S1映像入力端子から入力された画像を見るときは**

↑/↓で「入」を選び、決定ボタンを押す。

映像入力端子から入力された画像を見るときは

↑/↓で「切」を選び、決定ボタンを押す。

6 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意

リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

テレビのBSデコーダー/ビデオ4入力端子にビデオ機器をつなぐときは

ビデオ4入力端子として働くように、以下の設定をしてください。

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **↑/↓で「(設定)」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「デコーダー/ビデオ」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **↑/↓で「ビデオ4」を選び、決定ボタンを押す。**

6 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意

リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

ビデオ1入力の信号をBS/ビデオ出力端子から出力するときは

お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号は、BS/ビデオ出力端子から出力されないようになっています。テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは再生機をビデオ2、3、4入力端子のいずれかにつないでください。（ただし、ビデオ4入力につなぐときは、BSデコーダー/ビデオ4入力をビデオ4入力端子として働くように設定が必要です。）

ビデオ1入力の映像や音声をBS/ビデオ出力端子につないだビデオ機器などで楽しむときは、以下の設定をしてください。ビデオ1入力端子につないだ機器の映像および音声がBS/ビデオ出力端子から出力されます。

1 **メニューボタンを押して、メニューを出す。**

2 **↑/↓で「(設定)」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **↑/↓で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **↑/↓で「ビデオ出力設定」を選び、決定ボタンを押す。**

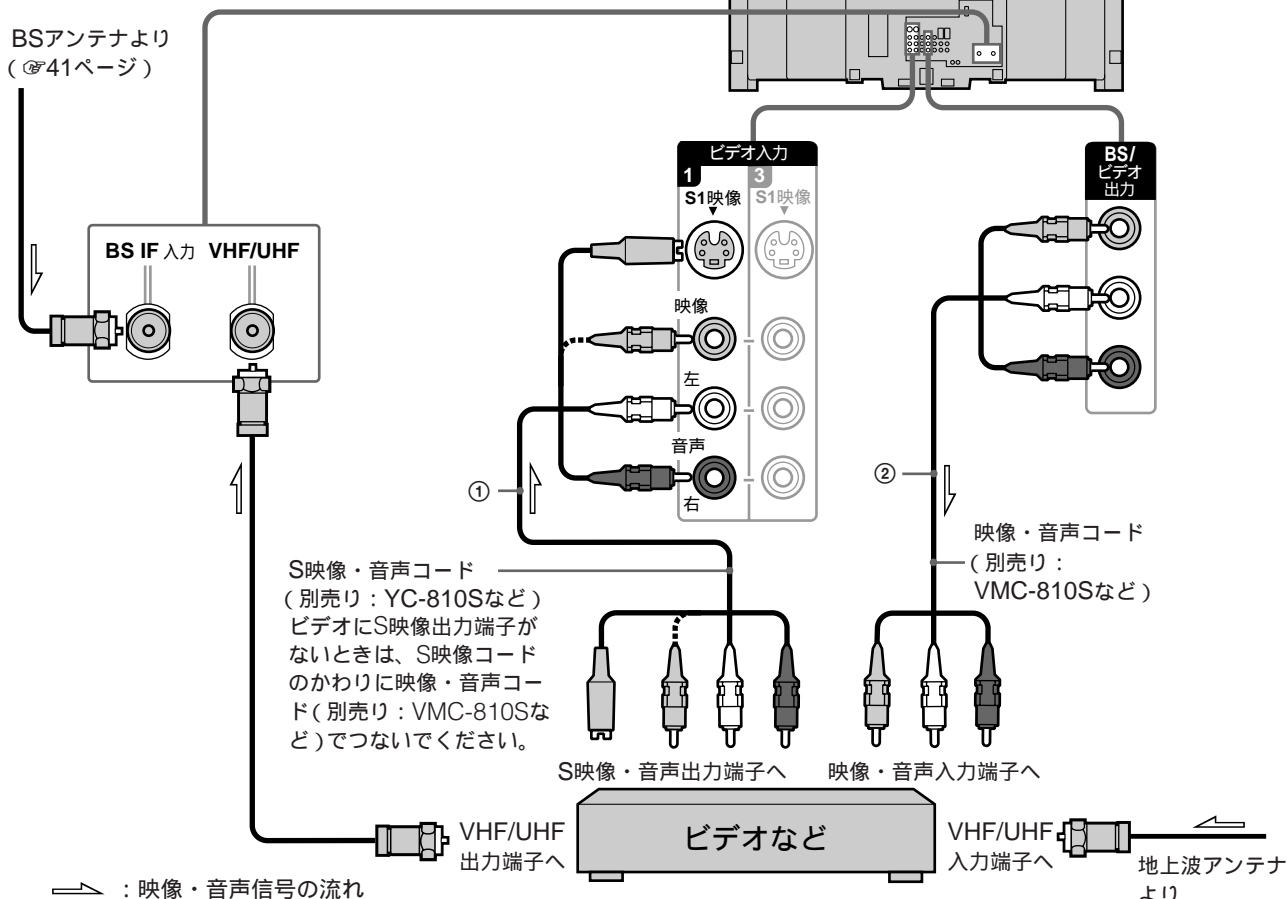
5 **↑/↓で「ビデオ1あり」を選び、決定ボタンを押す。**

6 **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

ご注意

リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

BSチューナーのないビデオのとき

BS放送を録画したり（必ずBS固定してください☞33ページ）、ビデオ機器の再生画像を見るための接続です。
ビデオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

①ビデオの再生画像を見るための接続です（☞13ページ）。
チャンネルサーバーでD端子のあるものは、D端子（☞56ページ）につないでください。

②BS放送をビデオに録画するための接続です（☞33ページ）。

ビデオを見るには

ビデオボタンを押して、ビデオをつないだビデオ1入力（「ビデオ1」）を表示させる。
詳しくは、☞13ページをご覧ください。

ちょっと一言

VTRボタンにビデオをつないだ入力端子を設定すると、VTRボタンを押すだけで、入力を切り換えることができます（☞14ページ）。

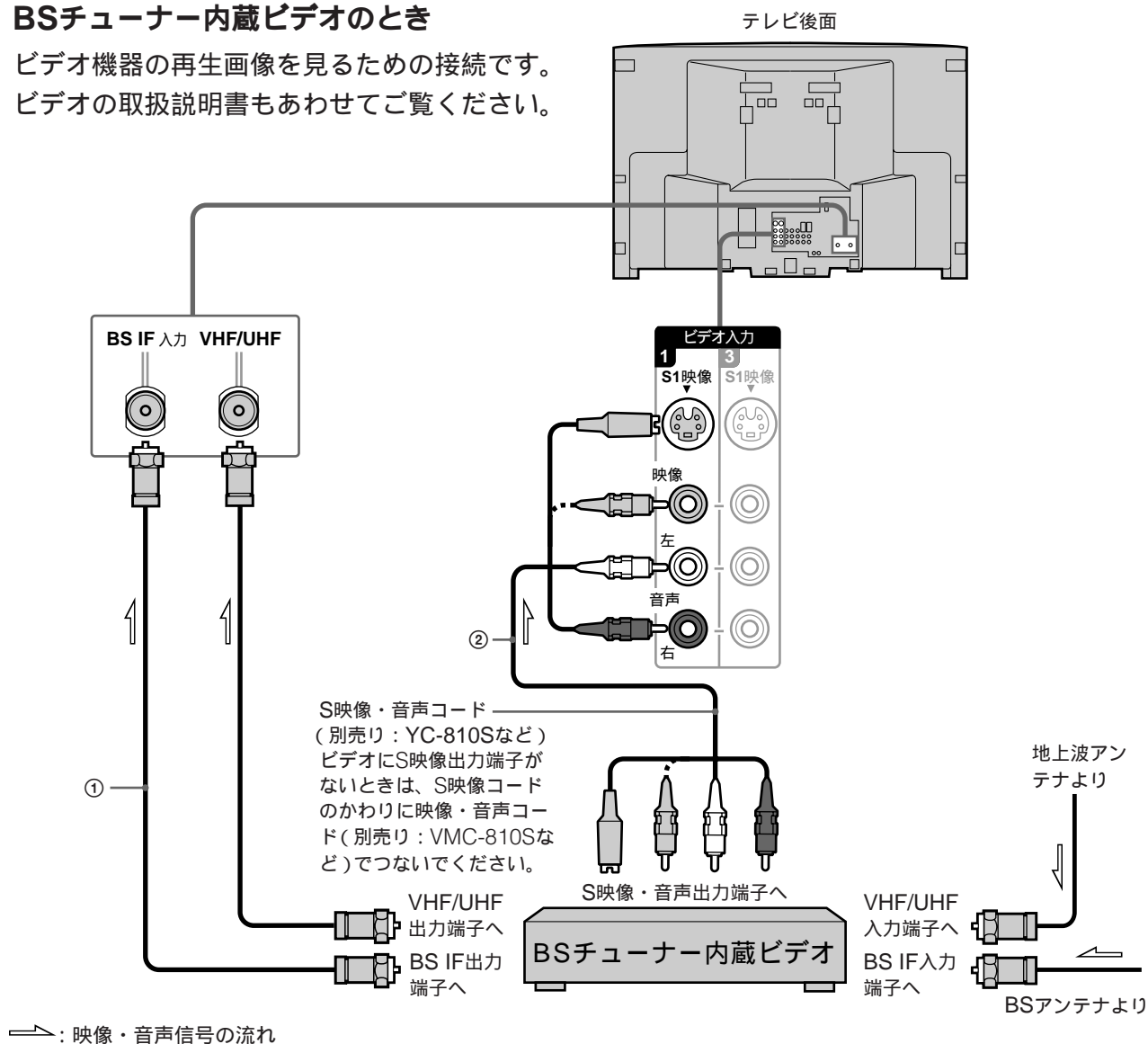
ご注意

- BS放送を録画するときは、BS固定してください（☞33ページ）。BS固定すると、ビデオをつないだ端子のビデオ入力を選んで、録画している画像を確認し、テレビで受信しているBS放送がビデオに正しく録画されているかをチェックできます。
  BS固定をしないと、チャンネルを選んだときなどに画像が乱れることがあります。
- テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたビデオ2、3入力端子、またはBSデコーダー/ビデオ4入力端子につないでください。お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はBS/ビデオ出力端子から出力されない設定になっているためです（☞58ページ）。

次のページにつづく

ビデオなどをつなぐ（つづき）

BSチューナー内蔵ビデオのとき

ビデオ機器の再生画像を見るための接続です。
ビデオの取扱説明書もあわせてご覧ください。

①テレビとビデオの両方のBSチューナーを使うときの接続です。ビデオ内蔵のBSチューナーでBS放送を受信し裏録画しながら、テレビ内蔵のBSチューナーで他のBS放送を見ることができます。

②ビデオの再生画像を見るための接続です（☞13ページ）。

ビデオを見るには

ビデオボタンをくり返し押して、ビデオをつないだビデオ1入力（「ビデオ1」）を表示させる。
詳しくは、☞13ページをご覧ください。

ちょっと一言

VTRボタンにビデオをつないだ入力端子を設定すると、VTRボタンを押すだけで、入力を切り換えることができます（☞14ページ）。

ご注意

テレビをモニターとして使い、ビデオなどで編集するときは、再生機をビデオ1入力を除いたビデオ2、3入力端子、またはBSデコーダー/ビデオ4入力端子につないでください。お買い上げ時は、ビデオ1入力端子につないだ機器の信号はBS/ビデオ出力端子から出力されない設定になっているためです（☞58ページ）。

地上・BS・110度CSデジタルチューナーをつなぐ

地上・BS・110度CSデジタル放送を見るには、地上・BS・110度CSデジタルチューナーが必要です。
また、BS・110度CSデジタル放送を見るには、BS・110度CSデジタル放送に対応したアンテナや分配器などが必要です。地上・BS・110度CSデジタルチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

BSチューナーのないビデオのとき

BSアンテナより

サテライト分配器
（別売り：EAC-BD12**など）**

BS IF 入力　VHF/UHF

テレビ後面

コンポーネント入力
1 （デジタルチューナー） D4映像
2 D4映像

ビデオ入力
1 S1映像
3 S1映像
映像
左
音声
右

S映像・音声コード
（別売り：YC-810S**など）**
ビデオにS映像出力端子がないときは、S映像コードのかわりに映像・音声コード（別売り：VMC-810Sなど）でつないでください。

D映像コード
（別売り：VMC-DD20CV**など）**

サテライト用同軸ケーブル
（室内用：別売り）

音声コード
（別売り：RK-C310**など）**

S映像・音声コード
（別売り：YC-810S**など）**
ビデオにS映像入力端子がないときは、S映像コードのかわりに映像・音声コード（別売り：VMC-810Sなど）でつないでください。

VHF/UHF
出力端子へ

S映像・音声
出力端子へ

D映像
出力端子へ

音声出力
端子へ

S映像・
音声入力
端子へ

ビデオなど

S映像・
音声出力
端子へ

地上・BS・110度CSデジタルチューナー

VHF/UHF
入力端子へ

VHF/UHF
出力端子へ

BS IF**入力**
端子へ

VHF/UHF
入力端子へ

地上波アンテナより

：映像・音声信号の流れ

他機との接続

BSチューナー内蔵ビデオのとき

BSデジタル放送を見るには

コンポーネントAVマルチボタンをくり返し押して、BS・110度CSデジタルチューナーをつないだコンポーネント1入力（「コンポーネント1（D端子）」）を表示させる。
詳しくは、☞13ページをご覧ください。

ちょっと一言

デジタルチューナーボタンにデジタルチューナーをつないだ入力端子を設定すると、デジタルチューナーボタンを押すだけで、入力を切り換えることができます（☞14ページ）。

デジタルCSチューナーをつなぐ

デジタルCS放送*を見るには、デジタルCS放送局との受信契約が必要です。詳しくは、デジタルCS放送局へお問い合わせください。
デジタルCSチューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

* スカイパーフェクTV！のことです。110度CSデジタル放送ではありません。

D映像出力端子のあるデジタルCSチューナーのとき

テレビ後面

VHF/UHF

ビデオ入力
1 S1映像
3 S1映像
映像
左
音声
右

コンポーネント入力
1（デジタルチューナー） D4映像
2 D4映像

コンポーネント1入力にもつなげます。

S映像・音声コード
（別売り：YC-810Sなど）
ビデオにS映像出力端子がないときは、S映像コードのかわりに映像・音声コード（別売り：VMC-810S など）でつないでください。

D映像コード
（別売り：VMC-DD20CVなど）

音声コード
（別売り：RK-C310など）

S映像・音声出力端子へ

D映像出力端子へ

音声出力端子へ

ビデオなど

デジタルCSチューナー

VHF/UHF出力端子へ

VHF/UHF入力端子へ

S映像・音声入力端子へ

S映像・音声出力端子へ

CS IF入力端子へ

地上波アンテナより

CSアンテナより

S映像・音声コード
（別売り：YC-810Sなど）
ビデオにS映像入力端子がないときは、S映像コードのかわりに映像・音声コード（別売り：VMC-810Sなど）でつないでください。

⟹：映像・音声信号の流れ

デジタルCS放送を見るには

コンポーネントAVマルチボタンをくり返し押して、デジタルCSチューナーをつないだコンポーネント入力（「コンポーネント1（D端子）」、「コンポーネント2（D端子）」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞13ページをご覧ください。

ちょっと一言

デジタルチューナーボタンにデジタルCSチューナーをつないだ入力端子を設定すると、デジタルチューナーボタンを押すだけで、入力を切り換えることができます（☞14ページ）。

デジタルCSチューナーをつなぐ（つづき）

デジタルCS放送を見るには

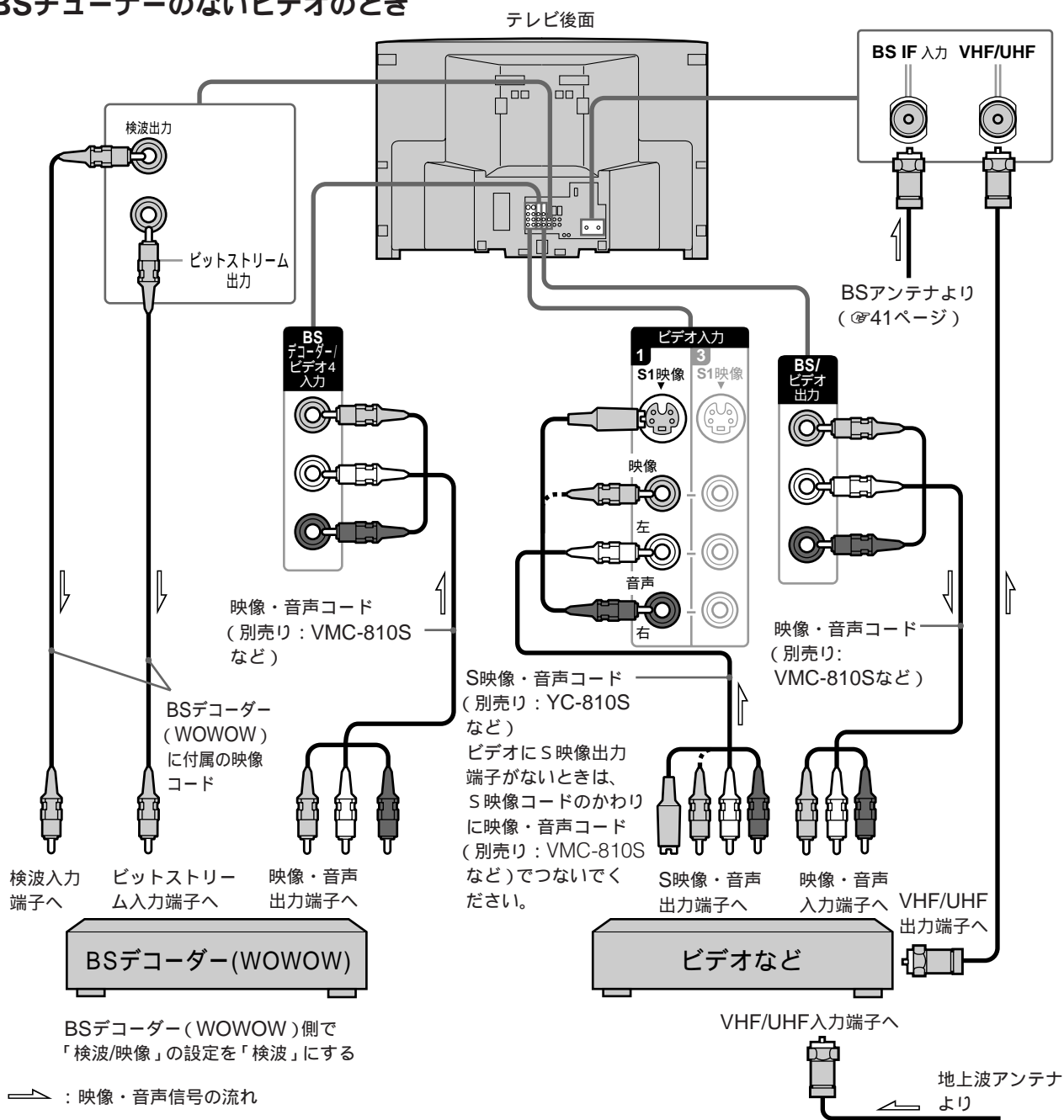
ビデオボタンをくり返し押して、デジタルCSチューナーをつないだビデオ入力（「ビデオ1」～「ビデオ4」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞13ページをご覧ください。

ちょっと一言

デジタルチューナーボタンにデジタルCSチューナーをつないだ入力端子を設定すると、デジタルチューナーボタンを押すだけで、入力を切り換えることができます（☞14ページ）。

BSデコーダー（WOWOW）をつなぐ

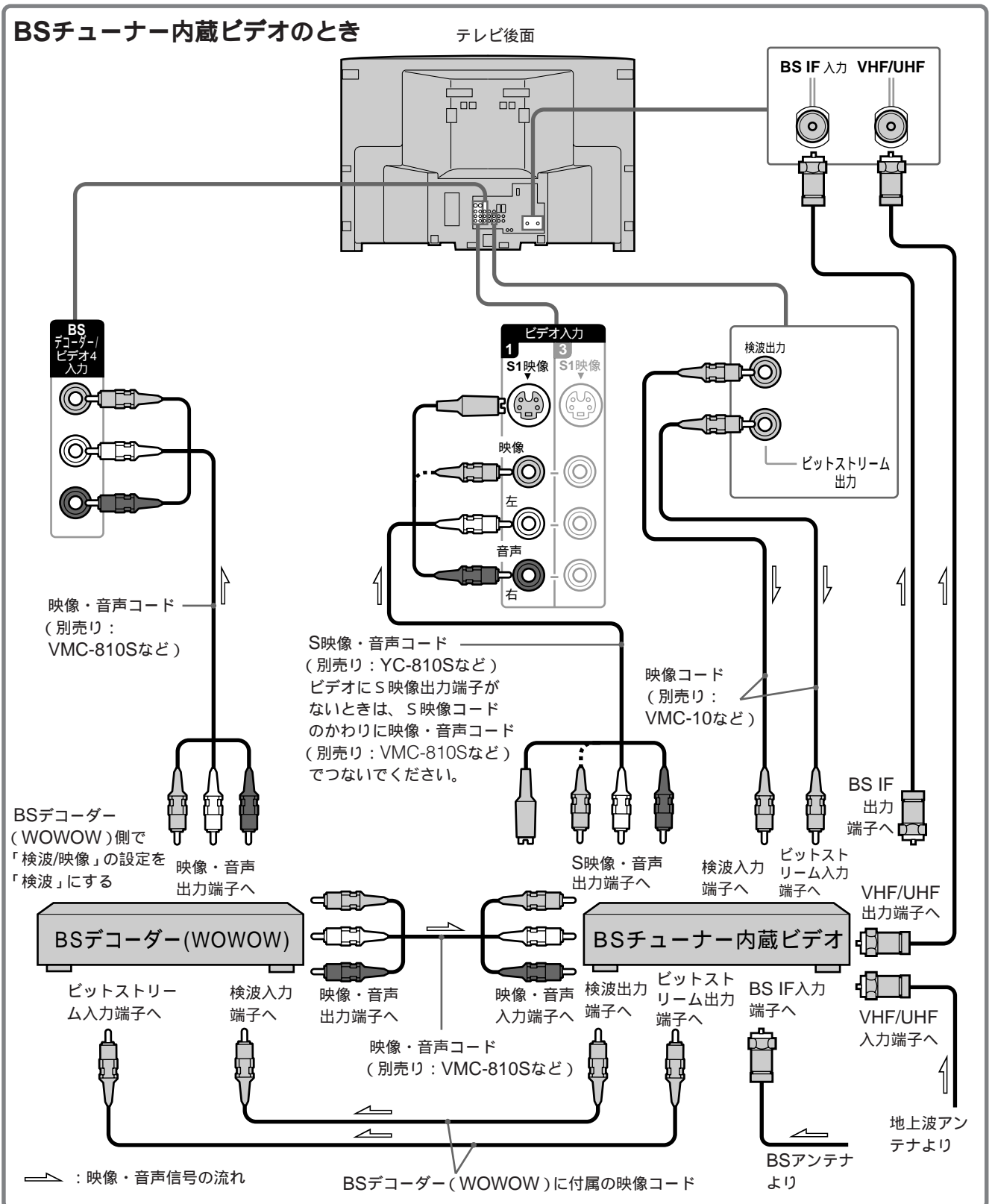
WOWOWを見るには、WOWOWとの受信契約が必要です。詳しくは、WOWOWへお問い合わせください。WOWOWを見るには、☞67ページをご覧ください。
WOWOWと受信契約をすると送られてくるBSデコーダー（WOWOW）の取扱説明書もあわせてご覧ください。また、BSデコーダー（WOWOW）とMUSE-NTSCコンバーターの両方をつなぐときは、☞71ページもあわせてご覧ください。

BSチューナーのないビデオのとき

ご注意

- WOWOWを録画するときは、テレビ側でWOWOWを受信し、録画してください。
- WOWOWも含めたBS放送を録画するときは、BS固定してください（☞33ページ）。BS固定すると、ビデオをつないだ端子のビデオ入力を選んで、録画している画像を確認し、テレビで受信しているBS放送がビデオに正しく録画されているかをチェックできます。BS固定しないと、チャンネルを選んだときなどに画像が乱れることがあります。
- BSデコーダー（WOWOW）は、必ずテレビのBSデコーダー/ビデオ4入力端子につないでください。BSデコーダー/ビデオ4入力端子以外につなぐと、チャンネルボタン（BS5）を押しても選局できません。

他機との接続

次のページにつづく

BSデコーダー（WOWOW）を つなぐ（つづき）

ご注意

- WOWOWを録画するときは、ビデオ側でWOWOWを受信し、録画してください。
- ソニー以外のBSチューナー内蔵ビデオデッキの中には、上記の接続でWOWOWを録画できないビデオがあります。そのときは、ビデオデッキのメーカーのお客様窓口へご相談ください。
- BSデコーダー（WOWOW）は、必ずテレビのBSデコーダー/ビデオ4入力端子につないでください。BSデコーダー/ビデオ4入力端子以外につなぐと、チャンネルボタン（BS5）を押しても選局できません。

BSデコーダー/ビデオ4入力端子にBSデコーダー（WOWOW）をつなぐときは

お買い上げ時は、デコーダー入力端子として働くように設定されているため、**設定し直す必要はありません。**
ビデオ4入力端子としてビデオデッキなどをつないでいたかわりに、新たにBSデコーダー（WOWOW）をつなぎ直したときは、設定し直してください。

1 メニューボタンを押して、メニューを出す。

2 ↑/↓で「（設定）」を選び、決定ボタンを押す。

3 ↑/↓で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「デコーダー/ビデオ」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「デコーダー」を選び、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

WOWOWを見るには

BSデコーダー（WOWOW）の電源を入れて、テレビのリモコンのBS5ボタンを押す。

独立音声放送を聞くには

BSデコーダー（WOWOW）をつないでいるときに独立音声放送を聞くときは、BSデコーダー（WOWOW）側で、音声を独立音声に切り換えてください（テレビで音声は切り換えられません）。ただし、独立音声放送を聞くには、WOWOWとは別に受信契約が必要です（ノンスクランブル放送のときを除く）。
また、 独立音声放送は、BSデコーダー（WOWOW）をつながなくても、ノンスクランブルで放送しているときは、下記の操作を行うと、聞くことができます。

1 テレビのリモコンのBS5ボタンを押す。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ↑/↓で「（各種切換）」を選び、決定ボタンを押す。

4 ↑/↓で「TV/独立音声」を選び、決定ボタンを押す。

5 ↑/↓で「独立」を選び、決定ボタンを押す。

6 メニューボタンを押して、メニューを消す。

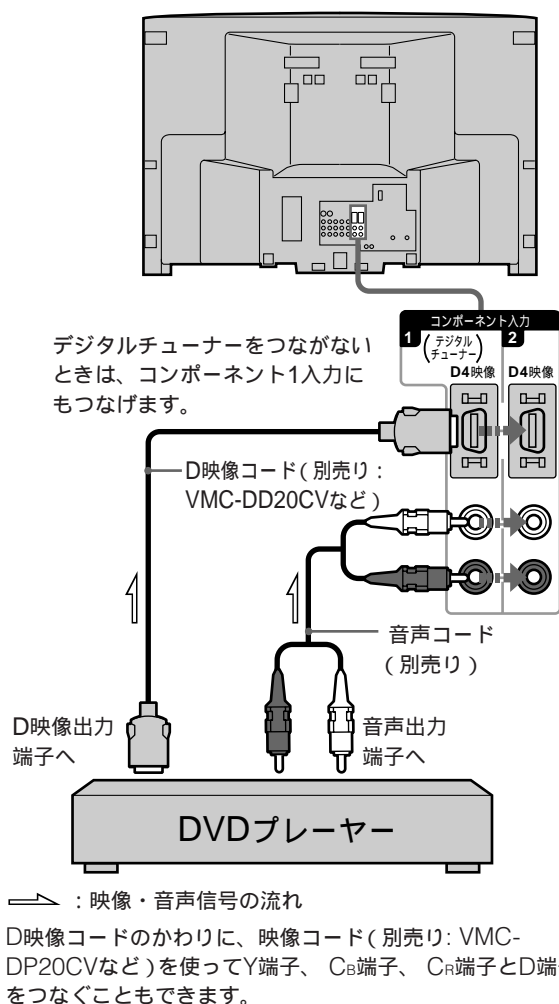
ご注意

リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

DVDプレーヤーをつなぐ

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーはテレビのコンポーネント入力端子につなぐと、より高画質の画像をお楽しみいただけます。
DVDプレーヤーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

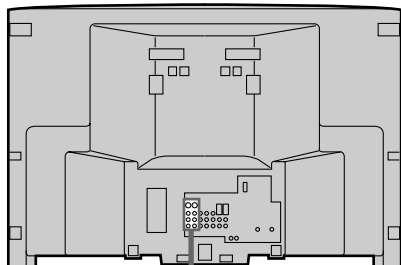
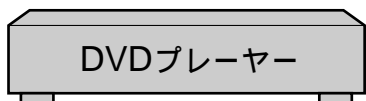
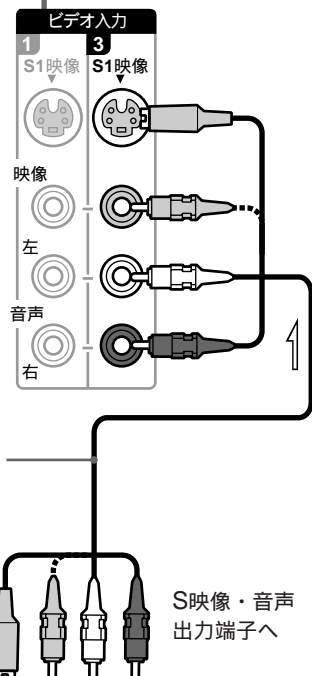
コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは

D映像コードのかわりに、映像コード（別売り: VMC-DP20CVなど）を使ってY端子、 CB端子、 CR端子とD端子をつなぐこともできます。

DVDを見るには

コンポーネントビデオ出力端子のあるDVDプレーヤーのときは

コンポーネントAVマルチボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだコンポーネント入力（「コンポーネント1（D端子）」、「コンポーネント2（D端子）」のいずれか）を表示させる。
詳しくは、☞13ページをご覧ください。

他機との接続

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

DVDを見るには

コンポーネントビデオ出力端子のないDVDプレーヤーのときは

ビデオボタンをくり返し押して、DVDプレーヤーをつないだビデオ入力（「ビデオ1」～「ビデオ4」のいずれか）を表示させる。

詳しくは、☞13ページをご覧ください。

ちょっと一言

DVDボタンにDVDプレーヤーをつないだ入力端子を設定すると、DVDボタンを押すだけで、入力を切り換えることができます（☞14ページ）。

“プレイステーション 2” などをつなぐ

“プレイステーション 2”、
“プレイステーション ”（PS one）および
“プレイステーション ”の取扱説明書もあわせて、お読みください。

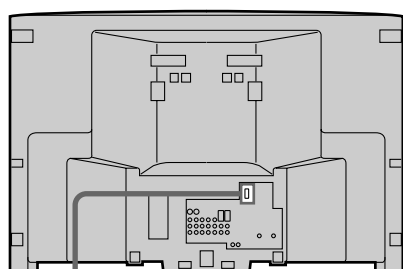
ご注意

“プレイステーション 2”の一部の機種では、マルチAVケーブル（VMC-AVM250）で接続し、DVDビデオを再生した場合、出力信号（RGB）がコンポーネント映像信号（Y Cb/Pb Cr/Pr）に固定されるため、画面が乱れることがあります。このテレビのAVマルチ入力端子は、このコンポーネント映像信号に対応していますが、「AVマルチ入力」が「AVマルチRGB」に選択されているとDVDが正しく再生されません。コンポーネントAVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチY/CB/CR」を表示させ、入力を切り換えてください。

詳しくは、“プレイステーション 2”本体の取扱説明書をご覧いただくか、下記にお問い合わせください。

株式会社　ソニー・コンピュータエンタテインメント
インフォメーションセンター
URL .... http://www.playstation.jp/info/
ナビダイヤル 0570-000-929
携帯電話・PHSでのご利用は 03-3475-7444
受付時間：10:00～18:00（土日祝日を除く）

別売りのマルチAVケーブルでつなぐときは

1本のケーブルで簡単に映像信号と音声信号を接続できます。

" プレイステーション 2 "を使うには

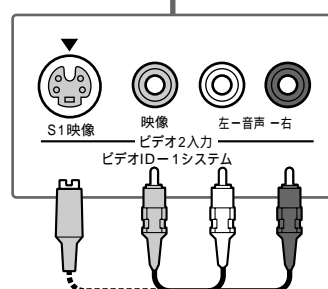
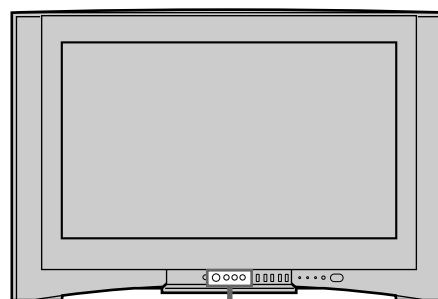
" プレイステーション 2 "側のシステム設定画面にある「コンポーネント映像出力」と同じ設定に合わせます。コンポーネントAVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチRGB」または「AVマルチY/CB/CR」を表示させる。
詳しくは、☞20ページをご覧ください。

ご注意
ソフトウェアによっては、AVマルチ入力端子のRGB接続またはY/CB/CR接続に適していないものもあります。

" プレイステーション "(PS one) および" プレイステーション "を使うには

コンポーネントAVマルチボタンをくり返し押して、「AVマルチRGB」を表示させる。
詳しくは、☞20ページをご覧ください。

その他のテレビゲームなどをつなぐ

テレビ前面のビデオ2入力端子にテレビゲームをつなぎます。テレビゲームの取扱説明書もあわせてお読みください。

テレビゲームをするには

ビデオボタンをくり返し押して、テレビゲームをつないだビデオ入力(「ビデオ1」〜「ビデオ4」のいずれか)を表示させる。
詳しくは、☞13ページをご覧ください。

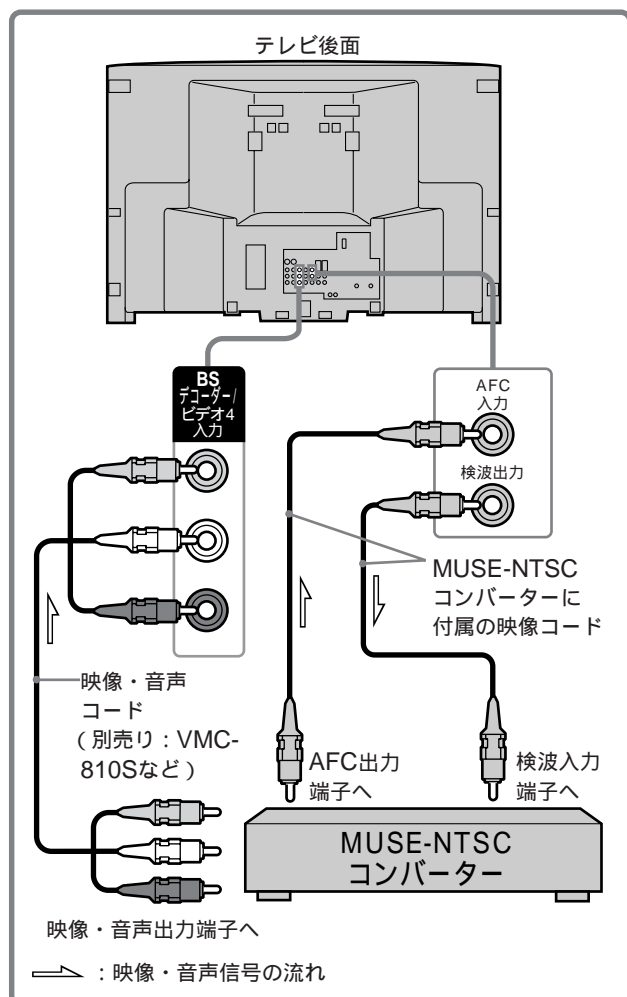
ご注意
電子的なライフルやガン(銃)などで標的にして楽しむシューティングゲームなどは、テレビの画面を使用できないことがあります。詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

他機との接続

MUSE-NTSCコンバーターをつなぐ

通常のテレビ放送と同等の画質（NTSC）で、ハイビジョン放送（BS9チャンネル）を見られます。
MUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書も必ずご覧ください。

本機リモコンのBS9ボタンでハイビジョン放送を見るには

BSデコーダー（WOWOW）をつながないときは、以下の接続と設定をしてください。テレビのリモコンのBS9ボタンで、ハイビジョン放送（BS9チャンネル）を見ることができます。
MUSE-NTSCコンバーターとBSデコーダー（WOWOW）の両方をつなぐときは、☞71ページをご覧ください。

1 テレビでBS放送を映す。

2 メニューボタンを押して、メニューを出す。

3 ♠/♣で「（設定）」を選び、決定ボタンを押す。

4 ♠/♣で「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。

5 ♠/♣で「デコーダー入力切換」を選び、決定ボタンを押す。

6 ♠/♣で「BS9」を選び、決定ボタンを押す。
「BS9」は、♠/♣を押し続けると出てくる画面にあります。

7 ♠/♣で「デコーダー」を選び、決定ボタンを押す。

8 ♠/♣で「BS5」を選び、決定ボタンを押す。

9 ♠/♣で「テレビ」を選び、決定ボタンを押す。

10 メニューボタンを押して、メニューを消す。

11 MUSE-NTSCコンバーターで、画面モードを「フル」にする。
MUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書もご覧ください。

12 テレビのリモコンのBS9ボタンを押す。
ハイビジョン放送が映ります。

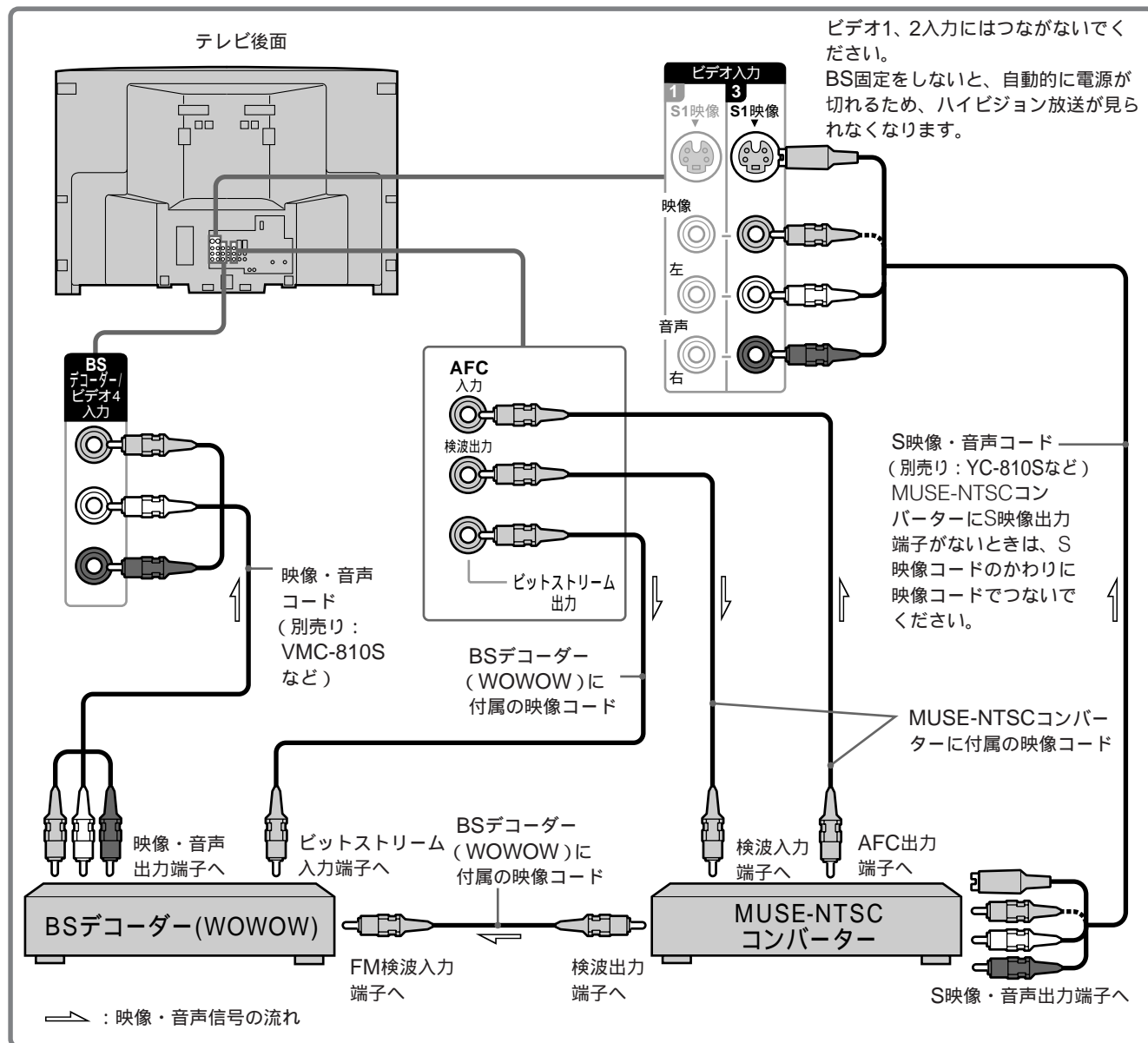
ご注意

- MUSE-NTSCコンバーターによっては、ハイビジョン放送（BS9チャンネル）を見るときにオートワイドが正しく働かないことがあります。このときは、ワイド切換ボタンをくり返し押して、画面モードを選んでください。
- リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

ちょっと一言

お買い上げ時は、すべてのBSチャンネルの「デコーダー入力切換」が「オート」に設定されています。「オート」にすると、BSデコーダー/ビデオ4入力端子につないだ機器から入るWOWOWなどBS放送のスクランブルを、自動的に判別して映します。

MUSE-NTSCコンバーターとBSデコーダー（WOWOW）の両方をつなぐときは

以下の接続をしてください。また、MUSE-NTSCコンバーターとBSデコーダー（WOWOW）の取扱説明書も必ずご覧ください。

ハイビジョン放送を見るには

1 **テレビのリモコンの**BS9**ボタンを押す。**

2 **ビデオボタンをくり返し押して、**MUSE-NTSC**コンバーターをつないだ「ビデオ**3**」を表示させる（**☞13ページ**）。**

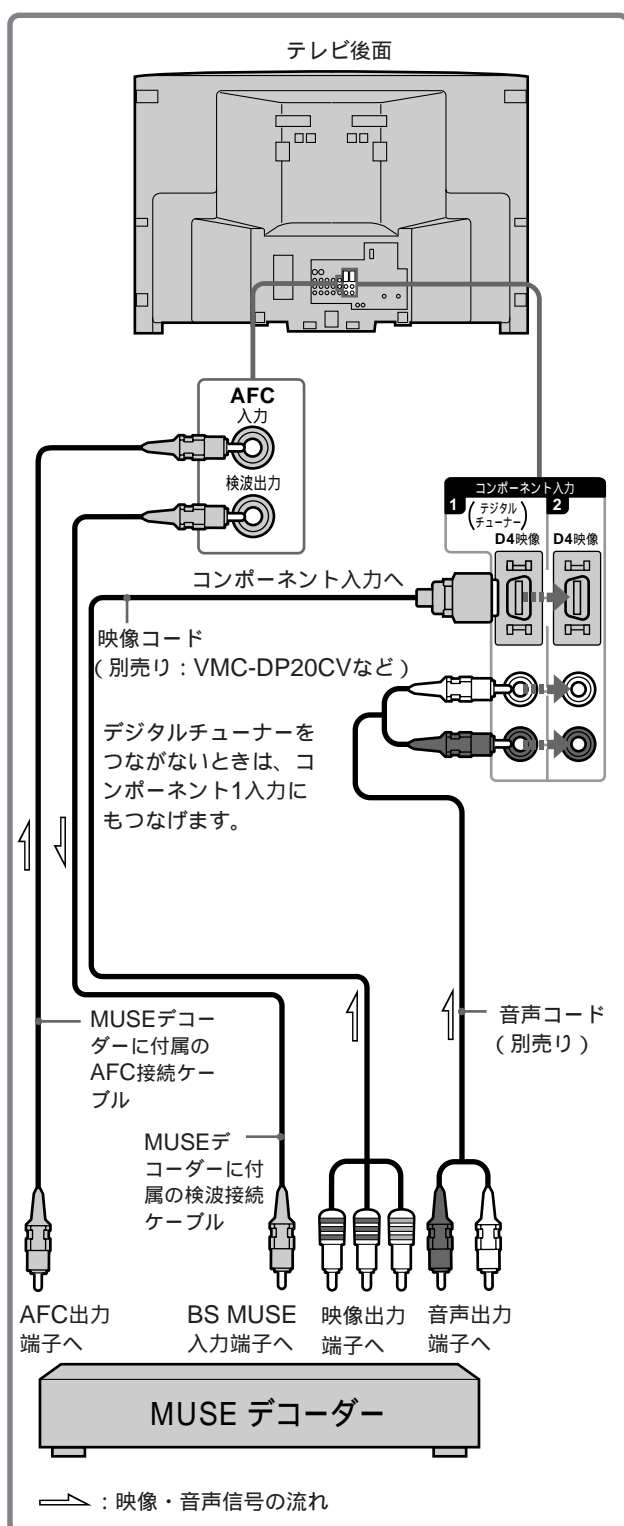
3 MUSE-NTSC**コンバーターで、画面モードを「フル」にする。**

詳しくは、 MUSE-NTSCコンバーターの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- この接続では、テレビのリモコンのBS9ボタンを押すだけでは、ハイビジョン放送は映りません。MUSE-NTSCコンバーターがビデオ入力端子に接続されているためです。
- MUSE-NTSCコンバーターによっては、ハイビジョン放送（BS9チャンネル）を見るときにオートワイドが正しく働かないことがあります。このときは、ワイド切換ボタンをくり返し押して、画面モードを選んでください。
- ビデオ1、2入力端子にMUSE-NTSCコンバーターをつないだときは、手順1でBS9チャンネルを選んだあと必ずBS固定し（☞33ページ）、「ビデオ1」または「ビデオ2」に入力を切り換えてください。
  BSチューナーの電源が自動的に切れるため、ハイビジョン放送が見られなくなります。

MUSEデコーダーをつなぐ

ハイビジョン放送（ベースバンド）をより高画質で見ることができます。
MUSEデコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ハイビジョン放送を見るには

1 **MUSEデコーダーで、テレビをつないだ入力を選ぶ。**

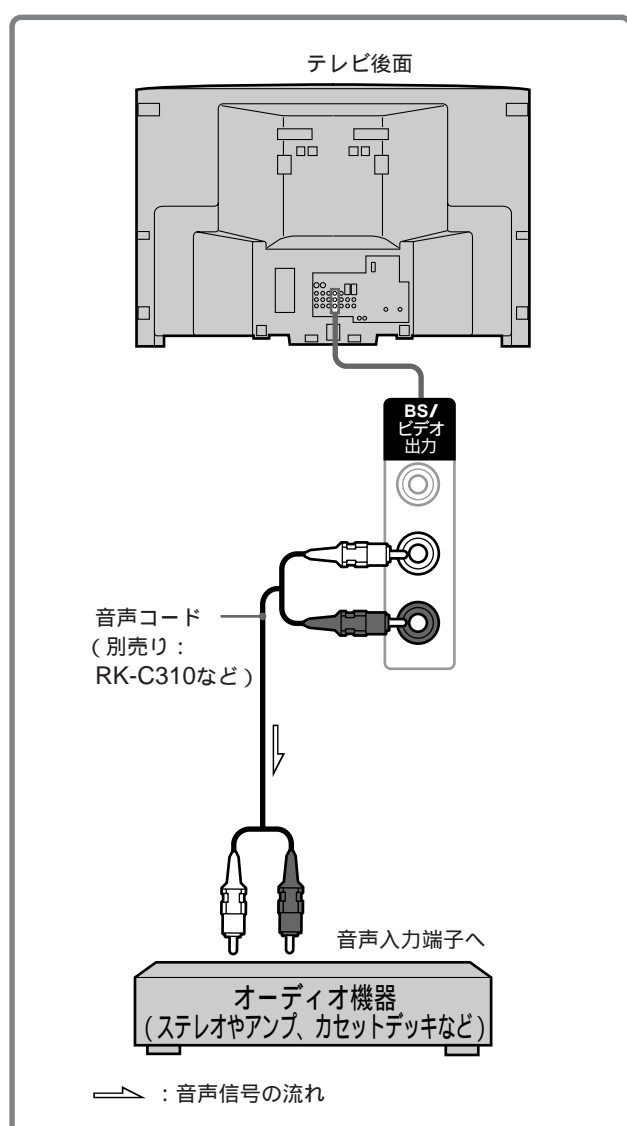
2 **テレビのリモコンのBS9ボタンを押す。**

3 **コンポーネントAVマルチボタンをくり返し押して、MUSEデコーダーをつないだコンポーネント入力（「コンポーネント1（D端子）」、「コンポーネント2（D端子）」のいずれか）を表示させる（☞13ページ）。**
詳しくは、MUSEデコーダーの取扱説明書をご覧ください。

ちょっと一言
テレビのコンポーネント1、2入力端子（D4映像*）にMUSEデコーダーをつないでいるときは、お買い上げ時の設定「HDモード：オート」のままでお使いください。入力信号を自動的に判別して、テレビの画面に映します。
詳しくは、☞56ページをご覧ください。

* D4映像について詳しくは、「映像信号フォーマットについて」（☞83ページ）をご覧ください。

オーディオ機器をつなぐ

つないだオーディオ機器でテレビの音量を調整したり、つないだスピーカーからテレビの音声を聞いたりできます。
オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ちょっと一言

- コンポーネント入力とAVマルチ入力につないだ機器の音声信号も出力できます。ただし、映像信号は出力されません。
- お買い上げ時は、ビデオ1入力につないだ機器の信号は出力しない設定になっています。ビデオ1入力につないだ機器の映像および音声を出力するときは、「(設定)」メニューで「初期設定」を選び、「ビデオ出力設定」を「ビデオ1あり」にしてください（☞58ページ）。

ご注意

テレビの音量や音質の設定を変えても、オーディオ機器の音量や音質の設定は変わりません。

BS固定（☞33ページ）のご注意

以下の信号を出力します。

- **BS固定が「切」のとき：**
  テレビに映っている映像と音声を出力します。
- **BS固定が「入」のとき：**
  テレビに映っている映像と音声には関係なく、BS固定したBSチャンネルの映像と音声を出力します。
  BS固定したBSチャンネルが二か国語放送など二重音声番組のときは、二重音声ボタン（☞32ページ）で出力する音声を選べます。なお、テレビのスピーカーから聞こえる音声は、二重音声ボタンで音声を切り換えると一緒に切り換わります。

その他

ここでは、テレビが正常に動かないときに解決する方法や、お手入れのしかたなどについて説明しています。
また、各部のなまえや索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

テレビ本体の型名：

KV-28DX650、KV-32DX650

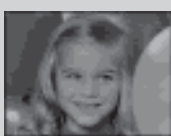
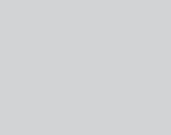
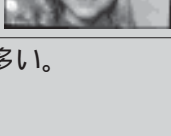
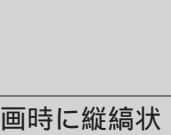
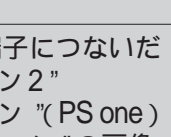
画面サイズ（番号）がどれかわからないときは、保証書に記載されている型名をお知らせください。

リモコンの型名：RM-J258

故障の状況：できるだけくわしく

購入年月日：

自己診断表示－画面が消え、スタンバイ/オフタイマーランプが点滅したら

このテレビには自己診断表示機能がついています。これはテレビに異常が起きたときに、スタンバイ/オフタイマーランプの点滅およびその回数でテレビの状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。スタンバイ/オフタイマーランプが赤く点滅したら、下の手順にそって、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。ご相談の内容によっては、修理が必要な場合があります。

1 スタンバイ/オフタイマーランプの点滅回数を数えてください。3秒おきに点滅します。
たとえば、2回点滅→3秒あき→2回点滅…この場合の点滅回数は2回です。
2 テレビ本体の電源スイッチで電源を切り、電源コンセントを抜いてから、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に点滅回数をお知らせください。

テレビの症状と対処のしかた

症状		対処のしかた
画像が出ない	**すべてのチャンネルが映らない。**	● 電源コードをしっかりつないでください。 ● テレビ本体の電源を入れてください。 ● アンテナ線をしっかりつないでください。
	特定のチャンネルだけが映らない。	● チャンネルを合わせ直してください（☞44ページ）。
	テレビの電源が突然切れた/いつのまにか消えていた（スタンバイ状態になった）。	● テレビの消し忘れを防ぐため、放送終了後、または放送のないチャンネルを受信している状態で約10分過ぎると、「オートシャットオフ」と表示されて、自動的にスタンバイ状態になります。 ● オフタイマーを設定していませんでしたか？（☞35ページ）
	つないだ機器の画像が出ない。	● 接続コードをしっかりつないでください。 ● リモコンの入力切換用のボタンを押してください（☞13ページ）。 ● S映像入力のときは、「（各種切換）」メニューで「S映像」を「入」にしてください（☞58ページ）。 ●"プレイステーション 2"をAVマルチ入力につないでいるときは、"プレイステーション 2"のコンポーネント出力の設定とテレビのAVマルチ（RGBまたはY/CB/CR）入力を合わせてください（☞20ページ）。
BS放送が映らない／乱れる	**BS放送が映らない/画像が乱れている。**	**BSアンテナを直接つないでいる場合** ● 「（設定）」メニューで「BS設定」を選び、「BSアンテナ電源」を「オート」または「連動」にしてください（☞48ページ）。 ● BSアンテナ側は防水型コネクターをつないでください。 ● アンテナの大きさが適切かを確認してください。 ● アンテナの前方に障害物があれば取り除いてください。 ● アンテナの方向・角度を調整してください（☞50ページ）。 **マンションなどの共同受信システムの場合** ● 「（設定）」メニューで「BS設定」を選び、「BSアンテナ電源」を「切」にしてください（☞48ページ）。 ● サテライト分波器でVHF/UHFとBSを分波してください（☞40ページ）。 ● ケーブルの芯線をコネクターに正しく差し込んでください。 **複数のBS機器をサテライト分配器でつないでいる場合** ● BSアンテナ用電源を供給する機器のスイッチを「入」にしてください。 **その他** ● BSの放送時間を確認してください。 ● 雨や雪が降ると映りが悪くなることがあります。また、晴れていても、BSを送信する放送衛星会社の地域で雨や雪が降っても映りが悪くなることがあります。 ● テレビの近くで携帯電話や電子レンジなどを使用すると、映像や音声が乱れることがあります。 ● BS専用のケーブルを使ってください（☞41ページ）。 ● アンテナコネクター（バルーン）を使っていないかを確認してください。 ● WOWOWなどのスクランブル放送でないかを確認してください。
	BS放送のチャンネルが切り換わらない。	● BS固定していないかを確認してください（☞33ページ）。
	WOWOWが映らない。	● WOWOWを見るには、WOWOWとの受信契約が必要です。詳しくは、WOWOWへお問い合わせください。 ● BSデコーダー（WOWOW）は、テレビのBSデコーダー/ビデオ4入力端子につないでください。 ● 「（設定）」メニューで「BS設定」を選び、「デコーダー/ビデオ」を「デコーダー」にしてください（☞67ページ）。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

症状		対処のしかた
きれいに映らない	画像が二重、三重になる。	● アンテナ線をしっかりつないでください。 ● アンテナの位置、方向、角度を調整してください。
	雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく。	● アンテナが風でこわれたり曲がったりしていないか確認してください。 ● アンテナの寿命を確認してください（通常3〜5年、海辺では1〜2年）。
	斑点や点模様が走る。	● ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けています。アンテナはなるべく道路から離して設置してください。
	色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。	● 明るさ設定ボタンを押して、画質設定してください（☞9ページ）。 ●「（画質/音質）」メニューで、画質を調整してください（☞28ページ）。 ●「消費電力：減」のときは、画面が暗くなります（☞10ページ）。
	画面がまぶしい。	● 明るさ設定ボタンを押して、画質設定してください（☞9ページ）。
	画面の一部に色むらがある。	● テレビをマンションの壁、金属スタンド、ビデオデッキまたはスピーカーなどから離して置いてください。 ● テレビをしばらく見たあと、テレビの向きを変えると色むらが発生することがあります。このときは、地磁気の影響を受けています。1度電源を切り、約30分後にテレビを見る向きにしてから電源を入れ直すと、自動消磁回路が働き、地磁気の影響が軽減されます。 ● ハロゲンヒーターなどの電化製品の影響を受けて色むらが発生することがあります。そのときは、一度テレビの電源を切り、約30分後にハロゲンヒーターなどの電化製品の電源を切った状態で、テレビの電源を入れなおし、次にハロゲンヒーターなどの電源を入れてください。テレビの電源を入れるときは、ハロゲンヒーターなどの電源をいったん切った状態で入れるようにすると影響を受けにくくなります。
	画像が傾いている、上下にかたよっている。	●「（設定）」メニューで「画像傾き補正」を選び、「傾き補正 回転」と「傾き補正 上下」を調整してください（☞44ページ）。
	縞状のノイズが多い。	● 付属の同軸ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 ● アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 ● 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。
	ビデオの再生/録画時に縦縞状のノイズが出る。	● ビデオヘッドが干渉しています。できるだけビデオをテレビから離して置いてください。
	AVマルチ入力端子につないだ“プレイステーション 2”“プレイステーション ”(PS one)や“プレイステーション”の画像がずれる。	●「（各種切換）」メニューで「AVマルチ画面位置」を調整してください（☞21ページ）。
	AVマルチ入力端子につないだ“プレイステーション 2”の画像がきれいに映らない。	●“プレイステーション 2”をAVマルチ入力につないでいるときは、“プレイステーション 2”のコンポーネント出力の設定とテレビのAVマルチ（RGBまたはY/CB/CR）入力を合わせてください（☞20ページ）。

症状		対処のしかた
音が出ない／雑音が多い	画像は出るが、音が出ない。	● 音量が下がりきっていないか確認してください。 ● 画面に「消音」の表示が出ているときは、リモコンの消音ボタンか音量＋ボタンを押して表示を消してください。 ● ヘッドホンを抜いてください。
	雑音が多い。	● 付属の同軸ケーブルを使って、テレビアンテナをつないでいるかを確認してください。 ● アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 ● 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。 ● 「(設定)」メニューで「初期設定」を選び、「オートステレオ」を「切」にしてください（☞32ページ）。
メニューが選べない／表示が消えない	メニューで選べない項目がある。	● 暗く表示されている項目は選べません（見ている画像の種類やメニューの設定によって、選べないように制約されています）。
	「BSアンテナ電源を確認してください」の表示が消えない。	**BSアンテナをつないでいるときは** ①41ページの内容を確認してください。それでも表示が消えないときは、テレビの電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。 ②表示が消えたときは、もう一度、受信設定してください（☞48ページ）。そのときに、「(設定)」メニューで「BS設定」を選び、「BSアンテナ電源」を「オート」または「連動」にしてから行ってください。 **マンションなど共同受信システムのときは** ①41ページ下の手順1〜2に従って操作し、手順3で「BSアンテナ電源」を「切」にしてください。 ②それでも表示が消えないときは、テレビの電源を切り、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。
ワイド画面が切り換わる	オートワイドのときに画面モードが勝手に切り換わる。	● CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。番組に最適なワイド画面をテレビが判断しているためです（☞11ページ）。 ● 識別制御信号のある画像を受信して、自動的に信号に対応した画面モードになるためです（☞11ページ）。 ● オートワイドが働いているときに、ワイド切換ボタンでワイド画面を切り換えていませんか。チャンネルや入力を変えたりするとオートワイドが働き、自動的にワイド画面に切り換わります。ワイド切換ボタンで切り換えた画面モードで固定したいときは、「(画面モード)」メニューで「オートワイド設定」を選び、「オートワイド」を「切」にしてください（☞25ページ）。
テレビから異音がする	「ピシッ」というきしみ音が出る。	● 周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがありますが、テレビに影響はありません。
	電源を入れたときにブーンという音がする。	● 地磁気などの影響を取り除く自動消磁機能の動作音です。ソニーのテレビは、トリニトロン管を使用しているため、音が大きく感じられることがありますが、異常ではありません。ご安心ください。
	テレビの電源を切った直後にテレビの後ろからパチパチ音がする。	● テレビ内部で発生する静電気が原因で、テレビに影響はありません。

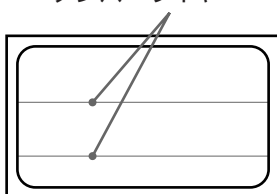
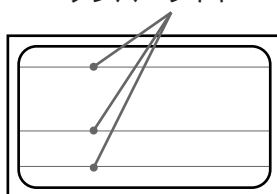
故障かな？と思ったら（つづき）

症状		対処のしかた
画面が一瞬光る	**暗い部屋で電源を入れたときに、画面周辺が一瞬光って見える。**	● ブラウン管内で、電源が入る際に発生する高電圧のために、ブラウン管内の蛍光部が光るためです。テレビの性能その他に影響はありません。
リモコンが働かない	**リモコンで操作できない。**	● 電池を交換してください。 ● 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。 ● テレビ本体のスタンバイ/オフタイマーランプが赤く点灯していないときは、テレビ本体の電源スイッチを押してください。 ● リモコンをテレビのリモコン受光部に正しく向けて、近くから操作してください。 ● リモコン受光部の近くに蛍光灯などの強い照明があたっているときは、照明があたらないように、照明器具またはテレビの位置を調整してください。
	戻るボタンでメニューが戻らない。	● リモコンの戻るボタンは、チャンネルサーバーをつないで設定したときのチャンネルサーバー操作用のボタンです。テレビのメニュー画面では使えません（☞19ページ）。
	デジタルチューナー、DVD、VTRボタンに登録した機器の操作ができない。	● デジタルチューナー、DVD、VTRボタンが赤く点灯している間に操作してください。ボタンが消灯したときは、もう1度ボタンを押すと赤く点灯します（☞17ページ）。 ● 操作できるボタンや内容を確認してください（☞18、19ページ）。 ● リモコンを、つないだ機器に向けて操作をしてください。
	リモコンのチャンネル数字ボタンを押しても、チャンネルが選べない。	**ダイレクト選局の場合（☞52ページ）** ● 「（設定）」メニューで「テレビ設定」を選び、「選局」が「ダイレクト」になっているかを確認してください。 **10キー選局の場合（☞52ページ）** ● 「（設定）」メニューで「テレビ設定」を選び、「選局」が「10キー」になっているかを確認してください。 ● 11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押してから、⑫/選局を押してください。 ● チャンネル数字ボタンに続けて⑫/選局を押してください。 **デジタルチューナーを操作する場合（☞18ページ）** ● 110度CSデジタルチューナーのときは使えません。 チャンネル＋/－ボタンで選局してください。

ブラウン管表面のお手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ブラウン管表面が汚れているときは、中性洗剤を水で薄め、メガネ拭きなどの柔らかい布に含ませ固く絞ってから、拭き取ってください。また、洗剤が残っているとしみなどの原因になることがありますので、最後に水を布に含ませ、固く絞って拭き取ってください。から拭きはおやめください。
- 塩素系や酸性、アルコール入り、研磨剤入りの洗剤も使わないでください。
- スプレー式の洗剤を直接ブラウン管に吹き付けないでください。テレビの内部に洗剤液が入り故障の原因になったり、噴射剤に可燃性のガス成分が使われているときは、静電気による火花で稀に発火の原因になることがあります。
- 化学ぞうきんの使用は避けてください。
- ボールペンやドライバーなどの先の尖ったものでブラウン管面に触れたり、擦ったりしないでください。

画面に細い横線が出たら（ダンパーワイヤー）

画像によっては、極めて細い水平線が見えることがあります。これは、ダンパーワイヤーと呼ばれる線材の影で、位置は下図に示されているとおりです。ダンパーワイヤーはトリニトロン管内部のアパチャーグリルの振動を抑えるために取り付けられており、より高画質な映像をお楽しみいただけるように工夫されたものです。

保証書とアフターサービス

このテレビは日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。
その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：KV-28DX650、KV-32DX650
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店 **TEL.**
お近くのサービスステーション **TEL.**

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

主な仕様

システム
受信方式　NTSC方式
受信チャンネル　VHF 1〜12チャンネル
UHF 13〜62チャンネル
CATV C13〜C35（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要）
BS1、3、5、7、9、11、13、15
ブラウン管*　KV-28DX650：FDトリニトロン102度偏向28型
KV-32DX650：FDトリニトロン102度偏向32型
* テレビの型（28型など）は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
画面寸法　KV-28DX650：57.5×32.4、66cm対角
KV-32DX650：66.2×37.3、76cm対角
（幅×高さ、対角径）
使用スピーカー　ウーファー 10cm 丸（1）
フルレンジスピーカー（4×12cm楕円）（2）
音声出力　実用最大：ウーファー10W、
ミッドハイレンジ5W×2
（JEITA）

入出力端子
アンテナ端子　VHF/UHF、BS IF 75Ω F型コネクター
（コンバーター用電源出力、DC15V最大4W）
ビデオ1、2、3入力端子
S1映像：
4ピンミニDIN
Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像：ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス 47kΩ以上
BSデコーダー/ビデオ4入力端子
映像：ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル
500mVrms
入力インピーダンス 47kΩ以上
コンポーネント1、2入力端子
D4映像：
Y：1Vp-p（0.3V負同期付き）
C_B/C_R：±350mVp-p
入力インピーダンス 75Ω
音声：ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス
47kΩ以上
AVマルチ入力端子　12ピン
BS/ビデオ出力端子　映像：ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms
インピーダンス 4.7kΩ以下
テレビ放送の音声の100%変調時、またはBS放送の最大出力
–12dB時の数値です。

ヘッドホン端子　ステレオミニジャック
負荷インピーダンス16Ω以上
検波出力端子　ピンジャック、75Ω、0.67Vp-p
ビットストリーム出力端子
ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p
AFC入力端子　ピンジャック、75Ω
コントロールS入出力端子
ミニジャック

電源部・その他
消費電力　KV-28DX650：165W
KV-32DX650：170W
消費電力（リモコン待機時）：KV-28DX650/KV-32DX650共通です。
BS固定が「切」：0.08W
BS固定が「入」：15W
年間消費電力量**　KV-28DX650：178kWh/年
KV-32DX650：186kWh/年
** 年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4〜5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
最大外形寸法　KV-28DX650：78.6×52.3×51.6cm
KV-32DX650：88.2×59.0×54.9cm
（幅×高さ×奥行き）
質量　KV-28DX650：約48.2kg
KV-32DX650：約64.8kg
電源　AC100V、50/60Hz
付属品　リモートコマンダー　RM-J258（1）
乾電池　単3形（2）
同軸ケーブル（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
安全のために（1）
安全点検のおすすめ（1）

別売りアクセサリー
2004年4月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

テレビスタンド　KV-28DX650：SU-S28DX、SU-B28DX、SU-FV29
KV-32DX650：SU-S32DX、SU-B32DX
ステレオヘッドホン
MDR-AV305
テレビラック固定ベルト
BLT-R10
BSアンテナなど
接続ケーブルなど

- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- このテレビは米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。
BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。
- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

アンテナレベル

BSアンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

インターレース（飛び越し走査）

走査線525本のうち、まず奇数番目の走査線（262.5本）を1/60秒かけて描き（この1画面を1フィールドという）、次にその間を埋めるように偶数番目の走査線（262.5本）を描き、合わせて走査線525本の1枚の完全な画面（フレーム）を作っていく飛び越し走査のことです。
テレビのリモコンのDRC-MFモード切換ボタンで選べる「DRC4倍密（標準）モード」は、走査線を通常のNTSC映像の2倍の1050本にして、1フィールド目で走査線の525本全部（本来の1フレーム分）を1/60秒で描き、次のフィールドは、1フィールド目の間を525本で飛び越し走査します。

カ行

ケーブルテレビ（CATV）

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

検波

放送衛星から送られてくるFM電波を復調することです。

サ行

三次元Y/C分離回路

テレビで使っている回路の1つで、映像信号を構成するY信号とC信号を別々に処理し、より鮮明な画像を再現します。

識別制御信号

識別制御信号とは、オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含んだ映像には、次のものがあります。
－横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像（ID-1方式やS2方式）
－横縦比を4：3にする信号が入ったテレビ放送
－D4入力端子からの横縦比情報の入った映像

シネマビジョン

画面の横縦比が2.35：1になっている映像ソフトのことです。一般的には黒帯に字幕が入る映画などに使われています。

スクランブル

映像、音声の信号を暗号化することです。民間BS放送（WOWOWなど）では、契約者以外は視聴できないように、電波にスクランブルをかけて（暗号化して）送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、スクランブルを解除する機器（デコーダーなど）が必要です。

タ行

チューナー

電波を受信して各チャンネルに合わせるための機器です。このテレビはテレビチューナーおよびBSチューナーを内蔵しています。

地上デジタル放送

2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。
デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送などがあります。

デジタル・リアリティー・クリエーション：マルチファンクション（DRC-MF）

テレビ放送やビデオなどのNTSC映像を、ソニー独自のデジタル信号処理アルゴリズムによって、高精細なリアル映像につくり換えます。従来の線形補間方式の処理とは全く異なり、動画部分の輪郭のボケが少ないスッキリとした画像になります。また、映像によって、通常のNTSC映像の4倍の情報量で映し出す「DRC4倍密（標準）モード」と、順次走査を行い、チラツキを抑えた映像にする「DRCプログレッシブモード」を切り換えられます。

デジタルCS放送

スカイパーフェクTV！のことです。通信衛星を使ったCS放送の一種で110度CSデジタル放送ではありません。

独立音声放送

民間BS放送の中には、1つのチャンネルで映像の音声とは別に、音声だけの放送が行われている場合があります。これが独立音声放送です。

ハ行

ビスタビジョン

画面の横縦比が1.85：1になっている映像ソフトのことです。一般的には画像の中に字幕が入る映画などに使われています。

ビットストリーム

BS放送で送られてくる電波のデジタル信号（音声とデータ）です。データ信号は、文字放送などに使われています。

プログレッシブ（順次走査）

飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、1フレーム目で525本全部の走査線を順番どおりに描き、次のフレームも同じ場所を525本全部の走査線で描いていく順次走査のことです。
テレビのリモコンのDRC-MFモード切換ボタンで選べる「DRCプログレッシブモード」は、走査線525本の順次走査を行い、静止画の文字やグラフィック、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた映像にします。

次のページにつづく

数字・アルファベット順

110度CSデジタル放送

2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがあります。110度CSデジタル放送を受信するには、別途BS・110度CSデジタルチューナーが必要となります。

BSデジタル放送

2000年12月から本放送が開始された放送衛星を使って、デジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送、CD並みの高音質なラジオ放送などがあります。
BSデジタル放送を受信するには、別途BSデジタルチューナーやBS・110度CSデジタルチューナーが必要となります。

BSデコーダー（WOWOW）

WOWOWなど民間BS放送の電波にかかったスクランブルを解除する機器です。

D端子

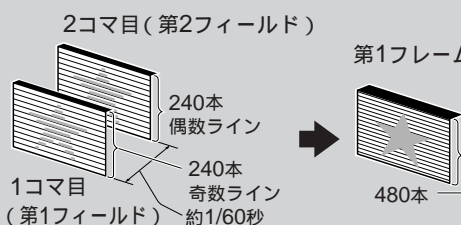
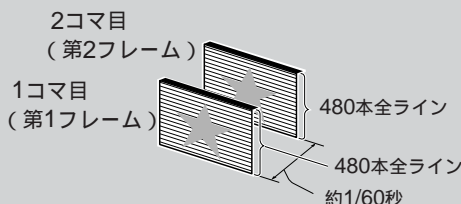
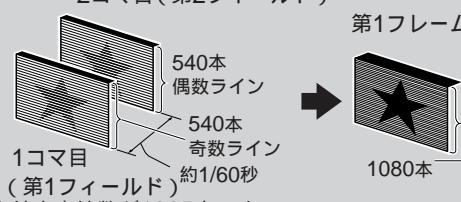
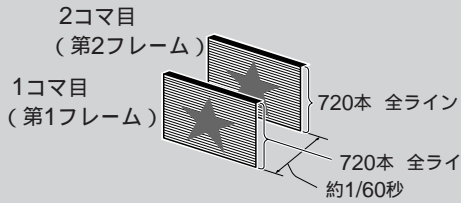
デジタルCS放送、BSデジタル放送およびDVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。デジタルCSチューナーやDVDプレーヤーなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。

ID-1方式（ビデオID-1システム）

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比（16：9、4：3またはレターボックス）の情報を記録するシステムのなまえです。このテレビはID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、テレビのビデオ1〜3入力端子、およびBSデコーダー/ビデオ4入力端子につなぐと、ID-1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

MUSE-NTSC（M-N）コンバーター

MUSE方式のハイビジョン放送を現行の放送方式（NTSC）に変換するための機器です。画質は現行の放送方式（NTSC）と同等になります。

NTSC方式

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式で、毎秒30コマ、水平走査線数525本などが特長です。アメリカの連邦テレビジョン方式委員会（National Television System Committee）が制定し、1954年に放送が正式に開始されました。欧州や中国などで使われているPAL方式やSECAM方式とは互換性がありません。

S1方式（S1映像）

S映像のC端子へ直流5Vを重畳することにより、画面の横縦比（16：9または4：3）の情報を記録するシステムのなまえです。このテレビはS1方式に対応しています。S1映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、テレビのS1映像入力端子につなぐと、S1方式の画像となります。
ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

映像信号フォーマットについて

日本国内の映像信号フォーマット（画像方式）は、走査線数と走査方式によって、以下の4種類があります。

映像信号フォーマット	映像の種類	対応するD端子
525i（480i） 525本（480本）の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（飛び越し走査：インターレース方式）映像信号です。通常のテレビ放送（VHF/UHF）の信号です。 2コマ目（第2フィールド） 240本 偶数ライン / 1コマ目（第1フィールド） 240本 奇数ライン 約1/60秒 → 第1フレーム 480本 **このテレビでは、内蔵の高画質回路［DRC-MF］によって、525iの画像も、きめ細かくて質感のあるリアル高画質で楽しめます。（☞8ページ）**	● 通常のテレビ放送（VHF/UHF） ● BSアナログ放送 ● ビデオ1〜4入力の映像 ● AVマルチ入力の映像 ● コンポーネント1、2入力* の以下の映像 – デジタル標準テレビ放送（525i） – デジタルCS放送 – DVDプレーヤーの映像	D1端子 D2端子 D3端子 **D4端子**
525p（480p） 525本（480本）全部の走査線を順番どおりに描く（順次走査：プログレッシブ方式）映像信号です。 2コマ目（第2フレーム） 480本全ライン / 1コマ目（第1フレーム） 480本全ライン 約1/60秒	● コンポーネント1、2入力* のデジタル標準テレビ放送（525p） ● コンポーネント1、2入力* のDVDプレーヤーの映像（プログレッシブ出力映像）	D2端子 D3端子 **D4端子**
1125i（1080i） 1125本（1080本）の走査線を約1/60秒ごとに奇数ラインと偶数ラインを交互に流す（飛び越し走査：インターレース方式）映像信号です。 2コマ目（第2フィールド） 540本 偶数ライン / 1コマ目（第1フィールド） 540本 奇数ライン 約1/60秒 → 第1フレーム 1080本 現行のハイビジョン放送は、有効走査線数が1035本です。	● コンポーネント1、2入力* のデジタルハイビジョン放送（1125i） ● コンポーネント1、2入力* のハイビジョン放送（ベースバンド）の映像	D3端子 **D4端子**
750p（720p） 750本（720本）全部の走査線を順番どおりに描く（順次走査：プログレッシブ方式）映像信号です。このテレビでは、750pの映像信号を1125iの映像信号に変換します。 2コマ目（第2フレーム） 720本 全ライン / 1コマ目（第1フレーム） 720本 全ライン 約1/60秒	● コンポーネント1、2入力* のデジタルハイビジョン放送（750p）	**D4端子**

（　）内は有効走査線数で数えたときの別称です。また、iはインターレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略。

つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。特に、地上・BS・110度CSデジタルチューナーの出力設定については、地上・BS・110度CSデジタルチューナー側の取扱説明書をご覧ください。

* コンポーネント1、2入力はD端子からの映像です。

走査線

テレビは、左から右へ流れる電子ビームを上から下へ送ることで画面を作っています。この電子ビームが作る線を走査線と呼び、走査線によって、どのように画面を作っていくかで、インターレースやプログレッシブなどの方式があります。

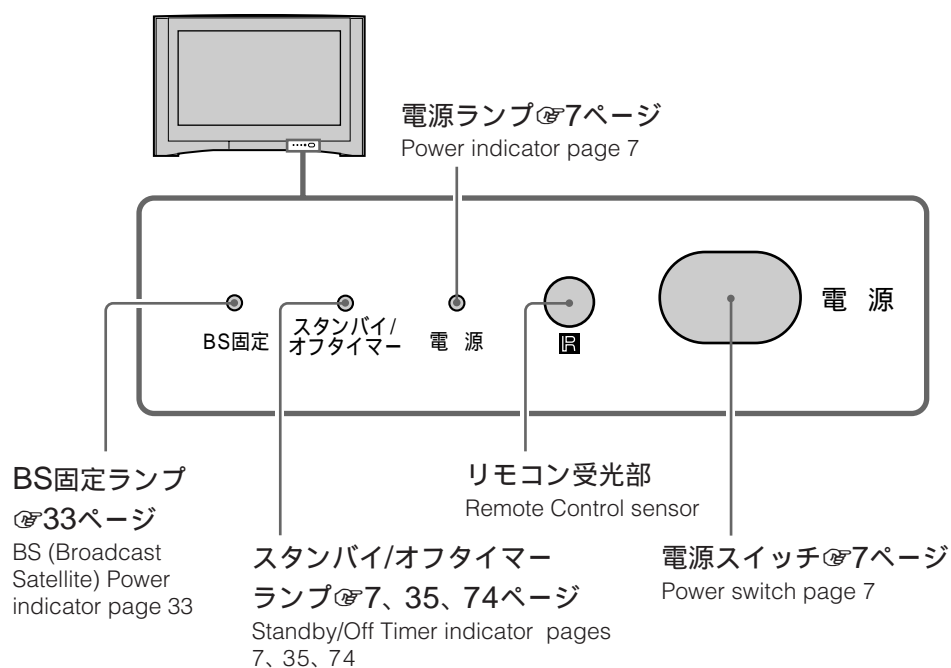
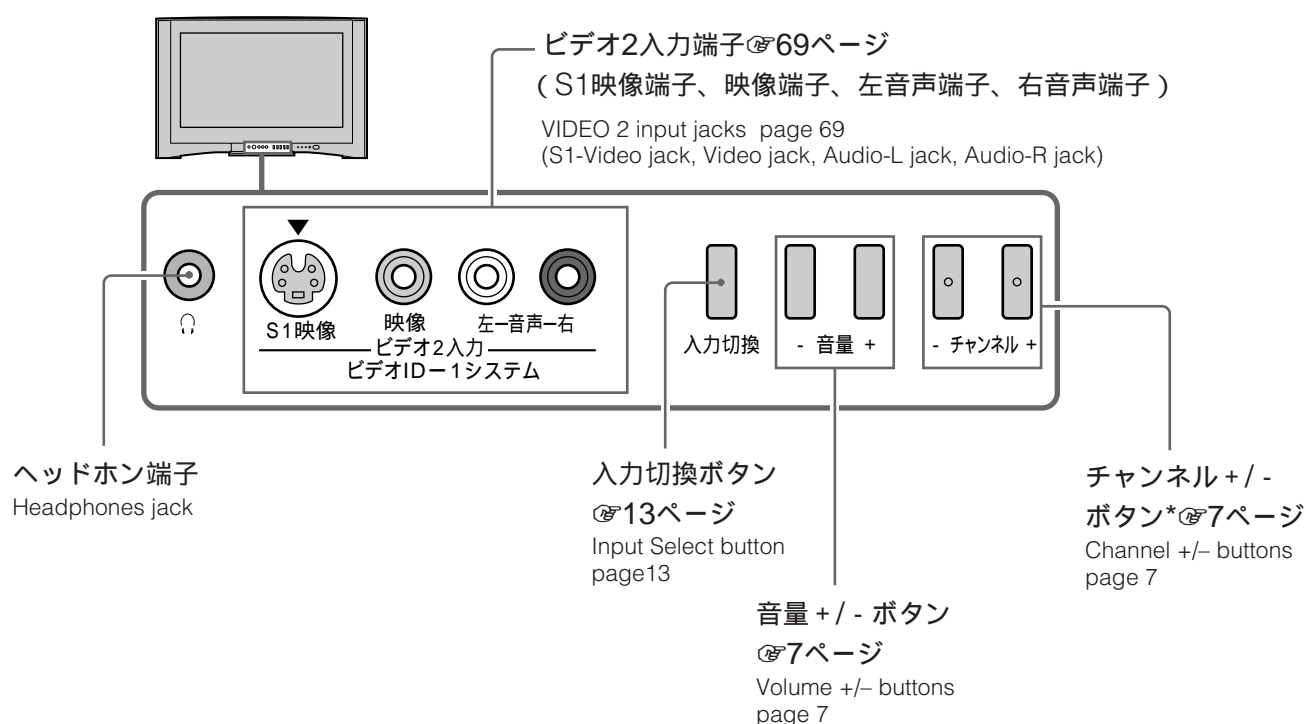
有効走査線数

走査線のうち、映像信号が載っている走査線の数のことを言います。通常のテレビ放送やBS放送では、525本ある走査線のうち有効走査線数は480本です。従来のハイビジョン放送では同じく1125本中1035本、デジタルハイビジョン（HD）放送では、1125本中1080本となっています。なお、有効走査線に含まれていない残りの走査線（映像信号の載っていない走査線）には、画面の横縦比を規定した識別制御信号などが載っています。

D端子（コンポーネント1、2入力）

地上・BS・110度CSデジタル放送、デジタルCS放送およびDVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。地上・BS・110度CSデジタルチューナーやデジタルCSチューナー、DVDプレーヤーのD端子と、1本のケーブルで簡単に接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。
このテレビにはD4入力端子（コンポーネント1、2入力）が付いています。

各部のなまえ/ Identifying parts and controls

テレビ前面/TV Front Panel

ちょっと一言
*の付いたボタンには、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

リモコン/Remote Control

画面表示ボタン☞6ページ
Display button page 6

消音ボタン☞6ページ
Mute button page 6

DRC-MFモード切換ボタン☞8ページ
DRC-MF Mode Selection button page 8

BSチャンネルボタン☞7、33ページ
BS (Broadcast Satellite) Channel buttons pages 7, 33

メニューボタン☞10、19ページ
Menu button pages 10, 19

戻るボタン☞19ページ
Return button page 19

ご注意
リモコンの戻るボタンは、テレビのメニュー画面では使えません。

音量+/−ボタン☞7ページ
Volume +/– buttons page 7

ワイド切換ボタン☞12ページ
Wide Mode Select button page 12

デジタルチューナー操作ボタン☞18ページ
Digital Tuner Control buttons page 18

二重音声ボタン*☞32ページ
Audio Mode (Bilingual) button page 32

電源スイッチ☞7ページ
Power switch page 7

消費電力ボタン☞10ページ
Power Saving button page 10

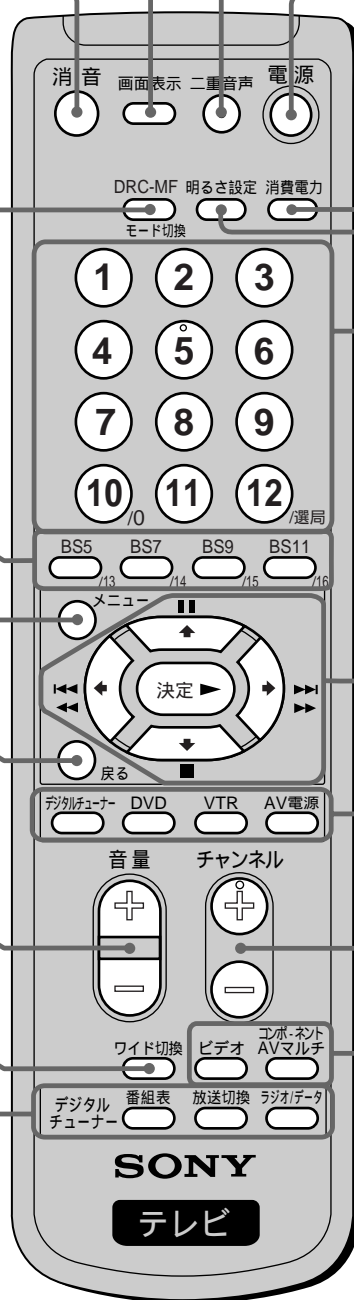
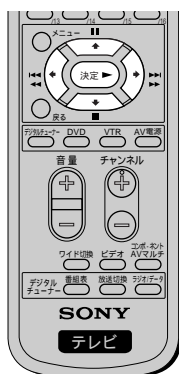
明るさ設定ボタン☞9ページ
Brightness Mode button page 9

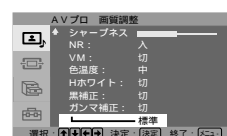
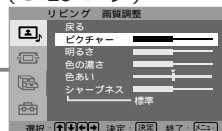
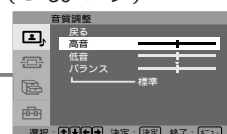
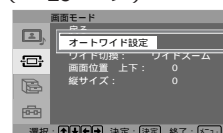
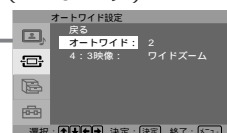
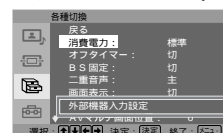
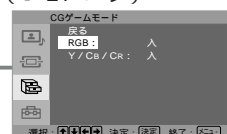
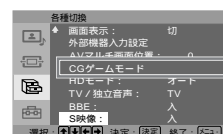
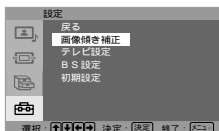
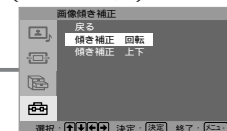
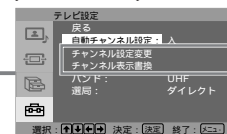
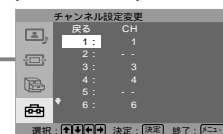
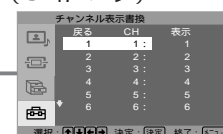
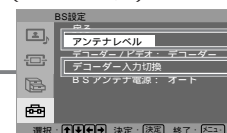
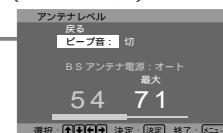
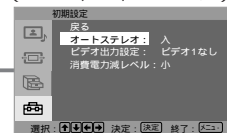
チャンネル数字ボタン*☞7ページ
Channel Number buttons page 7

↑/↓/←/→/決定/II/■/I◀◀/◀◀/▶▶I/▶▶/▶ボタン☞14、18、19ページ
↑/↓/←/→/Enter/II/■/I◀◀/◀◀/▶▶I/▶▶/▶ buttons pages 14, 18, 19

デジタルチューナー/DVD/VTR/AV電源ボタン☞14、15、17ページ
Digital Tuner/DVD/VTR/AV Power buttons pages 14, 15, 17

チャンネル+/−ボタン*☞7ページ
Channel +/– buttons page 7

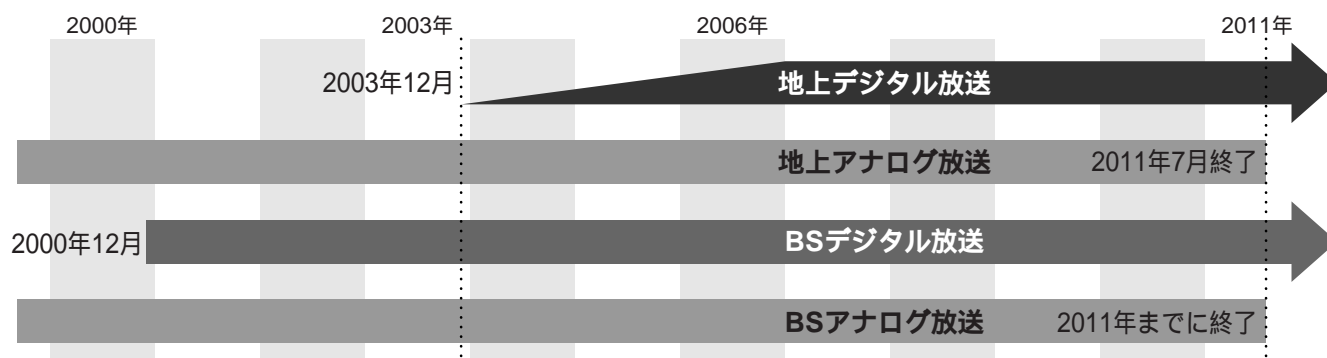
入力切換用ボタン☞13ページ
ビデオボタン
コンポーネントAVマルチボタン
Input Select buttons page 13
Video button
Component AV Multi button

その他

メニュー一覧

- メニューは↑/↓/←/→で選び、決定ボタンを押します。
- オレンジ色で表示される部分が選ばれています。
- 暗く表示される部分は選べません。
- メニューの↑/↓/←/→の表示が暗くなっている方向には進めません。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

アナログ放送からデジタル放送への移行スケジュール

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

※ 2003年9月現在の情報です。

アナログ放送受信用のテレビでデジタル放送をご覧になるには

別売りのデジタルチューナーを接続することによりデジタル放送をご覧いただけます。ただし、受信する画質や横縦比（アスペクト比）はテレビの種類により異なります。
なお、受信には、デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。また、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル共用タイプのチューナーであれば、1台でそれぞれの放送をご覧いただけます。

※ デジタル放送チャンネルに対応した受信アンテナが必要です。
※ ケーブルテレビで地上デジタル放送を受信するには専用のホームターミナル（アダプター）が必要になる場合があります。
詳しくは、加入しているCATV会社にお問い合わせください。

その他

索引

五十音順

数字・アルファベット順

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX 0466-31-2595
受付時間 ：月〜金 9:00〜20:00　土・日・祝日 9:00〜17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

廃棄時にご注意願います。

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ（ブラウン管方式）を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

http://www.sony.co.jp/

Printed in Malaysia